

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/1(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C)本日はクリティカルでない作業のいくつかは休工であった。多くの作業は継続して実施している。大きなトラブルや怪我もなく作業完了した。

(1F 所長)晴れであった。人身事故はなかった。全般的に順調であった。

(1F 発電班)1号機は、給水系から 3.7m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッドが 77.9℃、使用済燃料プール水が 27℃、D/W 圧力は 21kPa gage で安定しています。2号機は、CS 系から 6.1m³/h、給水系から 3.8m³/h、合わせて 9.9m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッド上部で 100.4℃、使用済燃料プールが 29℃、D/W 圧力は 10kPa gage で概ね安定している。3号機は、CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.5m³/h、あわせて 10.5m³/h で注水しています。RPV 下部ヘッドが 78.2℃で朝の時点と変化はない。D/W 圧力は 0.2kPa gage。3号機の使用済燃料プールの温度は 27.9℃。4号機は、使用済燃料プールの温度は 38℃、共用プールのプール水温は 31℃で安定している。

5, 6号機には特に作業はなかった。

(1F1~4号復旧班)SFPの注水実績はない。

2号機から HTI 建屋への移送及び3号機から HTI 建屋への移送は継続で実施している。

水位関係は1号機について変化はない。2号機は、3~7mmの下降。3号機は3~5mmの下降。4号機は2mmの下降。受け入れ側の集中ラドについて、プロセス建屋は現在移送していないこともあり 55mm 下降して 4491mm、HTI 建屋は 62mm 上昇で 1996mm になります。

水処理関係はキュリオン、サリーは順調である。ROも順調である。

明日はキュリオン H ベッセル2棟交換する予定。

5, 6号機はトピックスなし。

(1F 土木班)高濃度及び RO のタンクについては継続である。セシウム吸着塔については〇〇(モックスカバー?)の設置を行った。明日はタンク関係休工となっている。無人重機によるガラ撤去は本日、明日休工となっている。1,2 号の開閉所山側でガラ撤去を実施しており、明日は休工である。瓦礫集塵機については本日準備工で明日は休工である。テトラポット据付は5, 6号機のほうで、本日明日継続となっている。

(1F 建築班)1号機カバーリング関係ですが、本日パネル2枚水切りを行い、西側に取り付けを実施した。残るところ北側2枚となっている。廃棄フィルターユニットの単体試験。明日は物揚場の片付けと、廃棄フィルターユニットの単体試験を行う。

3号機 R/B 上部ガラ撤去工事ですが、通信設備の不具合により無人重機の遠隔操作できなかったため、本日作業はしていない。明日もできないので重機のメンテ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ナンスをする。4号機 R/B 上部ガレキ撤去工事は、南側ヤードで碎石路盤工事を行った。明日は休工である。スラッジ貯蔵施設建築工事ですが、スラッジ棟のコンクリート打ち400m³行った。明日はスラッジ棟と設備棟の基礎配筋となっている。(本店広報班)午前11時、午後18時に会見を行っている。午前中は20分弱でレクが終了した。主に2F のグリスにじみについて説明した。詳細な説明を求められた。午後の会見は、毎週土曜日に行っているシリーズ企画の第3回目として、原子炉注水システムに異常が発生した場合の状況を説明する予定である。注水システム自体は信頼性確保に努めている。なんらかの原因によって損失した場合の想定を説明している。また、毎週土曜日の企画として現場の写真集を出している。主にガレキの保管状況を写真で何枚か出している。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/2(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C) 本日は天候も落ち着いており、作業はかなりの作業もお休みの状況。入域された方も少なかった。あまりピクスのなものもないが、3日月曜からダストのサンプリングを行うのでその状況をご報告したい。

(1F 所長) 本日は晴れで作業をし易い状況であった。作業量は少ない状況であった。各班から端的に状況を説明願う。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から 3.6m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッドが 77.4℃、使用済燃料プール水が 25℃、D/W 圧力は 20kPa gage で安定しています。2号機は、CS 系から 6.0m³/h、給水系から 3.8m³/h、合わせて 9.8m³/h で変更無く注水しています。RPV 底部ヘッド上部で 98.1℃、全体的に穏やかな温度の下がり傾向が続いている。使用済燃料プールが 28℃、D/W 圧力は 10.3kPa gage。3号機は、CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.5m³/h、合わせて 10.5m³/h で注水しています。RPV 下部ヘッドが 77.7℃で全体的にこちらも穏やかな下がり傾向。D/W 圧力は 0.2kPa gage。3号機の使用済燃料プールの温度は 26℃。4号機は、使用済燃料プールの温度は 35℃、なお明日4号機のカバーリングの関係で、プール冷却系の二次系配管をカナフレックスから鋼管化のため交換するため、9～15時に掛けて2次系を停止する。0.8℃/hの上昇率を想定していて、全体で 5℃程度の温度上昇を想定している。共用プールのプール水温は 30℃で安定している。5、6号機には特に作業はなかった。

(1F1～4号復旧班) 原子炉注水関係は引き続き注視していきます。SFPの注水実績はない。水移送関係は2号機から HTI 建屋への移送及び3号機から HTI 建屋へポンプ1台での移送は継続で実施している。

水位関係は1号機について変化はない。2号機は、6～7mm の下降。3号機は 3～5mm の下降。4号機は4mmの下降。受け入れ側の集中ラドについて、プロセス建屋は 53mm 下降して 4348mm、HTI 建屋は 59mm 上昇で 2154mm になります。ほぼシミュレーション通り。

滞留水処理関係はキュリオン、サリーは安定的に運転している。

本日キュリオン H ベッセル 2 棟交換実施。明日は水移送関係でサイトバンカからプロセス建屋に水移送を実施する予定。約 5 時間ほど移送する予定。3号機の H/W の水を 3号機 Tb/B に移送する予定。約 3 日間かけて行う予定。

5、6号機はトピクスなし。6号機の Tb/B から abc タンクに明日移送する。併せて循環浄化運転を午前中に開始する予定。

(1F 土木班) 作業については殆ど休工。その中で海関係の作業で北護岸にテトラポット据え付け。明日は通常作業で汚染水タンクの設置やダスト集塵作業を実施予定。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 建築班)1号機カバーリング関係ですが、本日は屋根の固定用ワイヤーのカウンターCPの設置。明日水切りがあるので物揚場の片づけ。排気フィルターユニットの調整運転を実施。明日は壁パネル2枚水切りを行う予定。排気フィルターユニットの調整運転。ダストサンプリング用の重機の操作があり。3号機の Rx/B のガレキ工事は本日明日とも重機の調整運転。4号機 Rx/B 上部ガレキ撤去工事は本日休工。明日は、使用済み燃料プールフロート養生の固定作業、南側ヤードの路盤整備。スラッジ貯蔵施設建築工事ですが、本日はスラッジ棟設備棟とも基礎配筋を行っている。明日はスラッジ棟の4工区で基礎コンクリート打ち400m³ 打設、設備棟は基礎配筋を継続している。

(1F 所長)明日また土日溜まった作業が再開されるので、気を引き締めてやらないと設備・人身事故等発生するので、気を引き締めて実施したい。

(安定化C長)センターも気を引き締めて行いたい、クレーンで実施するダストサンプリング作業の状況を説明する。

(本店環境影響評価T)1~3号機の上でダストの測定を行うので、その作業説明。明日1号機から実施する。原子炉建屋上部と機器ハッチについて、クレーンでつり下げサンプリングを実施する。測定方法は従前と同じ。1号機は来週カバーが設置完了となるので、カバー設置前の測定としては最後になる。1号機は7日に機器ハッチの測定を予定している。建屋内からの再浮遊分の測定を行う。建屋の中から3階の部分から測定を行う。2号機についてはこれまで通りブローアウトパネル前で実施する。傾向監視のため。3号機は6日に今まで2回測定しているが、蒸気が発生しているので、なるべくそこに近づけて、採取したい。採取方法の見直しを行っている。クレーンでつり下げて行う。3号機はデータを蓄積したいので11日にも採取を予定。

(安定化C長)気候によっても延期になる可能性があるが、評価を進めるための重要な測定になるので、確実に引き続き続けてほしい。

(本店広報班)本日の中央プレスの説明状況。当社単独で。AM は読売、朝日で本日当社関連がトップを飾っている。朝日はパーティー券購入について、東電が見えないように装っていたという内容の記事。読売については当社事故調査委員会の報告案について、2号機は水素爆発ではなかったという当社見解について。スタンスについては、パーティー券の購入については昭和49年には一切の政治資金の提供は行わないと、団体および個人には行わないと、対外的に公表していて、パーティー券購入については社会的通念上の付き合いで実施させて頂いている実態あり。対価を払うのは飲食代として支払っているもので献金や寄付には該当しない、これは法律上の区分もされている。2号機の水素爆発については、中間報告案の段階であり、社内の事故調査委員会に諮っている段階であり、あくまで取り纏まった段階で改めて詳細を説明させて頂きたい、まだ取り纏まったものではないというスタンス。PM の会見も特段作業等の動きがないため、上記の内容になると思われる。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C 所長) 本日は安定化センターも出勤されている方も少ないので、本日は短めにこれで全体会議を終了したい。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/3(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C)週が明けて、作業の皆さんが戻ってこられ、現場の全域で多くの作業が始まったが、概ね順調に進んでいる。本日は大きなケガもなくトラブルもなく所定の作業の進捗が見られた。

(1F 所長)天候は晴れ。気温が低かった。ケガはなし。不具合はあって、変圧器の油漏れというかにかじみが発生。RHR の流量低下があったので対応している状況。先日移動用の MP が不具合を起こしたが、6ヶ月使っているのでメンテや調達も含めて安定化 C と調整して行きたい。

(1F 発電班)1号機は、給水系から 3.6m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッドが 77.1℃、使用済燃料プール水が 24℃、D/W 圧力は 20kPa gage で安定しています。2号機は、CS 系から 6.0m³/h、給水系から 3.8m³/h、合わせて 9.8m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッド上部で 96.7℃、全体的に穏やかな温度の下がり傾向が続いている。使用済燃料プールが 27℃、D/W 圧力は 10.0kPa gage。明日 14～15時で CS 系で注水量を 1m³増やして 7m³/hにする予定。後ほど安定化 C より説明頂く。3号機は、CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.4m³/h、あわせて 10.4m³/h で注水しています。RPV 下部ヘッドが 77.2℃で全体的にこちらも穏やかな下がり傾向。D/W 圧力は 0.2kPa gage。3号機の使用済燃料プールの温度は 25℃。4号機は、使用済燃料プールの温度は 36℃、なお本日、計画作業として、プールの冷却系を、8:54～15:03で停止した。温度上昇は停止時に 35℃で、再起動時は 36℃で作業を終了。共用プールのプール水温 29℃で安定している。5、6号機、RHRS (C)の流量低下について。今朝は流量が落ち着いているが、本日点検のために昼間に停止。RHRS 点検、停止・起動を行った結果、機能が回復したため、本日昼に RHRS 復旧、RHR 系 SHC も復旧した。温度上昇は 3℃以内。想定以内で収まっている。詳細は復旧班より。

(1F1～4号復旧班)原子炉注水関係は引き続き注視していきます。SFP の注水実績は 4号機スキマー補給実施している。水移送関係は 2号機から HTI 建屋への移送及び 3号機から HTI 建屋へ移送は継続している。

水位関係は 1号機について Tb が 2mm の下降。2号機は、7～10mm の下降。3号機は Tb は H/W から Tb/B に移送したため、13mm 上昇して OP3017。3号機のトレンチは 2mm の下降。4号機は 5mm の下降。受け入れ側の集中ラドについて、プロセス建屋は 10mm 下降。これは本日サイトバンカからプロセスに約 200t 移送した関係で、小さな下げ幅になっていて OP4258。HTI 建屋は 64mm 上昇で 2295mm になります。ほぼシュミレーション通り。

滞留水処理関係はキュリオン、サリーは順調安定的に運転している。明日キュリオンサリーのベッセル 2塔交換予定。大熊線 66kV で受電している 2台の変圧器のう

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ち1台から1/10滴漏えい確認。詳細はセンターから説明があるが、今後電源切り替えやトランス交換を予定。

5, 6号機は6号機のTb/Bから仮設タンクへの移送、本日10~16時で実施。明日はなし。メガフロートは本日明日もなし。6号機のRHRS(C)ですが本日の事象に鑑み、今後ポンプを吊り上げ点検、取水構内の点検などを計画したい。SW全停など、大がかりなアイソレ等が必要となりそうな為、その際は事前に相談させていただきたい。

(1F 土木班)G, Hエリアのタンク関係工事、Cs 吸着系のボックスカルバートの設置を実施している。無人重機によるガラ撤去は本日明日ともに休工。また集塵機によるガラ撤去は明日も継続。海関係の作業で56号機の北護岸にテトラポット据え付け防波堤復旧工事、順調にいけば明日で消波ブロックの設置完了、あとは後片づけのみ。

(1F 建築)1号カバーリング関係はパネルの取り付けは本日休工で、本日AM7~9時過ぎまでパネルの水切りを実施。明日はこの資材を利用して壁パネル取り付けを実施。3号機ガレキ撤去は西ヤードで重機の調整、2号機海側地組ヤードでガレキの片づけ、採石路盤の整備。4号機ガレキ撤去は南側ヤードで、路盤整備。以前変圧器から漏えいさせた油が一部染みこんでいたので、本日砂とともに油を回収している。明日残り分の回収を行う。スラッジ貯蔵施設建築工事ですが、本日はスラッジ棟継続の基礎配筋を行うとともに、6分割されている4工区目で基礎コンクリート打ち。明日は5工区目実施予定。設備棟は基礎配筋を埋め込み金具の据え付け継続している。ガレキ収集運搬関係は、昼間4号機関係のガレキを小型ダンプで運搬していて、本日夜間作業はなし。

(復旧班)2号機の移送は現在縦坑からHTIに送っているが、これをTb/Bからプロセス建屋やHTI建屋に送れるように明後日切り替え作業をするが、明日準備として現在のHTIの移送を一旦停止して、接続替えとフラッシングを実施予定。

(安定化センタ)大熊線3Lの移動用トランスからの油漏れについて。

(施設基盤部)大熊線3Lの移動用変圧器3Bの油漏れについて。本日AMの定例パトロールで下部に水らしきものを確認し、15時に油と確認。その後消防等に連絡。桶をおき、消火器設置。漏れ量は1/10s滴。一日漏れても0.6L。警報レベルになるのに約半年くらいかかる程度の漏れ。1989年製造。物の手配は完了。現在不具合を起こしている移動用トランスの負荷は滞留水になるので、これを切り替え大熊線2Lから受けるとすると、一旦停止が伴う。よって滞留水処理 T と停止時期について相談して進めたい。

(安定化 C ■■■)あした炉注の増加を1m3検討していることについて。

(安全評価 T ■■■)2号機の CS 系を9/14より開始していて26日に6m3に増やしている。CSインサービス後低下しているが、29日以降、1点 RPV 底部ヘッド上部の

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

温度が100℃で安定しているので、これを100℃未満にするために明日から CS の流量を7m3に増やすこととしたい。今後降雨等や故障などにより滞留水が増える可能性もあるので水処理側と調整して進めたい。

(水処理PJ) 明日の作業だが、14日に攪拌機を取り替え停止した際に、高汚染水が溢れたため、アレバの運転を停止している。明日単独の循環運転にて浄化をしたいと考えている。汚染状況を勘案して背面マスクの二重化で対応したい。スラッジが溜まっているので、SPTに送るラインで確認したところ、 5×10^5 の線量を確認している。アレバ自身から発生したスラッジなので、再度アレバの最上流の廃液タンク受けタンクに導き、通常処理を行いながらマルチフローで沈殿させていくと、概ね1日稼働させれば、スラッジは取れると思っている。現場でバルブの操作を行う際には全面マスクの二重化で対応する。カバーとなる送気マスクを二重でかぶせて作業をしたい。またスラッジがこぼれているので近づかないように作業をしたい。

(本店広報班) 11:00~11:20まで単独会見。津波の試算結果と総括原価主義について。午後は16:30~実施中で、本日は細野大臣が出て下さっている。

(2F) 仮設電源によるケーブルのルート変更を10/5に行うため、これに伴い明日、10/4に、2号機と4号機のRHRをA→Bに切り替えて電源の停止に備える。両方とも2~3時間あいだ停止する。2号機はAM、4号機をPMに実施予定。両方とも炉水温度は25~26℃、2~3時間停止したとして2号機で6℃程度、4号機3.7℃程度の上昇。

(1F 吉田所長) 新広野寮に人が入っているが、急に寒くなってきて、布団が薄っぺらいので、個人で準備すればよいが、入手できないので、また会社が支給してくれると思っている人もいるが、寒さ対策は自分でやるものでもあるが、寒いのでこれから風邪を引く人が発生し蔓延することを懸念。出来れば調達等行って頂ければ有り難い。

(細野大臣) 今吉田所長から布団の話があったが、大変な環境で頑張っておられるので政府としてもお困りなどころがあれば、行政的なことや規制的なところでお役に立てるところがあれば生活面を含めて支援したい。作業の方々が元気でやってくれることが一番と考えているので、言って頂ければと思う。皆様の頑張りには心より敬意を表したい。

(安定化 C ■■■■■) いつもお気遣い、励まして頂き感謝申し上げます。

~全体会議終了~

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/4(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化C)本日現場で作業をされた方、あるいは現場の作業を支えるために各部署で業務にあたられた方、お疲れ様でした。本日は秋晴れともいべき快晴で、作業に適した気候であったように思います。3000 人を超える大勢の方が各所で作業にあたられました。特に大きなトラブル、けがもなく、作業は順調に予定の進捗を見たということです。現場で作業にあたられた方、どうもありがとうございます。

(1F 所長)天気は快晴です。作業は随分ありましたが、ケガもなく、ありがたいことに一日平穩に終わっています。

(1F1～4号発電班)1号機は、給水系から3.6m³/hで注水中です。RPV 底部ヘッドで76.6℃、D/W 圧力は20kPa gage、使用済燃料プール水が24℃で全体的に安定な状態です。2号機は、CS 系から7.0m³/h、給水系から3.8m³/h、合わせて10.8m³/hで注水中です。RPV 底部ヘッド上部温度で95.6℃です。全体的に穏やかな温度低下が継続していますが、本日15:00にCS 系からの流量を1m³/h増加させて7m³/hにしました。今後、温度の下がりの状況を継続監視していきます。D/W 圧力は9.7kPa gage、使用済燃料プールは25℃です。3号機は、CS 系から8.0m³/h、給水系から2.3m³/h、あわせて10.3m³/hで注水中です。RPV 底部ヘッドの温度が76.6℃で、全体的に穏やかな温度の下がり傾向です。D/W 圧力は0.2kPa gage、使用済燃料プールの温度は24℃です。4号機は、使用済燃料プールの温度は36℃、共用プールのプール水温は28℃で安定です。

(1F5,6 号発電班)5,6号機、引き続き炉水、プールともに安定しています。先日流量の低下が見られました6号機の RHRS ですが、こちらは流量の変動なく連続で運転している状況です。引き続き継続監視していきます。

(1F1～4号復旧班)原子炉注水は、2号機につきましてCS 系を6m³/hから7m³/hに調整しています。引き続き注視していきます。SFP 注水は実績、予定ありません。水移送関係は、2号機は立坑から HTI 建屋に移送していましたが、T/B からも移送できるようにということで、本日、移送を一旦停止して、フラッシング、明日は配管の接続とリークチェックで、問題なければ T/B から HTI 建屋への移送を予定しています。3号機は T/B から HTI 建屋に移送を継続しています。水位関係は、1号機について2mm の下降です。2号機は、本日移送を停止したということもありまして10mm～11mmの上昇です。3号機は、9mmの上昇です。4号機は、9mmの上昇です。受け入れ側の集中ラドですが、プロセス建屋は87mm 下降して OP4036 です。HTI 建屋は、まだ HTI 建屋に移送していましたが、277mm 上昇して OP2665mm となっていて、ほぼシュミレーション通りに推移しています。滞留水処理装置関係は、本日、KURION の H ベッセル2塔交換を実施して、午前中です

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

が 20m³/h、安定流量を確認しています。AREVA 装置は、スラッジの移送のために循環浄化運転を現在実施してまして、浄化度については現在確認しているところですが、問題なければ本日中に浄化を止めることとなります。若干落ちがよくなければ、明日の日中夜、運転を継続することとなります。現在実施中です。SARRY は、ベッセル交換2塔のために今朝停止しておりますが、まだ終わっていません。水移送ですが、3号機の H/W の滞留水については、3号 T/B への移送を継続しています。

(1F5,6 号復旧班)メガフロートへの移送は、本日はありません。明日も計画されていません。T/B から仮設タンクへの移送ですが、本日はありませんでしたが、明日は 10 時～16 時に移送する予定です。

(1F 土木班)汚染水処理の設備関係ですが、G,H エリアのタンクの設置ということで、本日埋め戻しタンクの組み立て等々を実施しています。明日も継続実施です。セシウム吸着塔の一時保管施設ですが、本日、ボックスカルバートの設置等々を実施しています。明日も継続実施の予定です。ガラ撤去関係ですが、無人化施工によるガラ撤去は本日休工で、明日も休工の予定です。集塵機によるダスト、(聞き取れず)の集塵作業については、継続実施しています。海関係ですが、本日、北防波堤の復旧ということで、テトラポットの据え付けを実施しました。1F のテトラポットの据え付けは、本日をもって完了しました。

(1F建築)1号カバー工事は、本日、北側の壁パネルの取り付け PC ウェイトの設置を行いまして、排気フィルタユニットの調整運転も行われています。明日は PC ウェイトの設置と水切りがありまして、屋根パネル材の水切りが始まります。3号ガラの撤去は、南側ヤードで変圧器周辺の解体、ガレキ片づけ、西側ヤード、地組ヤードで路盤整備を行っています。明日も継続です。4号ガレキは、南側ヤードで路盤整備で、明日も継続で、合わせてフロート養生、固定を行っています。ガレキ運搬は、本日、運搬作業はありませんで、明日、日中に4号のガレキ、夜間作業で3号ガレキの運搬を行います。スラッジ貯蔵施設は、スラッジ棟で基礎マットの6分の5回目のコンクリート打設を本日終了しています。設備塔は、本日で基礎配筋を終了しまして、アンカーボルトの設置を継続しています。

(安定化 C ■■■■■) 訓練を計画しています。TV 会議システムを使って行いますので、皆さんに情報共有させていただきます。

(安定化 C 循環注水冷却 G) (書画で説明) 明日から予備の訓練も含めまして来週にかけて訓練を行うことを計画しています。こちらは、大きな地震が発生して、炉注の設備が壊れてしまったということを想定して、訓練1として、早朝に対応要因、30名程度が広野の寮からバスにて福島第一に参集するというので、こちらがうまくできるか訓練するものです。もう一つ、訓練3として、原子炉注水設備の復旧の指示があつて、現場に移動して消防車、ホースを敷設して、原子炉への海水の注

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

水を行うということを模擬した訓練で、こちらは福島第一の物揚場にて消防車とホースを接続して海水を注入することを行うものです。注水の訓練のイメージですが、こちらが福島第一で、こちらが免震重要棟で、炉注のポンプがあるのはこのあたりです。各建屋がこちらになります。物揚場のところに消防車を配置して、こちらを直列に繋いで、消防ホースを仮設ヘッダを通して注入することを行うものです。訓練の予定として、まず、明日、注水設備の復旧の予備の訓練を行います。こちらの本番は 12 日を予定しています。訓練1として、対応要因の招集ということで、こちらは 10/6、明後日の早朝に行いたいと思います。招集の訓練、注水設備の復旧の訓練の際には、TV会議システムを使っていくつかの発話がありますので、訓練ということで行いますが、誤解されないように注意していただければと思います。

(安定化 C ■■■■■) 訓練の場所、実際の原子炉建屋まで繋ごうではなくて物揚場周辺でホースを引く、そういう訓練をする理由は、不必要な被ばくを増やさないということで、それで線量の低い物揚場を使うということです。昨日、1号機の R/B 上部で建屋上部の放射能濃度の測定を実施しましたが、その結果が出ていますので報告します。

(安定化 C 環境影響評価 T) (書画で説明) これは原子炉建屋上部からの図です。原子炉のウェルがありまして、燃料プールがありまして、A1と A2 のいうところで蓋付きサンプル装置、合わせて2箇所、ならびに機器ハッチ上部に小型の採取装置を大型クレーンに吊り下げて隙間にサンプル装置を入れて測定するものです。これが写真ですが、1号機カバーリングでほとんど壁が出来上がっている状態の中で、大型クレーンに蓋付きのサンプル装置を吊り下げて原子炉の直上部に設置させて測定するというものです。(聞き取れず)。測定結果ですが、まず原子炉の直上部の方で説明します。10/3、2箇所です。北側と北西側で測っていますが、値的には Cs-134 は $4.3 \times 10^{-4} \text{ bq/cm}^3$ 、Cs-137 は $5.6 \times 10^{-4} \text{ bq/cm}^3$ という値が出ています。北側も $2.2 \times 10^{-4} \text{ bq/cm}^3$ という数字が出ています。前回、9/11 ですが、別の箇所3箇所、ならびに同じ箇所1箇所、計4箇所測定していますが、前回で一番高かった部分ですが、今回は同じ部分を測っていますが、数字的にはおおよそ3倍程度が出ています。炉内状態は変化ありませんので、総放射能が増えたということではなく、カバーリングによりまして外からの風が遮られたようなことで影響がでているものではないかと考えています。機器ハッチ部については、前回、8/28 ですが、2箇所測っていて $10^{-5} \sim 10^{-4} \text{ bq/cm}^3$ のオーダーでした。今回は、小さなサンプリング装置を使って $6.7 \times 10^{-5} \text{ bq/cm}^3$ 、 $7.8 \times 10^{-5} \text{ bq/cm}^3$ という数字が出てまして、ちょうど間くらいの値が出ています。放出放射能の評価という意味では、機器ハッチ側のこの数字を使って前回評価していますので、原子炉の上部よりも機器ハッチ側が高かったということで、この数字を

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

使っています。今回は 1/4 程度になっていますので、これから評価しますが、おおよそ前回の値よりもかなり低いと考えています。

(安定化 C ■■■■■) 落下傘を吊りおろした位置、高さ、これは前回と今回で差があるのでしょうか？

(安定化 C 環境影響評価 T) 今回は直上部に設置していますので、高さ的に全く同じということです。

(本店広報班) 本日の中央プレスへの説明状況です。本日は、午前中は11時、午後は6時からブリーフィングということになっています。午前中は、昨日、NISAに報告徴収命令に対応した報告をしています。具体的には、事故時運転操作手順書にかかわる報告ということで、本日、昨日報告したことをプレスしました。本件のやりとりは、午前中はほとんどで1時間弱となっています。具体的には、既に事故時運転操作手順書は国に出していますが、当社に対して不開示部分の考え方を示すように指示を受けました。1号機については昨日、報告して、残りの2、3号機は現在報告の準備をしている状況です。当社の考え方としては、手順書は社内文書であって知的財産が含まれると、何よりも原子力施設の安全の確保に係わる情報が入っているということで、問題が生じる恐れがあるということで公開を差し控えたいということの考え方は変わりませんが、NISA から公開により安全に支障が生じる恐れのある具体的な範囲を特定して提出して欲しいということでありましたので、範囲を限定して報告しています。内容については、やりとりについては、なぜ今回のような対応が初めからできなかったのか、というようなやりとり、それから、具体的にはどのくらいの開示になっているのかというようなことで、午前中は終了しています。午後は、6時からですが、サンプリングの状況について説明する予定です。

(本店厚生班)

昨日、福島第一の吉田さんの方から新広野寮の防寒対策品の関係について問い合わせがありまして、福島第一、第二の厚生班、それから(聞き取れず)と調整しています。具体的にはどこでどう購入するかということもありますし、場合によってはストックしている毛布等を会社で持っていますので、その貸与とか、どのようなやり方が一番即効性があるのか、それで十分かどうかといったところを検討していきたいと思っています。

(1F 所長) 早速の対応していただきまして、ありがとうございます。

(2F) 昨日ここで報告しましたが、明日、仮設電源のケーブルルートの変更を行います。本日はそれに伴いまして、RHR、残留熱除去系を A 系から B 系に切り替えて準備したわけですが、明日、実際の電源ケーブルルート変更時に電源が停止になります。従って、2号機の D/G A と、3号機の D/G A、この2台が不待機になります。9:30~18:00 の予定ですが、どちらも2台の D/G のバックアップ、2Aに

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

については1Bと2B、3Aについては3Bと3H。2号、3号、4号、3プラントともでした。
バックアップが入ります。2号、3号、4号のA系のD/Gを明日不待機にします。
(安定化C ■■■■)統合本部全体会議を終了します。本日はお疲れ様でした。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/5(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 本日は午後から雨になっていまして、今晚から明日にかけては結構強い降雨が予想されている状況です。作業そのものはそれなりに進捗をしています。北防波堤の復旧工事は終了したということで、後ほど発電所から報告がありますが、一つの工事の節目になっているものもあります。

(1F ユニット所長) 今日には発電所も昼から雨という状況でした。今朝早く、発電所に来る前の朝礼で気分が悪くなった方がいまして、病院へ搬送されたということがありましたが、作業中のけが、熱中症等、発生はありませんでした。プラントですが、昨日、CS 系からの炉注流量を 1m³/h 増やしました2号機ですが、炉注流量を増やした後、RPV の関連の温度は低下傾向を強めています。後ほど詳細な報告があるかと思えます。水処理の関係は、KURION、SARRY、順調に運転しています。滞留水の移送関係ですが、3号の T/B、H/W からの移送は継続しています。2号機から HTI 建屋への移送は昨日中断しまして、T/B からの移送ラインの増設という工事を行った後、今日再開ということでありましたが、多少手違いがありまして、再開は明日になっています。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から 3.6m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッドで 76.5℃、D/W 圧力は 20kPa gage、使用済燃料プールが 23℃で全体的に安定しています。2号機は、CS 系から 7.1m³/h、給水系から 3.7m³/h、合わせて 10.8m³/h で注水しています。昨日の 15:00 に CS 系の流量を 1m³/h 増加させて 7m³/h にしています。RPV 底部ヘッド上部で現在 90.7℃、昨日の夕方から比較して約 5℃低下しており、CS 系の注水量の増加で低下傾向が続いているということです。D/W 圧力は 8.4kPa gage、使用済燃料プールは 25℃です。3号機は、CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.3m³/h、あわせて 10.3m³/h で注水しています。RPV 下部ヘッドが 76.0℃、D/W 圧力は 0.2kPa gage、使用済燃料プールの温度は 24℃、こちらの方はほぼ安定した状態です。4号機の使用済燃料プール水は 33℃、共用プールのプール水は 28℃です。5、6号機は、原子炉、プールとも 30℃以下で安定して冷温停止と冷却を継続しています。6号機ですが、SW 系、海水系のヘッド圧力が緩やかに低下傾向にありまして、明日、13:30 頃、30分間程度ポンプを止めて再起動し、圧力の変動状況を確認します。本日より3日間の予定で IAEA の核燃料にかかわる査察を受検しています。対象は5、6号機、共用プール、キャスク保管庫で、カメラ設置等の(聞き取れず)も実施しています。

(1F1~4号復旧班) 水移送関係は、2号機から HTI 建屋への移送を停止しています。本日新設ラインのリークテストを実施しましたが、ラインナップにミスがありまして明日再実施ということで、移送も明日再開の予定です。水位の方は特に問題ないと考えています。3号機は T/B から HTI 建屋への移送を継続中で、H/W から

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

T/B への移送も実施中です。水処理も順調に運転を継続しています。17時現在で KURION は 87gpm、19.8m³/h、SARRY は 39.3m³/h で運転しています。AREVA は循環運転を継続していき、明日朝、水のサンプリングをしまして、その結果でどれくらい運転するかを見ていくことになります。水処理関係として、明日 KURION の H ベッセル2塔の交換を予定しています。水位ですが、T/B は若干ながら上昇しています。2号機は、23mm~24mm 上昇していき、T/B の水位は OP2836 です。3号機は、7mm 程度の上昇で、高い方のトレンチで OP3267 という状態です。4号機は、2mm の上昇で OP3077、1号機の R/B は 17mm 程下がりにまして、OP4257 という状態です。受け入れ側の集中ラドですが、水処理が順調にしている関係で下がっていき、プロセス建屋は 82mm 下降して OP3811、HTI 建屋は、117mm 下降して OP2429mm という状態です。その他の作業ですが、本日、炉注の注水の損壊を想定した予備訓練が実施されまして、問題なく終了しています。明日は、J ヴィレッジの寮からの招集訓練ということで、朝 5:30 から実施します。こちらは訓練で発話をしてから実施したいと思います。本日、その他の作業は継続案件がほとんどで、明日は、1号の R/B の3階で MCC 1D、こちら MO 弁2つのメガ測定を実施します。目的は1号の炉注の多様化ということで、こちらは高線量の作業になりますので注意して行いたいと思います。また、電気関係では、共通 M/C の 1A と M/C 5B の連携線の再受電が行われます。

(1F5,6 号復旧班) 明日の滞留水関係ですが、基本的に滞留水の移送はありません。

(1F 土木班) 海の工事の関係については、昨日の北防波堤の復旧工事をもちまして工事が終わりましたので、本日は陸上工事についてのみです。北防波堤の復旧工事についてはこの後書面で説明します。陸上工事ですが、G エリア、H エリアでタンクの工事を継続しています。ガラ撤去関係ですが、無人重機によるガラ撤去は、作業がありませんでした。明日も予定はありません。集塵機によるガラ撤去、本日実施しています。明日はメンテナンスの予定です。

(1F 建築) カバーリング関係ですが、本日、1号機のカバー設置は、水切りが行われました。屋根パネルの水切り、本日初の水切りを行いき、6分割中の2分割のパネルを水切りしています。明日、このうちの1枚を利用して設置の予定ですが、設置の可否については、本日から雨が強まっていますので、その状態を見て朝、判断をして実施したいと思います。その他、PC ウェイトの設置、西側ヤードで砂利敷きを継続して行っています。3号機ガラ撤去関係は、こちら継続作業ですが、変圧器の解体、ガラの片付け、西側ヤードで路盤整備、2号機海側地組ヤードで路盤上の鉄板敷きを行っています。4号ガラ撤去は、本日は準備作業として、南側ヤードの路盤上の鉄板敷き、M ステージの操作、仮設電源の工事、メーカーさんの工事として、プール上のフロート養生の固定を行っています。スラッジ貯蔵設

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

置工事は、本日はスラッジ棟で、明日予定しています基礎コンクリートの最終打設、6分の6工区の清掃を行っています。また、設備塔では、今週の 10/8、コンクリート打設を前にしてスラッジタンクの設置用の埋め込み金具のアンカーボルトの取付を継続して行っています。ガレキ収集運搬関係は、本日昼間の作業はなく、夜間作業で3号ガレキの積み込み運搬を予定しています。

(1F 土木班) (書画を使用) 復旧の対象としました北防波堤ですが、5、6号の前の北防波堤、延長 460m の区間を対象としています。もともとの北防波堤の構造ですが、防波堤の構造については、石を堤防上に組んだ上にブロックを積んで、その上にコンクリートを一部打って、架載をしているという構造になっています。左の断面がもともとの当初の断面ですが、津波による影響によって防波堤の上部の部分が港の内側の方に移動してしまって、全体として高さが低くなったということで、元々の機能を戻そうということで、テトラポットを元々下がった部分に積み重ねて復旧を図るという工事を行っています。元々、台風等による波の影響を懸念されたということで、作業自体は6月の中旬から行いまして、昨日 10/4 に波消ブロックの設置が終わったという状況です。まず、復旧の着手前の状況は、敷地の陸側から海の方を見た状況ですが、元々、防波堤の上の方に載っていましたがコンクリートやブロックの部分が、手前、港の内側に移動して全体として高さが低くなってしまっているという状況が復旧前の状況です。それに対して、ブロックを積み重ねて元々あった高さと同等の高さくらいまで消波ブロックを積み重ねて、元々考えていた設計上の波が来ても敷地への影響ができるだけないようにということで復旧を図っています。なお、これまで何回か台風等による波浪が来襲していますが、復旧工事等のおかげで、特に被害等がみられていないという状況です。

(安定化 C 所長)

本日は水曜日ですので、水処理の週報について報告します。

(安定化 C 水処理 PJ) (書画で説明) 1号機から4号機まで各建屋の貯水量はこちらの表の通りとなっていて、約 79880m³ 注水されている状況となっていて、前回報告比では各号機ともマイナスに転じています。台風等の影響もなくなって、順調に建屋の水位が下げられている状況で、概ね OP3000 の水位を維持できている状況です。送り先のプロセス建屋、高温焼却炉建屋ですが、貯蔵量は 17930m³ という状況です。水処理装置の性能ですが、除染性能ですが、Cs-134 で、今現在 KURION 単独で運転していますが、KURION で 1.5×10^4 、Cs-137 も同じような状況になっています。SARRY の DF ですが、 1.2×10^6 という状況です。淡水化装置ですが、入口の塩分濃度が大分下がってきていますが、3400ppm に対して出口が 44ppm という状況です。エバポレータは今現在、250t のエバポレータを追設中で、試験を実施しています。廃液処理としては、本格的な処理は今現在、淡水が余っている状況で行っていない状況です。注水に使っている水処理の

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

淡水化した水の状況ですが、4133m³で、累積 38239m³ 再利用している状況です。水の溜り状況ですが、水処理によって潮水がでてきますが、こちらは 594460m³、淡水については 8603m³ という状況です。炉注に対しては十分な水が確保できている状況です。

(安定化 C 冷却 PJ 部) (書画で説明) 予備訓練自体は、要員点呼、作業確認、現場サーベイ、調査、資機材の確認、消防車の移動、ホース敷設、接続、消防車起動、海水注水ということで、一連の作業の手順を確認するというところで実施しています。この評価も含めて 10/12 に本番の訓練をする計画です。本日の対応要員は約 30 名で、要員点呼から注水開始まで想定時間 90 分でやっていますが、実績としては 10:40 にスタートしまして 12:00 までということで、約 80 分でできました。線量としては最大 0.1mSv 程度ということで、線量の低いところでやったことでそれほど線量をくわなくて訓練ができているということです。また、明日、新広野寮からの要員の参集訓練ということで、早朝に訓練を予定しています。

(本店広報班) 本日の午前中の定例の記者会見について報告します。今日は、昨日夜ですが、保安院さんへ事故時運転操作手順書の提出をさせてもらっていますが、2号機、3号機分が予定までに間に合わないということで深夜遅くプレスにメールでその旨を周知しました。よって、今日の午前中の記者会見はそういうことを中心の質問になっています。厳しい質問というのはなかったと認識しています。今日 18 時からの会見ですが、溜り水の貯蔵および処理の状況ということで、資料を配付してやっているところです。最後に報告、お知らせですが、福島第一の事故にかかわる映像の公開についてということで、保安院さんから要請文をいただいていた。その第一弾として、先程 18 時に福一ライブカメラの静止画像ですが、3月分、315枚をホームページにアップしました。

(安定化 C 所長) 全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/6(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 小森) 昨夜から雨が降っており、本日午前中まで雨天であった。午後天候は回復した。

朝、召集訓練を実施したのでその状況について結果報告を後ほどする。

(1F) 本日午前中雨が降っていたが、午後から回復した。その雨のせいで、1号機 R/B カバーリング等一部の工事が休工したが、ほぼ他の工事は実施できた。

2号機の RPV 周りの温度は緩やかではあるが低下傾向を継続している。

キュリオン、サリーの運転は順調である。

雨の関係で各号機 T/B とも滞留水水位は上昇しているが問題となるレベルではない。

2号機からの移送について、T/B 移送ラインの L/T が終了したので午後再開した。

5号機と共用プールの IAEA 査察が行われた。

3号機 R/B 屋上のダストサンプリングを実施した。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から $3.9\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。注水量が下がっていたので、9時半頃 $3.4\text{m}^3/\text{h}$ から $3.9\text{m}^3/\text{h}$ (3.8 と思われる) まで注水量を増やした。RPV 底部ヘッドで 75.5°C 、D/W 圧力は 20kPa gage 、使用済燃料プールが 23°C で安定しています。2号機は、CS 系から $7.1\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $3.8\text{m}^3/\text{h}$ 、合わせて $10.9\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。給水系からの注水量が $3.4\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したので17時半頃注水量を増加させた。温度のほうは緩やかに下がっており (RPV 底部ヘッド上部で) 現在 89.3°C 、D/W 圧力は 11.2kPa gage 、使用済燃料プールは 26°C です。3号機は、CS 系から $8.1\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $2.3\text{m}^3/\text{h}$ 、あわせて $10.4\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 下部ヘッドが 75.0°C 、D/W 圧力は 0.2kPa gage 、使用済燃料プールの温度は 25°C 、こちらの方は大きく変化はない。4号機の使用済燃料プール水は 33°C 、雨の影響でスキーマーサージータンクを連続ブローし水位を約 6m に保っていたが、雨もやんでいるので今夜の当直パトロール時に止める。共用プールの温度は 28°C です。

5、6号機は、原子炉、プールとも 30°C 以下で安定して冷温停止と冷却を継続しています。

6号機 CUWF/D 逆洗プリコートを実施し問題なかった。これを受けて明日 CRD 系と CUW 系のインサービスをする予定である。

6号機 SW 系の圧力低下傾向があったことから SW ポンプを30分程度止めた。その後起動した結果として低下前の圧力まで回復している。RHRS 圧力に若干影響があったことから、SW ポンプのごみが無くなり RHRS に流れ込んだと推定されるが、推定であるので引き続き監視していく。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F1~4号復旧班)水移送関係は、2号機から HTI 建屋への移送については、新設ラインのL/Tが完了したため、13:48移送を再開した。3号機から HTI 建屋への移送は継続中である。

水処理も順調に運転を継続しています。キュリオンについてはHベッセル2棟交換を実施しているが停止等はない。17時現在で KURION は 89gpm、20.2m³/h、SARRY は39.6m³/h で運転しています。

ROについてはRO2、3について9:58~13:01まで停止した。廃液 RO供給ポンプBのフランジ修理のためであり、現在運転をしている。

アレバは循環運転を継続しており、今朝のサンプリングの結果だと当初より3桁程度セシウム放射能レベルが下がっているとのことで、明日の朝まで循環運転を継続し判断することとしている。

明日はキュリオンのベッセル交換予定はない。今までの交換は2日に2棟交換していたが、保守的であったため3日に2棟交換することとした。

水位ですが、雨の影響で上昇しています。2号機は、29mm トレンチT/B共に上昇してまして、T/Bの水位はOP2916です。3号機は、14~15mm程度の上昇で、高い方のトレンチでOP3314という状態です。4号機は、10mmの上昇でOP3108、1号機のR/Bは81mm上がりまして、OP4507という状態です。受け入れ側の集中ラドですが、下がってまして、プロセス建屋は76mm下降してOP3608、HTI建屋は、65mm下降してOP2184mmという状態です。

本日炉注設備の復旧訓練を実施し無事終了した。

1号機R/B3階のMCC1DでMO弁2台のメガ測定を実施した。CS系のバルブについてはメガOK、R/BヘッドスプレイのMO弁については結果がうまくなかった。

受電関係でM/C1AとM/C5Bの連携の再受電無事終了した。

D/GB、旧2BD/Gについて仮設MCC及び分電盤の受電について完了した。

(1F5,6号復旧班)明日の滞留水関係ですが、6号機T/Bから仮設タンクへの移送のみ行う予定で、10時~16時である。

(1F土木班)工事関係はお休みとなっている。また、タンクの工事について前日体調不良の方が亡くなられたこともあり、資材の積み下ろし等必要最小限の工事ということで、受変電設備の設置工事、5、6号機海側斜面の復旧工事となっている。明日は中止していた作業の再開ということで、タンクについてはG、Hエリアでタンクの設置工事、前日に引き続き受変電設備の設置工事として流し込みの打設、〇〇(スカルハート?)の搬入を行う。5、6号機海側斜面の復旧を行う。ガラ撤去は本日、明日ともに休工。

(1F建築)1号機R/Bカバーリング工事については、本日休工で、明日屋根パネルの設置、及び西側ヤードの採石敷きを行う。3号機R/Bのガレキ撤去について

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

は、継続で南側ヤード変圧器周りのガラ片づけ、(ジグミ?)ヤード西側ヤードで路盤整備を行う。明日も継続で行うが、R/B西面の崩落柱の解体を行う。4号機ガレキについては、本日南ヤードの敷鉄板溶接、フロート養生固定を行っており、明日からはR/B大物搬入口の解体を始める。また、フロート上部の鉄板養生、SFP水位計の電源盛り換えも行う。ガレキ運搬は本日明日とも夜間作業であり、3号機ガレキの運搬を行う。スラッジ貯層施設については、スラッジ棟で基礎マークの最後のコンクリート打設を行っており、併せて〇〇(PCダイバ?)ブロックの据え付けを行った。ブロック据え付けは明日も継続で行う。設備棟については、本日埋め込み、アンカーボルトの設置、明日は明後日のコンクリート打設に向けた準備を行う。

(安定化 C) (書画で説明) 緊急時の召集訓練の結果について。訓練の参加人数は安定化センターの要員34名でバスで移動した。時系列としては、5:30に訓練を開始し、その後5:51に情報提供システムによる一斉メールが配信され、召集の連絡が出ている。これを受けて、タイベック等装備をしてバスに乗り込み6:20に出発した。早めに出られた。1F免震棟到着が7:07である。

終わった後に反省会をやったときに出てきた意見としては、地震時に携帯電話が使用できないとのことで、別途検討する余地があると考えられる。召集場所に照明がないとのことであった。(他意見は書画資料参照)

訓練参加者にアンケートを実施しており、今後の緊急対応に活かしていきたい。参加しなかった人にも伝えて頂きたいと考えている。

(安定化 C) 1号機についてガス管理システムが搬入目処がついたので簡単に説明する。システム基本構成だが、格納容器から抽気したガスを除湿・加熱・ガス処理その後ファンで引っ張って放出する。そのうち〇〇(ジョセイチ?)、ガス処理装置が明日以降1, 2号機に入ってくるとのことで、やっと主要なものが現場に搬入されるとのことで紹介させてもらう。

設置場所は1, 2号機とも T/B オペフロに置く計画がある。抽気点についてはPCVから引っ張ってきて、抽気の仮設の配管を使ってR/Bを抜けてT/Bを通して、2号機大物搬入口の開放部を使ってオペフロに置く作業を進めている。対流水移送設備と干渉する場所が出てくるので、線量低の観点から作業調整を行う。

(安定化 C 小森) 1号機の配管切断については、水素対策を含めて手順を詰めている。

(本店広報班) 11時から40分ほど、今朝亡くなった作業員の方について、1号機の炉注水の対応等説明した。質疑は亡くなった方の症状や作業内容について聴かれた。夕方の方は実施している。

(2F) 仮設ケーブルのルート変更をしてきたが、ケーブルルートの変更が終わったので2号機原子炉冷却系をB系からA系に戻す。10時頃から8時間程、炉水温

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

度は4℃程度上がると考えられ、30℃程度まで炉心温度が上がる見込み。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/7(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 小森) 本日の天候は晴れだったが、風が強かった。そのため、パネル取り付け等クレーン作業が風の影響で出来ない工事が発生した。その他の工事はほぼ計画通りに実施したと思われる。

本日午後、RO でろ過された5, 6号機の滞留水の散水を開始した。

(1F) 天候は非常に良かったが、風が強かった。そのため、屋外作業は影響を受けた。本日もけが人病人の発生はなかった。

特記事項としては、5, 6号機の散水、所内共通 M/C1A の受電があった。6号機は炉水の伝導率が悪くなってきたが、本日 CUW の運転ができた。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から $3.8\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 底部ヘッドで 74.2°C 、D/W 圧力は 20kPa gage 、使用済燃料プールが 24°C で安定しています。

2号機は、CS 系から $7.0\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $3.7\text{m}^3/\text{h}$ 、合わせて $10.7\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。CS 系の流量を調整した以降は温度は順調に下がっており、RPV 底部ヘッド上部で 87.9°C 、D/W 圧力は 11.7kPa gage 、使用済燃料プールは 27°C です。

3号機は、CS 系から $8.1\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $2.2\text{m}^3/\text{h}$ 、あわせて $10.3\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 下部ヘッドが 74.5°C 、D/W 圧力は 0.2kPa gage 、使用済燃料プールの温度は 25°C 、こちらの方は安定しています。4号機の使用済燃料プール水は 35°C 。共用プールの温度は 29°C です。

5, 6号機は、原子炉、プールとも 20°C 台で安定して冷温停止と冷却を継続しています。

(1F1~4 号復旧班) 水移送関係は継続。

水処理も順調に運転を継続しています。17時現在で KURION は 88gpm 、 $20\text{m}^3/\text{h}$ 、SARRY (A) (B) は $18.7\text{m}^3/\text{h}$ 、 $19.8\text{m}^3/\text{h}$ でトータル $38.5\text{m}^3/\text{h}$ で運転しています。

RO2, 3についても運転している。

アレバは循環運転を継続している。

キュリオン、サリーのベッセル交換は本日明日ともない。

4号機 SFP ヘッドを 2m^3 実施した。

塩分除去装置について昨晚不調で停止した。ED 装置の不具合があるということで週末停止ということになった。

1号機 PCV ガス管理システムだが、明日 CCS 配管の H_2 パージを行う。

所内共通 M/C1A の P/C1A 及び MCC1A の受電を完了した。

2号機 LPRM 健全性確認を完了した。

3号機デジレコの TE 指示確認作業を完了した。

緊対室の集中遠隔監視カメラの耐震対策を実施した。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F5,6 号復旧班)本日、浄化水の散水を14:06~15:50で実施している。明日も実施する。

明日の滞留水の移送はなし。

(1F 土木班)タンク設置工事についてはG、Hエリアで継続している。ガラ撤去は今日明日作業はなし。集塵機については明日、明後日正門前を実施する予定。

(1F建築)1号機R/Bカバーリング工事については、壁パネルの設置予定だったが強風のため中止した。そのため、水切りも高波のため中止した。その他西側ヤードの採石敷き、廃棄フィルターユニットの調整運転を行った。明日、屋根パネル設置、屋根パネルの水切りを行う。また廃棄フィルターユニットの調整運転を行う。3号機R/Bのガレキ撤去については、南側ヤードで碎石路盤敷を行った。西側道路のスロープ復旧、ジグミヤードの碎石鉄板敷を行った。明日は、西側上部崩落柱の解体、継続して南ヤードの碎石路盤、海側ヤードジグミヤードの碎石鉄板敷を行う。

4号機 R/B ガレキ撤去については、4号機大物搬入口の解体を行った。SFP のフロート養生の上に鉄板を取り付ける作業を行った。さらに、SFP 水位計の電源盛り換えを行った。明日は、本日行った大物搬入口の解体材のコワリを行う。フロートの上部鉄板取り付けも継続して行う。スラッジ貯層施設については、スラッジ棟で壁の PC 台座ブロックの据付、設備棟は明日のコンクリート打設に向けた準備を行った。明日はスラッジ棟は継続で、設備棟はダイイチコウクのコンクリート打ち 350m³を予定している。

(1F)最近福島県近辺で地震が多く発生している。現場に出ている作業員へ安全の連絡がつくか、防災のほうでサイレン及び放送を流して確かめた。どうも風が強かった影響もあるが、十分に連絡がつく状況にないことが分かった。連絡手段を組み合わせながら連絡を付ける方法をとりたいと考えている。

(安定化 C ひまわりプロジェクト) (書画で説明)本日から(5. 6号機滞留水の)散水作業が始まったが、野球所付近から散水を28t行った。(写真紹介)。明日の散水エリアはCゾーンで行う。西門と企業棟のところの森林の飛散防止を目的として散水を実施したい。作業は9時~16時を予定している。

(安定化 C 小森)慎重に行うこと。

(安定化 C) (書画で説明)N²で中のガスを押し出して、ファンネルのところのプロローで外に引っ張る手順で考えていたが、取口で水素と酸素が混合リスクがあるため、配管から直付けで静電気防止ホースを繋いで外に放出するラインを構成する。ポンペの出口圧力で押し出してあげる対策で検討した。合わせて、ホースも静電気が発生しないものを手配したのと、放出したあたりで万一発火があっても、防止するようなフレームアレスタを手配して万全を期した。合わせて、ホース自体に何本かジョイントしているのでジョイント部から漏えいがないような手順の見直しをか

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

けている。工程は28日に示して、29日に開始する予定であったが、今月に入ってから物の手配をかけていた。本日現着してホース敷設を行っていたが、明日の午後位からパージを始められると考えている。パージから切断まで考えているが、無理せずに日曜日に切断する方向で考えている。ホースはシールタイトなものを手配しているが、漏えいが確認された場合は更に漏えいを防止できるホースの手配もしており、15日以降に納品されることとなっている。

(安定化 C 小森)現場では慎重に作業を進めること。何かあったら一旦立ち止まるようにお願いしたい。

(安定化 C) (書画で説明) シミュレーションを使って来週以降の移送操作について説明する。

2号機については現在凡そ2900の水位となっている。10月4日から6日にかけてポンプ追設工事を行っており、2900付近で安定している状態となっている。

3号機については現在 H/W からの移送を行っており、水位監視をしている。

来週以降3件工事がある。

1件目は、PCV ガス管理工事で2号機も T/B 大物搬入口で作業が行われるため、滞留水が近くを通っているので雰囲気線量を下げするために、3日間の停止が必要と考えている。

2件目は HTI の開口部の閉塞で、HTI 建屋のホースが通っている開口部を閉塞するので、2号機及び3号機の停止とフラッシングが必要となる。

3件目は、10月18日～10月20日にかけて、電源の信頼性向上工事のため電源の停止がある。キュリオン及びサリーが2日間停止する。

その3件の工事によって、移送は1件目と2件目の工事を同時に行い10月12日に停止する。その関係で2号機は3日間、3号機は2日間停止する予定である。水位が2号機では200mm上昇する見込みである。移送が停止するので、HTI 建屋については急激な下降となる。その影響を受けて、水位調整のため3号機を2台運転とし HTI 建屋へ移送することとし水位調整を行う。

その後、10月18日～10月20日の電源停止工事でキュリオンとサリーの停止工事をする。その後については、3号機から1台、2号機から1台で HTI 建屋へ移送する。

(安定化 C) 昨夜22:32、塩分除去装置が停止した。ED システム異常であり、塩分除去装置は SFP の冷却循環システムから水をとっているが、逆浸透膜で浄化して返すものであるが、逆浸透膜の排水を更に濃縮するシステムが ED である。こちらの異常で停止した。原因調査状況だが、ED 装置内に送水タンクがあるが、こちらもしくはポンプ検出系の異常まで原因を絞りこんでいる。調査していく。

今後の除去装置自身の再起動予定だが、停止を利用してその他メンテナンスや RO モジュール交換等実施し、1週間以内程度で再起動したいと考えている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C 小森) 温度そのものは安定しているが、塩分除去機能は1週間程度停止する。

(本店環境影響評価チーム) (書画で説明) 5日に実施した2号機の結果について報告する。2号機は前回と同様にブローアウトパネルのところで採取をしたが、結果として、検出されないところもあり、検出されたところでも前回の 1/5 程度の値であった。放出量の評価については今後行っていくが、測定条件は見直しを行っていく。6日に測定した3号機の結果は、装置の不具合で取れなかったところもあるが、前回水蒸気の発生が見られた場所の近くで小型のサンプリング装置により測定できた。高いところだと 1.1×10^{-3} ということで前回よりも1桁高い値となっている。風による影響による拡散の状態が違ったためと考えられるが、今後評価していく。

(本店広報班) 本日は11、18時から単独レクを行っている。午前中は5、6号機の滞留水を散水する計画について説明した。質問もほぼ1色であるが、仮設タンク及びメガフロートに水が入っているが、容量と貯水量の質問であるが、撒くにあたっての地元説明、地下水から海へ流出しないか等質問があった。午後はダストサンプリングの結果や N2 パージについて質問を受けた。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/8(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 小森) 本日は天候に恵まれていた。1号機ではカバーリング工事で屋根パネルが取付けられた。また、1号機 PCV ガス管理システム関連でガスをパーズする作業を実施した。トラブルとしては、RO 装置の濃縮廃液側でホースから水漏れがあり、見つけて素早く別のホースで RO を起動した。

(1F ■■■) 本日は晴天に恵まれた。熱中症は特になく怪我人の発生もなかった。RO 関係の水漏れ対応の中で、社員の顔面汚染があり WBC の確認をしている。本日、ひまわりの散水に関して97t散水した。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から $3.8\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 底部ヘッドで 73.9°C 、D/W 圧力は 20kPa gage 、使用済燃料プールが 24°C で安定しています。2号機は、CS 系から $7.1\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $3.7\text{m}^3/\text{h}$ 、合わせて $10.8\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 底部ヘッド上部で 87.5°C 、昨日から 0.4°C 低下しておりほとんど静定している。D/W 圧力は 12.0kPa gage 、使用済燃料プールは 26°C です。3号機は、CS 系から $8.0\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $2.2\text{m}^3/\text{h}$ 、あわせて $10.2\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 下部ヘッドが 74.3°C 、D/W 圧力は 0.2kPa gage 、使用済燃料プールの温度は 25°C 、こちらの方は安定しています。4号機の使用済燃料プール水は 34°C 。共用プールの温度は 29°C です。

5, 6号機は、原子炉、プールとも 30°C 以下で安定して冷温停止と冷却を継続しています。昨日6号機の CUW インサービスしたが、導電率は9.1から5.1まで下がって良好である。

(1F1~4号復旧班) 水移送関係は継続。3号機 H/W から T/B への移送は継続しており、明日午前中まで継続の予定。

水処理も順調に運転を継続しています。17時現在で SARRY は $38.3\text{m}^3/\text{h}$ 、KURION は 87gpm 、 $19.8\text{m}^3/\text{h}$ で運転しています。

RO については濃縮水の移送ラインで水漏れが発生し12時に停止した。14時に再起動した。現在漏えいは停止しており、立ち入り制限をしている。

キュリオンについては HHH(A, G, H とと思われる) ベッセルを3, 4番から1, 2番に切替えている。明日はキュリオンの H ベッセル2棟、サリーベッセル2棟交換を予定している。

水位は大分落ち着いてきており、2号機は変化なし、ないしは 1mm 上昇で T/B は $OP2913\text{mm}$ である。3号機については、 $6\sim 7\text{mm}$ の上昇で、トレンチは $OP3356\text{mm}$ である。1号機 R/B はマイナスに転じており、今朝から 10mm 減の $OP4564\text{mm}$ となっている。プロセス建屋は 80mm 下降の $OP3192\text{mm}$ である。HTI 建屋は 51mm 上昇の $OP2426\text{mm}$ である。

1号機の CCS 配管について H₂ パージしているが、窒素で 9m^3 パージを実施した。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

弁問部は一旦0%だったが1時間半後に3.9%に戻ってきたので、明日再度測定をし、再パージした上で切断をする予定である。

(1F5,6 号復旧班)本日、洗浄水の散水を9:30~15:25で約6時間実施している。明日も実施する。明日は滞留水の移送はなし。

(1F 土木班)タンク設置工事についてはG、Hエリアで継続している。明日はなし。ガラ撤去は今日、明日作業はなし。集塵機については今日、明日正門前を実施する予定。

(1F建築)1号機R/Bカバーリング工事については、屋根パネル 1/6 目の設置、水切りを実施した。明日は、2つ目の屋根パネルの設置を行う。

3号機R/Bのガレキ撤去については、R/B 西側の崩落柱の解体、周辺ヤードの整備、ガレキ片づけを行っている。明日は周辺ヤードの路盤整備とT/B 屋上の排気ダクトの解体を再開する。

4号機 R/B ガレキ撤去については、大物搬入口の解体ガラの個割りを行っており、明日は休工。ガレキ運搬は本日4号機のガレキ運搬を行っており、本日の夜間と明日は休工。スラッジ貯層施設については、スラッジ棟で壁の PC 台座ブロックの据付、設備棟で基礎マットのコンクリート打設の1回目を行った。明日は設備棟のコンクリート養生のみ行う。

(1F 保安班)RO 設備の脇で漏水があり、漏水近傍のところに一般排水口があったとのことで、念のため海水放水口の南側のサンプリングを実施した。結果は ND であった。

(安定化 C) (書画で説明)天候に恵まれて、屋根パネル6枚あるがそのうちの1枚を取付けた。(写真を紹介)。

(安定化 C) (書画で説明)仮設の N2 ポンプを使って水素の追い出しをしている。12:18位にほぼ150l/min で送気を始めて、1回目に13:22に下のほう(書画で示している)が0%になって、13:51に46A の部分で0.1%まで下がったことを確認した。30分以上あけて再度測定を実施した。46Aは0.4%となったが、ベントラインは合計2時間ちよいとホールドしたら3.9%まで上昇した。上昇率が高いので作業はここで中断した。明日は同様の手順でパージをし、63%までであったものがここまで下がっているの、手順に問題があったわけではなくて、出来きっていない部分があると想定している。うまくいけば、明日1回のパージで終わって、予定通り2カ所の切断に入りたいと考えている。

(安定化 C) (書画で説明)RO 濃縮水の移送ホースから漏えいがあったので概要を説明する。11:45頃にヤードのホースが漏えいしていると、タンク設置をしている作業員が連絡してくれた。RO ポンプも12時に停止し、漏えい箇所を確認した。傷の大きさは幅がスリットなので1mmであり、長さ5cmと3cmのものがあつた。推定漏えい量としては 40l であつた。ラインは11:20位から移送を開始しており、12

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

時の停止までの40分間漏えいしていた。移送ホースの傷が原因であり、対策としてはホース取り替えとなる。週明けを予定している。

ROから出た濃縮した成分を受けるタンクから少し離れた、200～300mあるが、ホースで移送する途中のラインがブレイクしている。(写真で説明)。漏えい箇所を見つけるために一旦ポンプを起動し、弁を寸動して開ける操作をした。水が少し吹き出ているが、実際は吹き上がっていたと第一発見者が報告している。その後、現場を見に行った人が2F ビジターズホールにおいて、あごのど部であるが、近くによらなかったようだが、ミストの状態で水分が付着してしまったものと思われる。 γ 0.13mSv、 β 0.5mSvであり計画内に収まっていたが、タイベックの姿であったため、近くによらないようにしていたようだが、しぶきが付着したと思われる。念には念をいれてアノラックを付けるなど対応する。現場は β 線源の水が蒔かれた状態であるので雰囲気線量が10～18mSv/hである。しばらく立ち入り禁止の処置をした。

(本店環境影響評価チーム)(動画で説明)1, 2, 3号機について建屋のダスト測定をしたときのビデオ紹介をする。1号機は機器ハッチ開口部のところを小型の装置で測定したものである。2号機はブローアウトパネル前でダストを測定した際に内部の状態について撮影したものであり、今回については前回のような水蒸気は確認できなかった。3号機はオペフロ上でダストを取るの、近くで取るため小型のサンプリング装置を使って、オペフロすれすれで撮影したものである。(動画鑑賞)

(本店広報班)11, 18時単独会見を行った。11時では、昨日2, 3号機事故時運転操作手順書を提出した件について説明、そして本日プレスをした。先に1号機のものを出していて、手順書を公開した際に安全上支障となる情報について保安院に対し報告した。スタンスは同じ。1号機CCS配管のパージの件について作業手順の質問があった。午後については、建屋カバーの写真、ダストサンプリングの映像、毎週写真で示す発電所の状況として、本日も何枚か紹介している。今朝の朝刊で、5, 6号機の滞留水散水について各紙取り上げているが、中身的には否定的なものはない。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/9(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C)本日は天候に恵まれ、56号機側からの滞留水処理水の放水、1号機屋根パネル取付けを行い作業が進捗しております。1号機PCVガス管理システムについては、昨日からN2ガスパーズを実施し、本日17時から切断作業を実施しております。後ほどポイントを説明します。電源関係、タンク設置作業は休工となっております。

(1F)天候も良く、作業は順調に進んでおります。熱中症、傷病者もおりませんでした。昨日RO装置での水漏れで1名顔面汚染がありましたが、WBCの結果、記録レベル未満ということで安心しております。6号機ではCUW運転により導電率が順調に低下しております。

(1F 発電班)1号機炉注水量は3.8m³/h、RPV底部ヘッド温度は73.8℃で安定。D/W圧力は20kPag、SFP温度は24℃でした。

2号機はCS系から7.1m³/h、FDW系から3.6m³/h、合計10.7m³/h注水しております。RPV底部ヘッド温度は87.4℃で安定、D/W圧力は13.0kPag、SFP温度は26℃でした。

3号機はCS系から8.0m³/h、FDW系から2.2m³/h、合計10.2m³/h注水しております。RPV下部ヘッド温度は74.1℃、D/W圧力は0.2kPag、SFP温度は24℃何れも安定しております。4号機SFP温度は34℃、共用プール温度は28.4℃でこちらも大きな変化はありません。

56号機では、6号機でCUW、CRD系を起動しており、14:18にCUWを停止し、14:39にCRDを停止しております。導電率は3.1μS/cmまで低下しました。

(1F1~4号復旧班)滞留水関係ですが、2号機T/B、立坑で2mm下降、3号機T/Bで7mm下降、立坑では変化ありませんでした。4号機T/Bで6mm上昇しております。プロセス建屋で56mm下降、HTI建屋で237mm上昇しております。

水処理関係ではキュリオンでHベッセル2塔を交換、交換後10:15に流量が安定しております。サリーでもベッセル2塔を交換しており、13:54に流量が安定しております。明日はベッセル交換の予定はありません。

(1F5,6号復旧班)滞留水関係ですが、メガフロートへ移送はありませんでした。明日も予定はありません。仮設タンクへの移送についても本日は実施しておりません。明日も予定はありません。ひまわりへの散水を本日9:19~10:26まで実施しました。明日、散水の予定はありません。

3号機H/WからT/Bへの移送を10/3 10:59から開始して本日10:22に停止しております。1号機ではCCS配管切断作業のため、昨日から昨日からN2パーズを実施し、17:07に切断を開始しております。

(1F 土木)タンク設置は休工。明日はGエリアで実施予定。ガラ撤去は無人機作業

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

が今日・明日と休工になります。集塵装置による集塵は本日正門前で実施。明日は予定ありません。

(1F 建築)1号機R/Bカバーリング工事では2つめの屋根パネルの設置を行っており、明日は壁パネルで残っている北側のパネル設置を行います。併せて屋根パネル材の水切りを行います。3号機ガレキ撤去については本日T/B屋上の排気ダクトの解体、周辺ヤードの路盤整備を実施しており明日も継続で実施します。4号機ガレキ撤去は本日休工。明日は大物搬入口の解体からのごわり(碁割?)、南側ヤード路盤整備を実施します。ガレキ運搬は本日休工で、明日は日中4号ガレキ、夜間3号ガレキの運搬を行います。

スラッジ貯蔵設備については、設備棟で明日コンクリート打設2回目を予定しており、本日その準備とコンクリートの養生を行っており、スラッジ棟では明日壁PC台座ブロックの据え付けを行います。

(1F)1Fから一点御礼ですが、本日柏崎さんから大量のチョコレートの差し入れをいただきました。ありがとうございました。

(安定化C)PCVガス管理システム作業について昨日からの状況を簡単に書面で説明します。昨日一通りページが終わりまして、84Aの方が3.9%あったということで1%未満でないことから昨日は作業を終了しております。その後、今朝ページ前に濃度を測定しましたが、46A弁で2.3%、84A弁で2.9%、1%以上おのおのあったことから、紫のラインをN2ガスページを10:25~11:30に実施しました。その後、濃度は測定点①1.2%、測定点②0.7%でした。①が1%未満でないことから再ページを13:19~14:15で実施しました。その後の測定で46Aが0.9%、84Aが0.5%ということで1%未満になったことから、この時間を起点に30分ホールドに入りました。ホールド後の測定結果は46Aでは0.9%から1.6%に上昇(上昇率0.7%/h)、同様に84Aでは約2時間で0.5%から2.2%に上昇(0.8~0.9%/h)しました。上昇率の判定を別途定めており、4時間で4%を超えないこととしており、それを満足していること確認できたため、N2ガスを送気しながら切断作業に入りました。先ほど現場から17:55に水素ガス濃度を確認したところ、46Aで0%という報告がありました。このままN2ガスを封入した形で切断作業を行います。作業エリアでは水素ガス濃度が2%を超えた場合中止することと決めておりますが、そのような状況にならないよう監視しながら作業に当たります。

(安定化C小森)一遍に説明したので理解できない部分もあると思いますが、それなりの判断をクリアして慎重に作業を実施してもらっているという状況です。引き続き監視を行ってもらいます。あと、被ばく管理の方もよろしく願います

(安定化C)水処理関係は安定運転を継続しております。アルバでは除去効率10の2乗を目指して浄化運転を継続しております。また、東芝製250^ト3機の蒸発濃縮装置試運転が本日終了して、明日から使用開始の準備ができております。しかし、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

炉内注水のための淡水化が必要ないためスタンバイ状態となります。

(本店 広報) 本日の記者説明は11時と18時。11時ではPCVガス管理システムのページの手順について質問があった。18時は切断作業を開始したことについて説明を行います。

(安定化C) 全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/10(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C [REDACTED]) 本日、作業にあたられた皆様、また、現場を支えるために各所で業務にあたられた皆様、お疲れ様でした。本日は3連休の最終日ですが、作業は通常の日に比べて比較的少なめでした。一方、カバーリング工事、タンク設置工事等は継続しています。また、1号機の CCS 配管に溜っていました水素ガスのパージ、ならびにそれに引き続く配管の切断工事ですが、昨晚遅く、無事作業が完了しています。後ほどご報告します。

(1F所長) 天候は雨のち晴れの状況でした。かなり午前中強い雨になりました。地震が11:46に震度4ですが発生しました。久しぶりに大きめ地震でしたが、一種何もなかったが訓練としては非常にいい訓練になったかと思います。プラントは、工事量そのものはかなり少なめで、傷病者等はありませんでした。

(1F 発電班) 本日、11:46に楢葉等で震度4の地震がありました。1Fの加速度は水平が33.2gal、垂直で21.7gal、こちらについては区分Ⅱのパトロールを実施しまして、特段の異常は確認されていません。1号機は、給水系から3.8m³/hで注水中、RPV底部ヘッドが73.6℃、D/W圧力は20kPagage、使用済み燃料プール水温度が24℃で安定しています。2号機は、CS系から7.0m³/h、FDW系から3.6m³/h、合わせて10.6m³/hで注水中で、RPV底部ヘッド上部が85.3℃、昨日の夕方から2℃程下がって低下傾向が継続しています。D/W圧力は14.9kPagage、使用済み燃料プール水温度が26℃です。3号機は、CS系から8.0m³/h、FDW系から2.2m³/h、合わせて10.2m³/hで注水中です。RPV下部ヘッド温度が74.1℃、D/W圧力は0.2kPagage、使用済み燃料プール水温度は25℃です。4号機は、プール水温度は33℃、共用プール温度は28.5℃です。なお、2号機のプール水の冷却系につきまして、昨夜の22時頃、ポンプ入口流量が増加するといった傾向、本日地震の後には出口流量が増加するという傾向が見られています。これについては、現場パラメータ、スキマーサージタンクのレベル等、他のパラメータに変動がなく、過去に経験しているような計装系の変動と考えていますが、こちらは引き続き経過観察していきます。5、6号機では、特段トピックスはありません。

(1F1～4号復旧班) 原子炉注水は引き続き注視していきます。SFP注水については実績はありません。水移送関係は、2号機、3号機ともにT/BからHTI建屋に移送を継続しています。水位関係ですが、1号機で1mmの下降です。2号機は、T/B、トレンチともに2mmの上昇です。3号機は、T/Bで6mmの下降、トレンチで1mmの下降です。4号機は変動ありません。集中ラドの方ですが、プロセス建屋で53mmの下降で、OP2884です。HTI建屋で39mmの上昇で OP2890、ほぼシミュレーション通りとなっています。水処理設備は SARRY、KURION ともに順調に稼働しています。AREVA は、循環浄化運転を継続実施中です。明日のベッセル交換は予定あり

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ません。本日、海水浄化装置の運転を再開しています。昨日お話しがありました1号機の CCS 配管は、昨日の22:30に切断が完了しまして、本日の0:37に溶接、蓋の溶接の作業が終了しています。

(1F5,6 号復旧班)本日、メガフロートへの移送はありませんでした。明日も計画していません。T/B から仮設タンクへもなし。明日もなしです。ひまわりについては、本日はありませんでしたが、明日予定しています。

(1F 土木班)昨日、連休の関係で一部の工事の実施でしたが、本日より、G エリア、H エリアでタンクの設置工事を再開しています。ガラは撤去は休工です。明日は、引き続きタンクの工事を継続実施します。ガラ関係では、集塵機の作業を3,4号機海側の OP10m 盤で実施する予定です。明日から新しい作業として水処理の制御室の北側で、環境改善のための樹木の伐採を予定しています。

(1F 建築班)カバーリングですが、本日、壁パネル、残りの北側1面、設置しまして、これによって壁パネルは全て終了です。明日から、また、屋根パネルの設置を再開します。屋根パネルの(聞き取れず)について、本日水切りをしまして、入港が朝6:30、出港が8:11、全て予定通り完了しています。3号機ガレキ撤去関係は、継続作業ですが、高台上で排気ダクトの解体、南側ヤードにおいて変圧器防火壁の解体集積、周辺路盤の整備を実施しています。4号機ガレキ撤去関係は、路盤整備、鉄板溶接関係と、大物搬入口の解体、ガラの小割りを本日実施しています。スラッジ貯蔵設備については、スラッジ棟、壁PCパネル設置に伴う PC 台座のブロック設置を本日行いまして、あとは足場等の仮設工事を行っています。設備棟では3分割中の基礎コンクリート打設ですが、本日、2ブロックのコンクリートの打設を行っています。ガレキ収集運搬関係は、昼間、4号機周辺のガレキの積み込み運搬、夜間走行の照明の給油、夜は3号機のガレキ収集運搬を重ダンプで行います。

(安定化 C XXXXXXXXXX) CCS 配管の中に溜っていましたが水素のパーティ、ならびに配管切断について経緯を簡単にご報告します。

(安定化 C) (書面で説明) 1号機の PCV ガス管理システムの配管切断作業で、昨日行いました内容について報告します。昨日の全体会議では切断箇所、下の箇所について、17:07に切断開始でご連絡しましたが、18:45に切断を完了しました。上の方ですが、昨日の21:23に切断を開始しまして、22:30に切断を完了しています。こちら、上と下の開端部については、上面の方はポリキャップにて23:10に閉止しています。0:37、本日ですが、下部の方は閉止の溶接をすることによって閉止作業を完了しています。なお、開口部の下に T 管、配管の側面が見えますが、約 10m と思いますが、こちらの角の方に水面が見えたという報告がありました。線量の実績ですが、計画 6mSv で、当社の社員が最大で被ばくをしまして、5.16mSv。計画線量内ですが、かなりの線量をあびました。作業は夜間に渡って行われましたが、無事切断作業が完了することができました。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C ■■■■■)深夜に至る、あるいは高線量下に至る作業で、作業にあたられた皆様のご努力に感謝します。

(本店広報班)本日のマスコミ対応状況について報告します。本日は休みということもあり、事務方の方で午前中11時からですが、プラントデータ等を中心としたレクを実施しています。なお、1号機の CCS 配管の切断作業につきまして、10:30終了した旨を23時頃にメールにてマスコミ各社に送付しています。午前中の会見ではそれに続きましてそれに関連する説明を実施しています。その結果、CCS 配管切断作業の内容の確認、水素だまりの原因、2, 3号機に溜っている可能性などの質問をいただいています。それに加えて、マスコミではないですが、散水状況についていくつか質問がでています。18時から■■■■■のレクが開催されています。

(2F ■■■■■)1件目は地震の関連です。11:46の地震、福島第二の1号機で上下方向で33.9gal、水平は3号機で31.5galという数字でした。なお、1Fと同様、パトロールを実施して特にプラントに異常はありませんでした。もう1件、福島第二にはモニタリングポストが敷地の北から反時計回りに7台付いていますが、1番南側の2台、楢葉町の2台が津波で流されて、あるいは、1台は損傷を受けたという状況でしたが、7番のモニタリングポストを6/13から仮設ポストとして運用していましたが、6番はそのまま利用していました。この両方、復旧工事を進めるということで、明日からまず6番のモニタリングポストを新しいものに取り替えるという工事を実施します。10/11、明日から10/21まで10日間くらい取り替えを行いたいと思いますので、欠測をする状況が生じたりすることになります。7番は、11月下旬に今仮設で置いてあるものをしっかりと据付けるということを行おうと思います。モニタリングポスト6番欠測時には代替品でしっかりと監視しておきます。また、モニタリングポストのデータはホームページに出していますので、取り替え中ということを、注記を加えて出すようにします。

(安定化 C 所長)参考情報ですが、J ヴィレッジの装備品、あるいは線量計の受け渡し場所が本日から変更になりまして、南側の中庭に小屋がありまして、そこでタイベックを渡して、体育館側で全面マスクとか線量計という一連の動線となりました。従って、J ヴィレッジのセンターホールはまったくのがらんどです。もし、タイベック等装備品が必要な方は、行けば分かりますが、配布場所が変わりましたのでご参考までに。

(安定化 C)統合本部全体会議を終了します。お疲れ様でした。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/11(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■) 本日、現場で作業にあられた皆様、また、現場を支えるために各所で業務にあられた皆様、お疲れ様でした。本日は、3/11の事故以来、7ヶ月という節目にあたります。これを機に、全員で今一度気を引き締めて復旧工事にあたっていきたいと思います。また、本日は3連休が明けまして大勢の仲間が現場に戻ってきました。現場では、カバーリング工事、タンク設置工事、あるいは原子炉建屋上部でのダストサンプリング作業等々、たくさんの作業が展開されましたが、幸いにしてトラブル、ケガも無く無事に予定通りの進捗を見ることができました。明日はまた、大規模地震が発生した場合の炉注設備の復旧のための訓練、あるいは PCV ガス管理システムの接続等々、沢山の作業が盛りだくさん予定されています。明日の主立った作業は後ほど報告します。

(1F 所長) 天候は晴れのち曇りの状況で、夕方、夜雨が降る可能性があるという状況ですが、ケガ等ありませんでした。

(1F1～4号発電班) 1号機は、給水系から3.7m³/hで注水中です。RPV 底部ヘッド温度で73.8℃です。D/W 圧力は20kPagage、使用済み燃料プール水温度は25℃で安定です。2号機は、CS系から7.0m³/h、FDW系から3.6m³/h、合わせて10.6m³/hで注水しています。RPV 底部ヘッドの上部温度で85.9℃です。全体的に安定した状態にあります。D/W 圧力は16.0kPagage、使用済み燃料プール水温度が26℃です。3号機は、CS系から8.0m³/h、FDW系から2.2m³/h、合わせて10.2m³/hで注水しています。RPV 下部ヘッド温度で73.9℃です。D/W 圧力は0.2kPagage、使用済み燃料プール水温度は26℃で推移しています。4号機は、プール水温度は35℃です。共用プールのプール水温度は29.5℃です。2号機のプール冷却系につきまして、現在、ポンプ入口流量よりプールへの戻り流量が少ないという状態の指示をしていますが、その差流量は4m³/h程度で現在安定しています。他のパラメータについては特に変動はありません。今後も注視していきます。

(1F5,6号発電班) トピックスは、6号機、本日はD/G 6Aのサーベランスが無事完了しています。

(1F1～4号復旧班) 炉注水は引き続き注視していきます。SFP 注水については、実績はありません。T/Bの水移送ですが、2号機および3号機ともにT/BからHTI建屋に移送を継続しています。2号、3号のHTI建屋への移送ですが、明日は停止する予定です。理由としましては、HTI建屋の開口部の閉塞作業に伴いまして約1日程度停止する予定です。2号機は午前中、3号機は午後に停止予定です。水位関係ですが、1号機で1mmの上昇です。2号機は、1～3mmの上昇です。3号機は、3～6mmの下降です。4号機は2mmの下降です。受け入れ側集中ラドの方ですが、プロセス建屋は47mmの下降で、OP2758です。HTI建屋は54mmの上昇でOP2

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

951で、ほぼシミュレーション通りです。明日、HTI の移送を止めますので注視していきたくと思います。滞留水処理設備関係ですが、KURION、SARRY とともに順調に稼働しています。AREVA は、循環浄化運転を継続しています。明日、KURION の H ベッセル2塔を交換予定です。

(1F5,6号復旧班)5号機ですが、明日9時~12時、今止まっています仮設 RHRS ですが、土木工事と干渉するために一旦、ケーブル、電源を落とします。ケーブルをリルートした午後に、もう一度電源を入れて試運転まで行う予定です。5,6号の滞留水関係ですが、本日は、ひまわりが、9:40から13:50散水しました。明日も予定しています。メガフロートへの移送は本日はありませんでした。明日も予定していません。仮設タンクへの移送ですが本日はありませんでしたが、明日は予定しています。

(1F 土木班)汚染水処理のためのタンクの設置ですが、G、H エリアでタンクの組み立て等々、継続実施中です。本日予定した作業は全て終了しています。明日も継続実施予定です。無人化施工によるガラ撤去ですが、本日は現場作業はありませんでした。重機の点検整備を実施しています。明日も休工予定です。集塵機によるダスト、小割りの集塵ですが、本日は3,4号機の海側の 10m 盤で実施しました。明日も実施予定です。

(1F建築班)1号 R/B のカバーリング工事ですが、本日は、屋根パネルの設置を行いました。また、物揚場の荷振り、架台の解体、フィルタユニットの運転準備を行いました。明日は屋根パネルの設置と物揚場の荷振り、ジグ関係ですが水切りがあります。その他、フィルタユニットの運転準備を行います。3号上屋のガレキ撤去工事ですが、本日は、T/B 側の排気ダクトの解体を行いました。また、南側ヤードのガレキの片づけ、採石敷き込み、海側の鉄骨地組ヤードのコンクリートの打設を行いました。明日はタービン側の高台から重機をおろす作業と、海側の鉄骨地組ヤードですみだし、鉄骨の設置、海側の油分分離建屋の解体になります。4号機上部ガレキ撤去工事ですが、南側ヤードで路盤整備、大物搬入口の撤去したガレキの小割り集積、監視カメラ用の配線敷設です。明日は継続して南側ヤードの路盤整備、大型ステージ重機の操作になります。滞留水関係のスラッジ貯蔵設備建築工事は、スラッジ棟は、すみだし、壁の PC 台座のブロック設置、足場の組み立てです。設備棟は、3工区のコンクリート打設、350m³ を打設しました。明日は、スラッジ棟は継続で PC の台座ブロックの設置、足場組み立て、設備棟においては、コンクリート打設後の散水養生になります。

(1F 所長)本日、IAEA さんが調査にこられました。現場の方、視察終了しました。

(安定化 C ■■■■■) 明日の予定ですが、明日、訓練を実施しますので、その概要と、この TV 会議システムを使って連絡しますので概要を説明します。

(安定化 C 循環注水冷却 G) (書面で説明) 明日、大規模な地震によって原子炉の注水設備が損壊したことを想定した訓練を実施します。想定としましては、福島県沖

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

でマグニチュード8の地震が発生して、原子炉の注水ポンプが停止して、それと共に注水の水源となるタンク類、注水ラインも漏洩するということが使用できないということです。津波については防潮堤を越えてこないという想定で行います。現場の状況は、T/B の海側のエリアについては現場作業は可能な状況であると、それから、各号機の本設の設備については損壊を免れていると、放射線のレベルについては地震前から有意な変化はないという想定で行います。訓練の状況ですが、訓練1、これは招集訓練ですが、これは先週10/6に実施していきまして、今回、訓練3ということで、原子炉注水設備の復旧に関する指示がありまして、原子炉への海水の注水をするところまでを実施する予定です。訓練のイメージは、1F の物揚場のところに消防車を2台設置しまして消防ホースをつないでヘッジを介して海から汲み上げたものを海に返すということで、総勢30名程度で行う予定です。これについては、明日午前10時30分過ぎくらいから12時過ぎくらいまで実施する予定で、その際、TV 会議システムにおいて発話を実施しますので、勘違いしないようにお願いします。

(安定化 C ■■■■■) 明日からPCVガス管理システムの明日からの作業について説明します。

(安定化 C 外部循環冷却 G) (書画で説明) PCV ガス管理システムですが、2号機の方ですが、明日、原子炉建屋に入りまして既設との取合対応を計画しています。簡単な概要ですが、原子炉建屋、2号機は FCS との取り合いを考えています。この部分での作業は、明日計画しています。作業の概要ですが、1階フロアの上から見た絵になります。物等の搬入は大物搬入口から入りまして、アクセスポイントとしましては、315° 機器ハッチ脇にグレーチングの上にあります。FCS のテストタンク、2箇所あります。立っているタップのところ、50A にサイズアップしたダクトを取り付ける作業、これがグレーチングの上で2箇所予定しています。もう一方、実際ここからホースが下りたあとの下の作業ですが、下に配管を並べる作業、駒の付いた台の上に配管を乗せまして基本的に人が押して中に入れてこのように並べる。今のところ、パーツとしては2個並べた形で○をくれているところでジョイント作業、接続状況の写真を写していますが、こういった作業が今、この中で行う予定です。簡単に取付のところの絵だけ説明しますと、長い配管の方は、足にタイヤが付いていて、人の手で押していける状態です。100分の1の勾配を持っていきまして、付番があってどういう順番で中に入れるかというジョイントで押し込んだ後に、メカニカルジョイントを取付のところの間にいれまして2箇所ボルト締め、これも中ですぐできるように電動の工具で締付けるといって作業を計画しています。当該部も1号機と同様に水素ガスが滞留している可能性があるということで、明日、アクセスした際にこの部分の水素濃度の測定を計画しています。FCS 系 PCV の方から配管が出まして、捨て弁がありまして電動弁が2個あります。電動弁の手前に 501,502 というテストタップが立っていますが、とりあ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

えず外側のテストタップのところ、内側の方は内側の弁が開いていますので、これを開けて中の濃度を測ると直接PCVの中を測ってしまいますので、これは危険です。1号機と同じように、弁間のベント弁のところについて、今回ジグを取付る際にバルブを開けて、この中を水素濃度計で水素濃度を測ることを計画しています。そういった作業を明日の一連の取付作業の中で一回確認をして、配管の敷設まで一連で終わらせたいと今考えています。時間的には午後から着手を考えてまして、各パーティ、全部で4班考えていますが、1班あたり10分～15分程度の作業になると考えています。

(安定化 C ■■■■■) 高線量作業となりますので、これまで5号機で何度も練習してきましたが、落ち着いて、コミュニケーション良く作業にあたっていただき、計画線量のアラームがなったら直ちに退出することを徹底してください。

(安定化 C ■■■■■) 昨日まで測定してきました原子炉建屋上部のサンプリング結果、ならびに今後の計画について説明します。

(安定化 C 環境影響評価 G) (書面で説明) 先週の7日、金曜日に1号機で実施しました結果について報告します。1号機、先週は建屋の中に入りまして、機器ハッチの開口部のダストを採取しました。3階まで上がりまして支柱でサンプラーを吊り下げて4階付近で測っています。その結果が、Cs-137で $1.1 \times 10^{-3} \text{ bq/cm}^3$ でした。同じ日に大物搬入口の中、原子炉建屋の手前になりますが、中でダストを測りまして、Cs-137で $1.8 \times 10^{-4} \text{ bq/cm}^3$ という値が出ています。今後、これらについて評価をしまして、放出量の評価をしていきます。あと、明日以降、本日、今週のダストの測定をしてしまして、先週に引き続いて本日は3号機で原子炉建屋上部でダストの測定を行いました。明日以降も、明日、建屋上部で機器ハッチの部分でダスト採取します。明日の午後は1号機で7日と同様に建屋の中で機器ハッチのダスト測定をします。明後日の13日に2号機でブローアウトパネル部でダストの測定を行う予定です。ダストのデータをより多く採りまして、放出量の評価を充実させていきたいと思っております。

(本店広報班) 本日の広報内容についてお伝えします。午前中は11時から、15分程度ということで短めに終わっています。こちらから説明した内容は、福島第二のモニタリングポスト6番の取り替え工事については、こちらから説明しています。ということもあり、そちらの質問ですとか、現場作業の進捗ですとか、震災7ヶ月ということこれまで作業に対する評価はいかがか、といったところの質問を受けています。評価については、冷却停止の達成に向けて圧力容器の温度とか、放射性物質の放出管理が重要であるということで、一定の目処が立っていると考えているということと、引き続き安定化に向けて努力するという回答をしているところです。午後は16時30分から統合会見が行われていまして、記者からの質問内容は、環境モニタリングと、1号機から3号機の原子炉建屋開口部のサンプリングの結果と予定、結果に関しましては写真を付けてご説明している状況です。合わせまして、今後行われる訓練で

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

すが、1Fについては明日行われる注水訓練、福島第二においても明後日、13日に緊急時安全対策における現場実働訓練というものが行われるということもありまして、1F、2Fの今後の訓練をお知らせする予定になっています。また、1号機の訓練の状況については、毎週土曜日に行っています「シリーズ広報」の企画の中で、今週の土曜日、15日に動画を元に詳しく説明する予定になっています。

(2F ■■■) 福島第二は明日、2号機で D/G B 系を不待機にする作業がありますので報告します。明日、2F2 ですが、RHR、残留熱除去系の海水系のモータを B から D に替えると、切り替える作業を行います。それに伴いまして、B 系の D/G が不待機になります。時間の予定は朝の6時から19時までの予定です。2号機は今、冷却は A 系で行っていますので、プラントには支障はない予定です。

(1F 所長) 明日の訓練ですが、私の発話と復旧班長、ならびに部分的に安定化 C 所長の発話ということで TV 会議を使いますので、訓練の時は「訓練」というふうに申しますが、それ以外に当然、実務で報告事項がある場合は、「業務報告」といいますので、各事務所さん、「業務報告」ということであれば通常の報告だというふうにご理解いただければと思います。訓練の場合は「訓練です」と申し上げます。

(安定化 C ■■■) 私から一点、お願いです。本店に対してですが、本店が使っている書面がいつもピンぼけで、いつも24時間使っているの痛んでいるのかもしれませんが、少し改良をご検討いただきたいと思います。

(本店本部) 調整はこれまでやってきました。少しまた検討していきたいと思えます。

(安定化 C ■■■) 統合本部全体会議を終了します。お疲れ様でした。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/12(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C■■■■) 本日も現場では様々な部署で作業が広範囲に展開されました。タンク工事、カバーリング工事、電源強化工事など継続作業に加え、特別な作業・オペレーションが行われました。大規模な余震により炉注水設備が損壊したことを想定した訓練は無事終了しました。1, 3号機R/B上部のダストサンプリング、2号機PCVガス管理システムのホース接続作業が行われております。

(1F 吉田所長) 気候は晴れ、作業はかなり多かった。朝一番、台車で運ぼうとした人がかかとをぶつけ負傷、大事には至らなかったのですが、そのまま湿布をして帰宅されました。そういう事象がありましたので、気をつけてまいりたい。それ以外特段人身事故等はありませんでした。視察等々もありましたが本日のメニューは無事こなしております。

(1F 発電) プラント状況ですが、1号機は給水系から3.7m³/hで注水中です。RPV底部ヘッド温度は73.7℃、D/W圧力は20kPag、SFP温度は24℃です。2号機はCS系から7.1m³/h、給水系から3.6m³/h、計10.7m³/h注水中です。RPV底部ヘッド温度は84.9℃、D/W圧力は16.8kPag、SFP温度は27℃です。3号機はCS系から8.0m³/h、給水系から2.1m³/h、計10.1m³/h注水中です。RPV下部ヘッド温度が73.5℃、D/W圧力が0.2kPag、SFP温度は25℃です。4号機のSFP温度は35℃、共用プールは29.3℃です。

2号機のSFP冷却系について、ポンプ入り口流量より、プール戻り流量が少ない状況が継続しております。現在6m³/h程度の差流量となっております。大きな変動はありません。他のパラメータは安定しておりますので、大きな変動がありましたら情報の提供をいたします。今後も注視してまいります。

5号機ですが、仮設RHRSケーブルリルートを無事終了し、試運転を行い良好でした。作業による炉の冷却停止はありませんでした。

6号機では明日、仮設のRHRSポンプの運転確認があります。それに合わせて炉の冷却に使用している淡水ポンプを運転するというので、運転中のRHR-A系をB系に2時間程切り替えます。この間、仮設の海水ポンプになるため、海水流量が減るため、若干の炉水温度の上昇が予想されます。最大でも2℃程度の上昇と予想しております。

(1F 1～4号復旧) 原子炉注水については引き続き注視してまいります。SFP注水は実績はありません。明日3号機でヒドラジン注入を実施いたします。水移送ですが、2, 3号機のHTI建屋への移送を停止しております。2号機については9:07、3号機については13:16に停止しております。明日の午後に移送を再開する予定です。

建屋水位ですが、1号機T/Bは1mmの上昇です。2号機T/B・トレンチとも24

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

mmの上昇です。3号機T/Bが6mmの上昇、トレンチで3mmの下降です。4号機については3mmの下降です。プロセス建屋では37mmの下降でOP2637、HTI建屋では122mmの下降でOP2914でほぼシミュレーション通りの推移となっております。

滞留水処理関係ですが、キュリオン・サリーとも順調に運転継続しております。本日キュリオンHベッセルを2塔交換しております。アレバは循環浄化運転をしております。本日中に分析結果がでると思いますが、その結果次第で運転を停止する可能性もあります。

本日の作業トピックスですが、接続ホースの寸法等の問題で16時に中断しております。4号機のSFPの塩分除去装置については、本日試運転を行い問題ありませんでしたので、明日インサービスする予定です。

明日の作業トピックスですが、1号機R/B上部から熱画像撮影する予定です。

(1F 56号復旧班)RHRSポンプのケーブルルルートは無事終了しております。滞留水関係では本日仮設タンクへの移送が10時～16時予定通り実施しております。メガフロートへの移送は実施しておりません。ひまわりによる散水ですが9:10～12:30ほぼ予定通り実施しております。明日もひまわりによる散水を予定しております。メガフロートへの移送、仮設タンクへの移送は予定しておりません。

(1F 土木)汚染水の処理設備関係ですが、高濃度タンクの土盛り、土こうを実施しており、明日も継続して実施する予定です。ROタンク関係ではタンクの組立を継続実施しており、明日も継続して実施する予定です。ヤードガラ関係ですが、無人機によるガラ撤去は実施しておりません。明日は準備工、ガラの撤去はありません。集塵機については、34号機のタービン海側道路の集塵を実施し、明日も継続して実施します。

(1F 建築)1号機カバーリング工事で屋根パネル1枚を設置しました。パネル材の水切り本日6:30入港し予定通り終了しております。物揚場周辺で資材の荷降りを行いました。3号機ガラ撤去関係ですが、重機荷下ろし、地組ヤードの路盤整備していましたが、地組用のショウバンのコンクリート打ち。4号機ガラ撤去関係では、路盤整備、鉄板敷きを行っておりまして、Mステージの操作を行っております。明日はこれに加え、クレーンブーム延長を行う予定です。スラッジ貯蔵設置では、準備工として墨だし、足場組立、壁PC盤組立に伴う台座ブロックの設置、設備棟については一昨日に打設したコンクリートの養生を行っております。ガラ収集運搬については、昼間の4号機ガラ、夜間の3号機ガラとも継続実施します。

(1F 吉田所長)本日、柳沢現地対策本部長、前原政調会長のご視察があり、あたたかい励ましの言葉をいただきまして御礼申し上げます。県・町の訓練に合わせたご視察がありました。

(安定化C)大規模な余震により炉注水設備が損壊したことを想定した訓練の結果報

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

告いたします。

訓練の速報として報告致します。概要ですが、要員の点呼、作業前の分担の確認から現場のサーベイ、炉注設備の状況調査、資機材の確認・移動、消防車の移動を行いまして、その後、ホース布設・接続、消防車の起動、流量調整というようなことで一連の作業を行っております。要員としまして、約30名、訓練前の想定時間ですが、要員点呼から流量調整まで90分を想定しておりましたが、本日の実績では62分と大分短い時間でできております。その時間の内訳ですが、環境サーベイ、現場の状況確認、資機材確認・移動、消防車の移動を並行作業で行いまして想定が50分で実績では少し短くなっております。ホース布設・接続予備訓練では16分かかっておりましたが、今日の実績では8分と短く終わっております。エリアを分け、並行作業で実施したことが短くなった要因と考えております。

(書画説明)ホース布設・接続を行っている風景写真、消防車を起動しているところの写真を説明。

こちらの内容をビデオ撮りしておりますので、参考にして今後の効率的な運用のために反映していきたいと考えております。

(安定化C■■■■)PCVガス管理システムのホース接続中断の状況の報告をいたします。

作業内容は、配管のテストタップのキャップを外して、そこにホースを接続する作業を計画しておりました。ところが実際に現場作業を開始したところ、サポートが干渉していたことから設置作業ができなくなり作業を中断しました。ホース接続作業が取り合いの起点となり、その後の作業は進めないのので、作業を全般的に中止しました。そのため、元の状態に復旧しております。

この作業に合わせて、テストタップのキャップ開放時の水素濃度を測定しており、6.5%の水素濃度が確認されました。状況は以上です。

今後につきましては、現場の写真を撮ってきたので、今後の施工方法の検討に活用したいと考えております。

(安定化C■■■■)この作業は事前段取りをしっかりと行い、5号機で何度も練習したところですが、残念ながら干渉することを事前に察知できなかったことについて、事前に干渉見つけるような方法は考えられないでしょうか？

(安定化C■■■■)現場確認を事前に行っておりますが、そのときの着眼点は、弁が健全であるか、取り合い配管が健全であるか確認することでした。その後、今回のホース設置方法が決まったのが現場確認の後でありました。設計が固まった時点で現場確認を実施すれば良かったのですが、線量が高いので現場に入るのがたやすくないのでできるだけ、現場に入る機会にできるだけ情報を集めるように心がけていたが、最終確認で足りない部分があったと大いに反省しております。今後はできるだけ合理的に情報収集ができるよう工夫してまいりたい。

(安定化C■■■■)非常に線量の高いエリアですので、さらに良く検討し、最小の線量・

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

手戻りで作業ができるよう検討していただきたい。

(1F 吉田所長)今日の線量を教えていただきたい。

(安定化C ■■■)一番あびた方は、タップを外しに行った方で5.12mSv/h、それ以外の作業メンバーは4.8mSv/h、グレーチング上で調査した方が2~3mSv/h、それ以外は0.いくつというオーダーです。

(安定化C ■■■)塩分除去装置停止の原因調査結果を報告します。

(安定化C)先週木曜による4号機塩分除去装置自動停止しました。その後原因調査を行い、対策しましたので、明日の朝再起動したいと考えております。

警報発生原因ですが、SFPから水を取りまして、前処理、ROで浄化してプールに返す。こういうループの併設でROユニットから濃縮水を取り出してさらに再濃縮をかけて減塩する。これがEDユニットのシステムです。ROユニットから受けた廃液を電気透析装置に導く送水ポンプの空転警報がでました。システム全体に異常はありませんでした。空転の警報設定値が厳しすぎたことが原因で、設計流量よりやや低い流量で運用されていたことと、塩分濃度が低下し、廃液の粘度が低下してポンプ負荷電流が低下して警報設定値以下となった。この警報は停止時に水抜き時にポンプを停止する機能であり、運転に必要な設定ではなかったので、本ロジックを除外し、明日再起動いたします。

(安定化C ■■■)毎週水曜日報告している滞留水処理状況の週報を報告いたします。

(安定化C)高レベル滞留水処理状況の週報を報告します。(書面説明)

サリー40^ト、キュリオン20^ト比較して安定して処理できております。蒸発濃縮装置は10/9に試運転が完了しておりますスタンバイ状態となっております。アレバ装置については明日も説明いたしますが、130Bq/ccということで100Bq/ccのクライテリアを若干上まっているところまで浄化が進んでおります。

貯蔵量の比較説明、プロセス建屋、HTI建屋の処理量は累積124200^ト、内訳はサリーが6割、キュリオンが3割で2:1で処理が進んでおります。使用済みのベッセルについては累積244本、廃スラッジは581m³ということです。処理線量に変化はなく、プロセス建屋の線量が1.1E+6Bqで、キュリオン出口で10の1乗Bq、DFは10の4乗から10の5乗の性能がでております。

タンク関係では淡水・濃縮塩水、濃縮廃液の3種類のタンクの貯蔵量内訳は記載の通りとなっております。

(本店 広報)午前中の会見ブリーフィングの概要は、訓練に関する質問が大部分、内容は事実確認で問題となるようなやりとりはありませんでした。夕方はこちらから出す内容は週報が中心となっております。

(2F ■■■)本日、2号機のRHRSのBポンプからDポンプへのケーブル繋ぎ換えの作業を行っております。Bポンプの点検に入り、Dポンプの方はモータの据付、ケーブルの繋ぎ換え、試運転をしております。これに伴い、今朝6:09からD/G

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(B)が不待機、6:14からRHRポンプ(B)が不待機、6:20からRHRSポンプ(C)が不待機になっております。RHR A系で炉の冷却を継続しており、D/Gについてもそれぞれ2台、D/G2A、1Bで待機させることで安全管理を行っております。この作業は夕方に終わり、17:04にD/G2Bが待機状態に復帰、17:13にRHRポンプ(B)及び(C)が待機状態に戻っております。何れも待機状態に戻っておりますのでご報告いたします。

(安定化C)本日TV会議システムのメンテナンスを行いますので19時～19時30分間に2、3分程度停止しますのでご連絡申し上げます。

(安定化C)全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/13(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長) 天候的には比較的落ち着いた状況で作業が進んでおります。本日、安定化センターからは1号機の建屋内のロボットによる調査関係、本日は2号機のブローアウトパネルの測定をしましたが、昨日までの建屋上部のダスト測定の結果等について後ほど概要について説明します。

(1F 吉田所長) 気候は曇り、傷病人なし。プラント全体としては色々作業があったがそういう意味では安定していた。

(1F 発電) プラント状況ですが、1号機は給水系から3.8m³/hで注水中です。RPV底部ヘッド温度は73.5℃、D/W圧力は20kPag、SFP温度は24℃です。2号機はCS系から7.1m³/h、給水系から3.5m³/h、計10.6m³/h注水中です。RPV底部ヘッド温度は83.8℃、D/W圧力は16.9kPag、SFP温度は26℃です。3号機はCS系から8.0m³/h、給水系から2.1m³/h、計10.1m³/h注水中です。RPV下部ヘッド温度が73.2℃、D/W圧力が0.2kPag、SFP温度は25℃です。4号機のSFP温度は34℃、共用プールは28.6℃です。

6号機、RHR(B)の確認運転のため、SHCをA→Bに切り替え、合わせて22分ほど停止、炉水温度は約0.5℃上昇し、その後復帰しました。

明日のトピックスですが、5、6号機でSGTSを4時間ほど停止します。これは定期的に行うバックグラウンドの放射線レベルの測定のためです。また、6号機の海水ポンプの吐出ヘッドの圧力が若干、下がり傾向が継続しています。週末を迎えているということもあるので、パラメータを見て海水ポンプの停止・起動を実施する計画があります。

(1F 1～4号復旧) 滞留水移送ですが、朝方まで移送を実施しておりましたが3号のT/BからHTI建屋への移送を14:02に再開しております。こちらはポンプ2台で再開しております。2号T/Bからプロセス建屋の方は14:17に移送再開しております。こちらの方はポンプ1台での移送となっております。

水処理関係ですが、キュリオン・サリーともに処理継続中です。17時現在でサリーが38.6m³/h、キュリオンが20m³/hで処理中です。アレバは循環運転を継続しております。RO-23も運転中です。明日はキュリオンについて、Hベッセル2塔、AG Hベッセル2塔の交換を予定しております。

水位ですが、まだ若干の上昇が見られます。2号機T/Bで22mm、トレンチで25mmの上昇で、高い方のT/B、3011mmという状態です。3号機T/Bが8mm下がりましたが、トレンチで3mmの上昇で、トレンチOP3362mmとなっております。4号機については6mm上昇で、3166mmとなっております。1号機R/Bは9mm下がって、4414mmという状態です。受け入れはいずれも下降しております。プロセス建屋では44mmの下降でOP2510mm、HTI建屋では197mmの下降でOP2235m

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

mという状態です。炉注の方は特に作業はございませんでした。

SFP関連では3号のヒドラジンを2m3注入行っています。4号のSFPの塩分除去装置ですが、10:17に再起動して順調に運転しております。

その他、作業としましては1号機R/B5階の熱画像の採取、1号機R/B1階南東の配管盤ソールのオートへの調節が行われております。その他、電源・計装については特記することはありません。

(1F 56号復旧班) 滞留水関係ですが、浄化水の散水、今日は北門付近で行っております。滞留水の移送についてですが、明日、6号のT/Bから仮設タンクへの移送、6号HPCS D/G室トレンチのT/Bへの移送があります。仮設タンクからのメガフロートについてはありません。

(1F 土木) Gエリア、Hエリアにおきましてタンクの工事を継続して実施しております。ガラの関係ですが、無人重機によるガラ撤去は休工です。明日も休工です。集塵機によるダスト小がれきの集塵につきましては3、4号機海側のOP10mの道路において集塵作業実施しております。明日も引き続き集塵を行う予定でございます。その他といたしましてのジバサワ?の復旧、水処理制御室の機関側敷地での伐採等を継続して実施しております。

(1F 建築) 1号機カバーリング工事で屋根パネル6分の5分割目を設置しました。その他、物揚場で、荷降りとガ台の張り替え、排気フィルタユニットの運転準備を行っております。明日は屋根パネル6分の6分割目ですべてカバーが設置完了となる予定でございます。その他、物揚場で荷降りとガ台の張り替え・搬出、排気フィルタユニットの運転準備を行います。

3号の上部ガレキ撤去工事ですが、本日は南側ヤードで採石の敷き込み、今後、コウダイ?の搬入ルートで海側の方で障害となるショウ?建屋の撤去を行っております。明日は、R/Bの西側でFSTR建屋間のガレキの撤去を行います。また、継続して南側ヤードで採石の敷き込み、海側ヤードではショウ?建屋の撤去になります。4号機の上屋ガレキ撤去工事ですが、南側ヤードで路盤の整備、明日も引き続き、大物搬入口建屋の撤去後の路盤整備を行います。スラッチ貯蔵施設の建築工事ですが、スラッチ塔では壁のPCパネルの台座ブロックの据え付け、足場組み立て、外部鉄骨階段の建て方を行っております。設備棟では、コンクリート打設後の散水養生を行っております。明日も継続で行います。

(安定化C) 1号機の中のバクボットでの観測・画像採取の調査結果を紹介します。

(安定化C技術支援部) 6/3に確認された1号機R/B1階南東エリアの床配管貫通部からの蒸気の噴き出し状況の再確認に行きました。内容としては、目視での確認と温度、線量の測定を実施しました。

(書面説明) 現場写真、R/B1階の機器配置図にて蒸気が出ていないこと、線量測定の結果を説明。(前回400mSv位有ったところが、200mSv程度。3000mSvあったとこ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ろが、500mSv程度。ファンネルのところは前回4000mSvあったのですが、今回2000mSv程度。蒸気が止まっていた床貫通部は、振れ幅があるが3000~4700mSvを確認しています。

(安定化C所長)蒸気の発生は収まっていたということですが、線量率そのものは少し下がったと言っても、かなりのレベルなので簡単に人がすぐそのままで行ける状況ではない。次にR/B上部のダスト測定結果を本店から願います。

(本店環境影響評価)(書画説明)11、12日に測定したデータになりますが、最初に3号機は、10/6に測定した場所と同じ場所で2回測定しました。結果としては、一番高いところで、Cs137で $1.5E-03$ で10/6の結果とほぼ同じです。

続きまして、昨日12日に機器ハッチ開放部にて測定を行いました。これも同じところを2回計りまして、Cs137で 1.1 とか 4.3 の $E-04$ となっています。最後に1号機になりますが、12日に機器ハッチ開口部で計っております。こちらは、10/7に同様に実施しております。結果は、 $1.4E-04$ ということで、前回より一桁低い値となっています。前回の時は、サンプリング装置を設置してすぐに計っていましたが、今回は少し時間をおいて、1時間程おいて測定しています。汚染が舞い上がることを懸念して時間をおいています。3号機と比べてもほぼ妥当な値かと思われま。それから本日午前中に2号機ブローアウトパネルのところ測定していますので、それと併せて放出量評価をしたいと思います。

(安定化C所長)来週の月曜日が道筋の節目として進捗の公表になります。今の結果を含めて全体の評価をお願いします。それでは、ここで先ほどの蒸気吹き出しの画像用意できたそうなので、宜しくお願いします。

(安定化C技術支援部)(画像説明)この画像が、6月に測定しました、蒸気吹き出しの映像です。今回、同じ場所を確認してまいりました。それがこの映像です。

(安定化C所長)映像の中に虫が飛んでいるように見えたのは、放射線によるものですか？

(安定化C技術支援部)そうです。

(安定化C所長)蒸気はないということです。安定化センターは、以上です。

(本店広報班)本日のプレスですが11:00に当社単独会見、16:30に統合会見をしておりますが、午前中は注水に関して幾つか質問が有りましたが、大きなものはありませんでした。統合会見は、いまやっているところでございますが、当社としましては先ほど説明の有りました、ロボットによる調査、ダストサンプリングの結果を説明しています。昨日の注水訓練については、幾つかマスコミに取り上げられています。

(安定化C所長)そのほか、説明等あればおねがいします。

(OFC)OFCから一言願います。

(柳沢本部長)みなさま、ご苦労様です。じつは、昨日現場に前原政調会長さんと一緒にいらさせて頂きました。吉田所長をはじめ皆様に大変お世話になりました。ありがとうご

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ございました。じつは、細野大臣とも話しをしまして、野田政権になって新しい大臣・政務三役・各委員会が立ち上がりまして、みなさん与野党含め現地を見たいと要望が高まっています、基本的には断ろうとしています。本部長の私・枝野大臣も入らず、作業に迷惑をかけないということで対応してきました。ただ、前原政調会長には、一度入って頂いた方がよいだろうと、私が初めてはいるときに帯同していただくという形をとりました。衆議院議員の方が、2名来たのですが、Jビレッジで待機するという体制で入らせて頂きました。現場に入らせて頂いて、この7ヶ月間皆さんが、ご苦勞されていることを肌身で感じる事ができました。命をかけた、献身的な皆様のご協力で、この期間でここまで安定をしてきたことに対して、心から敬意を表したいと思ひますし、前原政調会長も同じように思っただけ帰られたと思ひます。まだまだ、これからが本番ですし、冷温停止で安定でステップ2完了まで皆様にご協力いただかなければなりません。まだまだ、危険な作業も残っていますが、健康に気をつけていただければなど。できるだけおじゃましないようにしますから、交代で休むところは休むというふうにしていただければと思ひます。今後は、ここまでの成果を訴えていく訪問を計画して行きたいと思ひます。今後ともどうぞ宜しくお願いします。

(柳沢本部長)お言葉ありがとうございます。私自身は、おつきあいできませんで申し訳ございませんでした。吉田所長なにかございますか？

(1F所長)励ましの言葉を頂き本当にありがとうございます。私は困っているわけではございませんので、現地入られる方いらして頂ければと思ひます。

(安定化C所長)現地は、いらして頂きたいという気持ちと、安全の確保とバランスをとりつつ進めていくのかなと思ひます。お言葉を受けまして、安定化と収束に向けてがんばっていきたくと思ひます。

以上で全体会議は終了します。御安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/14(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)本日は、天候が下り坂の状態であった。だが、日中は天候に恵まれていた。1号機カバーリングについては最終パネルが設置された。その他の作業については順調であった。

(1F 吉田所長)明朝にかけて雨が降る模様である。人身災害はなかった。6号機R HRS流量が低下したが、ポンプ停止再起動により戻った。

(1F 発電)プラント状況ですが、1号機は給水系から $3.6\text{m}^3/\text{h}$ で注水中です。R PV底部ヘッド温度は 73.6°C 、D/W圧力は 20kPagage 。

2号機はCS系から $7.2\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $3.5\text{m}^3/\text{h}$ 、計 $10.7\text{m}^3/\text{h}$ 注水中です。RPV底部ヘッド温度は 83.3°C 、D/W圧力は 17.9kPag 、SFP温度は 26°C です。

3号機はCS系から $8.1\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $2.1\text{m}^3/\text{h}$ 、計 $10.2\text{m}^3/\text{h}$ 注水中です。RPV下部ヘッド温度が 72.9°C 、D/W圧力が 0.2kPagage 、SFP温度は 25°C です。

4号機のSFP温度は 34°C 、共用プールは 28.6°C です。

5、6号機については原子炉、SFPともに $23^\circ\text{C}\sim 26^\circ\text{C}$ で安定した冷却を継続している。

6号機SW系の吐出圧力がゆっくり低下してきたので、ポンプを30分程度停止し、再起動した。結果としては低下前の圧力に戻った。

6号機RHRS系の流量がゆっくり低下する現象があったので、RHRSポンプ30分程度停止し再起動した。結果としては、流量は低下前に戻った。SHC41分間停止したが、炉水温度は 0.7°C 上昇した。

(1F 1～4号復旧)滞留水移送は、2号T/Bからプロセス建屋、3号のT/BからHTI建屋で継続しております。

水処理関係ですが、キュリオン・サリーともに処理継続中です。17時現在でサリーが $38.1\text{m}^3/\text{h}$ 、キュリオンが $20.5\text{m}^3/\text{h}$ で処理中です。ROも運転中です。本日、キュリオンのHベッセル2塔交換を実施し、GHベッセルについては2搭切替を実施した。明日はサリーのベッセル2搭交換する予定である。アレバは順調に運転を継続している。

水位ですが、2号機T/Bは変化なし、トレンチで 1mm の下降で、T/B水位は ± 0 でOP3004mmという状態です。3号機T/Bが 24mm 下降、トレンチで 9mm の下降で、トレンチOP3341mmとなっております。4号機については 7mm 下降で、OP3149mmとなっております。1号機R/Bは 8mm 下がって、OP4389mmという状態です。受け入れはいずれも上昇しております。プロセス建屋では 8mm の上昇でOP2530mm、HTI建屋では 39mm の上昇でOP2332mmという状態です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

炉注についてはバッファータンクのN₂バブリング装置の点検を実施した。まだ、修理を完了した状態ではない。

4号機SFPへ監視カメラの設置をした。

3号機R/B5階熱画像採取を行った。

電気・計装関係では特記事項なし。

(1F 56号復旧班)滞留水関係ですが、明日は浄化水の散水を展望台及び野球場の周辺を予定している。雨が降った際は中止する可能性がある。その他の移送はなし。

(1F 土木)地下水汚染処理設備の関係で、高濃度のタンク、Gエリアだが、タンクのモールドを継続して実施している。明日も同じ。ROタンクについてはHエリアで組立を継続している。セシウム吸着塔の仮保管設備だが、こちらもG'エリアの整備工事に入っている。ガラの関係ですが、無人重機によるガラ撤去は休工だった。明日も作業はないが、OPヨエンの方が今回終わり、1号機開閉所のガラ撤去に移るため、重機の移動を実施する。集塵機は3、4号機海側道路にて実施した。明日は正門を予定しているが、雨の予報があるため、場合によっては中止し次週に延期する。来週の予定は、平日は1、2号機T/B海側道路にて実施する予定。

(1F 建築)1号機R/Bカバーリング工事は最後の屋根パネル1枚を設置した。明日は吊り治具の解体を実施する。

3号の上部ガレキ撤去工事ですが、ヤード整備、明日についてもヤード整備を継続し、加えて西側ガレキの配管解体、解体用構台のヨウジユウ?を実施する。4号機についてもヤード整備を今日、明日継続して実施する。スラッジ貯蔵施設については、スラッジ棟では壁PCパネルの台座ブロックの据え付け、明日も継続だが、加えて壁PCの搬入を実施する。

(安定化C)(書画で説明)原子炉建屋カバーの報告をする。本日、全62部台で構成されている最後の屋根パネルの設置を完了した。(写真を紹介)。本日より廃棄設備の組合せ試験を実施しており、24時間運転を実施している。これを踏まえて、付帯設備の試験関係を実施して10月中の完成を目標に工事を実施している。

(安定化C)(書画で説明)1、3号機(R/Bオペフロでの)赤外線カメラの撮影結果について報告する。昨日1号機、本日3号機について撮影を実施した。赤外線カメラをクレーンに吊るしてR/B直上部から温度を撮影した。撮影間隔は10秒、静止時間が5分、2地点から測定した。1号機は最高で35℃、3号機も(最高で)40℃程度であった。1、3号機とも高温の蒸気が出ていないことを確認した。1号機については、昨日最後の(屋根パネルの)1枚がついていない状態で空いているところにカメラを下ろし撮影している。1号機については、細かい瓦礫があるため場所の特定は難しいが、して温度を測定した。測定結果の一例だが、鉄骨の温度が上がっている。プール側は温度が低い。3号機は、同じように鉄骨を目印にして、カメラを動かした。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

結果としては、D/Sピット側のコーナーの部分で1箇所少し赤い状態(サーモグラフィで温度が高い状態)であった。原子炉ウエルのラインに沿って少し温度が高い。また、プール上に少し温度が高かった。

(本店環境影響評価チーム)(書画不良により口頭)2号機ブローアウトパネル部のダスト測定について報告する。昨日測定を実施し、中央部と下部で測定した。中央部西向きでは、セシウム134が 1.2×10^{-4} 、セシウム137が〇〇。(以下聞き取り不良)

(本店広報部)本日は11時、18時から説明をしている。午前中については、1号機カバーリングが終了したことについて質問された。具体的には、カバーリングによる効果、3、4号機についての対応について質問を受けた。3、4号機はガレキ撤去を実施し、取り付けについて検討すると伝えている。18時の会見は、ロボット入域の映像や2号機ブローアウトパネルのダストのサンプリング結果を紹介する。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/15(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長) 土曜日のお仕事ご苦労様でございますが、本日は朝から雨模様で作業も一部繰り延べしたのものもありますが、本日は仕事量も土曜日で少なく、安定した一日であった。

(1F ■■■ U 所長) 週末であり、雨模様であったことから作業は少なめ。RPV 温度等は安定に推移している。水処理も2, 3号からの滞留水の移送も順調であった。

(1F 発電) プラント状況ですが、1号機は給水系から3.7m³/hで注水中。RPV底部ヘッド温度は73.7℃、D/W圧力は20kPagage。SFPは25℃で安定です。

2号機はCS系から7.0m³/h、給水系から3.4m³/h、計10.4m³/h注水中。RPV底部ヘッド温度は82.8℃、D/W圧力は19.4kPag、SFP温度は27℃。こちらも安定しています。

3号機はCS系から8.1m³/h、給水系から2.1m³/h、計10.2m³/h注水中。RPV下部ヘッド温度が72.7℃、D/W圧力が0.2kPagage、SFP温度は27℃。こちらも安定しています。

4号機のSFP温度は35℃、共用プールは30.4℃。

5, 6号機については原子炉、SFPともに30℃以下で順調に冷却を継続。

(1F 1～4号復旧) 滞留水移送は、継続中で、2号T/Bからプロセス建屋はポンプ1台、3号のT/BからHTI建屋ポンプ2台で移送中。

水処理関係ですが、キュリオン・サリーともに処理継続中。アレバは循環運転を継続している。ROも運転中。サリーについては本日、8:31～13:24でベッセル交換のため停止した。明日はベッセル交換の予定はなし。

水位も処理の状況に合った動きをしていて、2号機T/Bは若干の減少で今朝に比べ1～2mmの下降で、T/B水位はOP3002mmという状態です。3号機が12～18mm下降、トレンチでOP3312mmとなっている。1号機のR/Bは雨の影響が若干あり+7mmでOP4393mm。雨が降ってこの程度で済んでいるのはR/Bカバーのおかげだと考えている。

本日の作業は少なく、34号の中操の除染、12号のPCVガス管理システム設置工事、3号機T/B機器ハッチのバルーン設置工事が主な作業。明日はもっと少なく、12号のPCVガス管理システムが主な作業のみとなっている。

(1F 56号復旧班) 滞留水関係ですが、明日は浄化水の散水を西門の周辺で予定している。移送関係は予定なし。

(1F 土木) 汚染水の処理関係、タンク関係、雨の関係で盛り土の工事は休工している。タンクの組み立て等のみの作業を実施。明日は休校。ガラの撤去は無人機は本日重機の移動等で作業はなし。明日もなし。集塵機も本日雨のため正門で予定も中止。明日も雨の予報のため中止の予定。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 建築)1号機R/Bカバーリング工事は本日は吊り治具、工台の解体を実施。メーカ工事で排気ユニットの試運転調整。明日も吊り治具、工台の解体を継続実施。

3号の上部ガレキ撤去工事ですが、西側のガレキと配管解体、採石の敷き込み、鉄板の敷き込み、北側の構台の養生。明日も継続。4号機についてもヤード整備を今日継続実施、明日は中止。スラッジ貯蔵施設については、スラッジ棟では壁PC台座のブロックの取り付け、壁のPC板の搬入を実施、明日は作業なし。

(安定化 C)安定化 C から特に話題はないが、1点情報としては鳩山元総理ほか民主党の国会議員の方々がJビレッジを視察された。対応された方々のご苦労様であった。本日は以上の程度でございます。

(本店広報部)本日のプレス対応状況は11時～11:15でAMの当社プレス対応実施。午前中については、緊急安全対策の訓練の実施について。写真等を遣い説明。質疑は本件に関して幾つか頂いた程度。夕方は当社単独で18時から実施中。内容は注水システムの故障時の訓練風景の動画の紹介、Jビレッジの現場状況について写真でお示ししている。

(小森C所長)それほど話題が無いことは平穏であることと思うが、明日から天候も回復するかもしれませんし、これからも収束に向けて邁進致しますが、明日からも事故等なく安全に着実に作業を行って頂きたい。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/16(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C █████) 本日、作業にあられた皆様、また現場を支えるために各部署で業務にあられた皆様、お疲れ様でした。本日はお休みということで、作業は少なめでした。一方、クリティカル工程にあっていますいくつかの作業、カバーリング工事、あるいは PCV ガス管理システムの設置工事は継続して行っています。また、先々週、AREVA 装置の出口の放射能濃度が上がるということが起きていまして、それ以来、AREVA 装置をラインから隔離して自分自身で循環させる、そういう汚れた水を綺麗にする運転を続けてきましたが、本日、予定の初期の濃度まで下がってきましたので、AREVA 装置の循環運転を止めまして、通常の待機モードにしています。

(1F █████) 今日の日曜日ということで、APD の貸し出しも100台弱で、普段の1/3くらいの数でした。気温は若干高めということでしたが、特に体調不良やケガはありません。プラントパラメータは各号機ともに安定しています。水処理設備も順調に稼働しています。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から3.7m³/hで注水しています。RPV底部ヘッド温度は73.8℃、D/W圧力は20kPagage、使用済み燃料プール水温度は26℃です。2号機は、CS系から7.1m³/h、給水系から3.5m³/h、合わせて10.6m³/hで注水しています。RPV底部ヘッド上部で温度は82.7℃、D/W圧力は19.8kPagage、使用済み燃料プール水温度は29℃です。3号機は、CS系から8.0m³/h、給水系から2.2m³/h、合わせて10.2m³/hで注水中です。RPV下部ヘッド温度は72.8℃、D/W圧力は0.2kPagage、使用済み燃料プール水温度は28℃です。4号機の使用済み燃料プール水温度は37℃、共用プールのプール水温度は31.2℃です。使用済み燃料プール水温度は、気温の上昇もあったということで1~2℃くらい各号機上昇していますが、現在は安定していまして、その他のプラントパラメータも安定しています。5, 6号機については、原子炉、使用済み燃料プール水温度ともに30℃以下で安定した冷却を行っています。

(1F1~4号復旧班) 水移送は継続です。水処理も SARRY、KURION、RO ともに運転中です。14時、AREVA の装置は循環運転を止めまして待機状態に入っています。本日、水処理関係のベッセル交換はありませんでした。明日は H.ベッセル2塔の交換を予定しています。水位ですが、2号機は、今朝からほぼ変化がない状態で、T/Bは変化なしで OP3001mm という状態です。トレンチは1mmほど上がっています。3号機は、12~16mmの下降で、トレンチの水位が OP3279mm という状態です。1号機のR/Bは、今朝方より6mm上昇しまして、OP4408mm です。昨日から、ずっと雨が降っていましたが、昨晚から今朝の段階で 9mm、今朝から夕方までで6mmという上昇に留まっています。本日、作業はほとんどありませんで、PCV ガス管

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

理システム1, 2号の分が主な作業です。

(1F5, 6号復旧班) 滞留水関係ですが、明日の作業で浄化水の散水があります。北門の周辺でおこないます。滞留水関係の移送については、明日はありません。

(1F 土木班) 本日の作業、主な工事は休工でありまして、道路や土捨場といった構内整備のみ実施していました。明日の工事ですが、汚染水の処理設備、タンク関係ですが、G,H エリアで盛り土、タンクの組み立て、継続実施になります。ガラ撤去ですが、無人機によるガラ撤去、明日から1, 2号の開閉所で実施します。集塵機は1, 2号の T/B 海側の道路、こちらも明日からの実施です。

(1F 建築班) 本日、1号建屋カバー工事は、吊り治具、工台の解体を行いました。明日も継続実施します。メーカーさんの工事で排気設備組合せ運転を行います。3号機のガレキ撤去工事ですが、西側のガレキ配管の解体、採石、鉄板の敷きならしを行っています。明日も継続で実施します。4号のガレキ撤去工事、本日は作業はありませんでした。明日は仮設電源の配線工事、メーカーさんの方で、天井クレーンのマットの養生、レール部のガレキ撤去をおこないます。スラッジ貯蔵は、本日作業はありませんでした。明日は、PCの台座ブロックのグラウト注入、壁のPCの搬入をおこないます。

(安定化 C ■■■■) 先程、循環運転をしていた AREVA を本日停止して、待機モードにしたということで、その点を補足します。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) 今までの経緯ですが、AREVA の出口の放射能濃度です。縦軸が放射能濃度、 $10+2, 100\text{Bq}/\text{cm}^3$ の濃度を一つの管理値として運転してきましたが、9/12~9/14にかけて、運転停止をして攪拌機の交換を行いました。その攪拌機の交換を行った後に再起動しましたが、9/15に $10+5\text{Bq}/\text{cm}^3$ という非常に高い廃液が出てきてしまいまして、運転を停止していました。浄化運転ですが、AREVA の受け入れからずっと高速沈殿装置、マルチフローを開始しまして、スラッジがおそらく溜っているであろう、廃液処理水タンクの水をそのままの廃液受けタンクに戻すという循環運転をしていました。ミキサーの交換のときに水を、だいたい6mくらいの水頭がありますが抜いて、ドレン排水する際に廃液処理水タンクのオーバーフローラインというのが出ていまして、同じドレンの配管につながってしまっていたので、そこから逆流してしまったというのが理由と推測しています。10/4から浄化を開始して、ほぼこの10/14、10/15あたりから順調に低下をして $10+2, 100\text{Bq}/\text{cm}^3$ を切るということになりまして、今朝ほどの段階で、Cs-134, Cs-137 でそれぞれ $31\text{Bq}/\text{cm}^3, 37\text{Bq}/\text{cm}^3$ という低い数値が昨晚に引き続きでましたので、これは浄化完了ということで浄化運転を停止しました。今後については、AREVA 装置はいつでも使えるようにスタンバイしておくと同時に、KURION の20t 程度の運転、SARRY の40t 程度の運転の平行で引っ張りたいと思います。もし、KURION で何か線量の上昇といったことがあれば、AREVA 装置を組み合わせ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班で、循環浄化を維持する継続するという形で使っていますが、当面は AREVA 装置は使う予定はありません。

(本店広報部)本日も午前中は11時、午後は18時から会見をしています。午前中は、30分程度で終了しています。本日は特だし案件が特にありませんでしたので、いつものプラントパラメータ、作業内容を中心に説明しています。マスコミからは特に質問が定まっていますが、事故時の運転操作手順書に関する問題とか、汚染水処理の今後の試算の状況とか、土曜日、日曜日、平日の作業員の人数と関係とか、本日、新聞にも掲載されていますが、警戒区域内での空き巣と賠償の関係とか、多岐に渡ってそれぞれ1~2問、質問をいただいている状況です。午後は、AREVA の循環運転の終了とか、特だし案件はありませんので、毎日行っている分析関係を主に説明する予定です。

(安定化 C ■■■■)10/16の統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

~全体会議終了~

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/17(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C █████) 本日、現場の作業にあられた皆様、お疲れ様でした。また、現場を支えるために各所で業務にあられた皆様、お疲れ様でした。本日、週が開けて、各所で様々な作業が展開されました。1号機～3号機においては PCV ガス管理システム、また、3、4号機の T/B においては機器ハッチ開口部の閉塞作業、電源強化工事、ヤードにおいてはタンクの設置工事、また、共用プールのエリアにおいてはクレーン復旧工事が行われています。また、1号機カバーリングにおいては最終コーナーを廻ったところです。本日は様々な工事が行われましたが、大きなトラブルはなく、また、ケガもなく、無事、予定の進捗を見ることができたようです。

(1F █████) 今日には発電所、一日中曇りでした。傷病者の発生はありませんでしたが、16時過ぎに、1号機の R/B 2階で作業をしていた当社の社員に顔面汚染が発見されています。プラントの方はパラメータ、安定して推移しています。あと、水処理設備の運転、2号、3号から滞留水の移送も順調に継続しています。今日は北門の周辺で散水作業をおこなっています。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から $3.6\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 底部ヘッド温度は 73.7°C 、D/W 圧力は 20kPagage 、使用済み燃料プール水温度は 26°C で安定しています。2号機は、CS系から $7.1\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $3.5\text{m}^3/\text{h}$ 、合わせて $10.6\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 底部ヘッド上部温度は 82.3°C 、D/W 圧力は 19.6kPagage 、使用済み燃料プール水温度は 29°C です。3号機は、CS系から $8.0\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $2.2\text{m}^3/\text{h}$ 、合わせて $10.2\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。RPV 下部ヘッド温度は 72.6°C 、D/W 圧力は 0.2kPagage 、使用済み燃料プール水温度は 27°C でこちらも安定しています。4号機の使用済み燃料プール水温度は 37°C 、共用プールのプール水温度は 31.5°C です。5、6号機についても、原子炉、使用済み燃料プール水温度ともに 30°C 以下で順調に冷却を継続しています。

(1F 復旧班) 水移送関係は、2号機が、T/B の水位で 1mm 下降しています。トレンチの水位は変化ありませんでした。3号機は、T/B で 15mm 、トレンチで 12mm 下降しています。4号機は、T/B の水位で 13mm 下降しています。移送の受け入れの方ですが、プロセス建屋で 5mm の上昇、HTI で 52mm の上昇がありました。本日の水処理ですが、KURION の H ベッセル2塔の交換を実施しています。弁の切替、10:05 から開始して流量が安定しました10:18の間、時間がかかっています。また、明日ですが、電源強化のために、SARRY、KURION とも停止します。これに伴いまして、2号機、3号機からの各建屋からのプロセス建屋、HTI 建屋の移送も中止となります。ひまわりは、本日、9:10 から10:55 で行われました。明日も実施の予定です。6号機の T/B 地下から仮設タンクへの移送は、本日はありませんでしたが、明日は予定しています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 土木班)タンク関係ですが、G エリアで盛り土の工事、H エリアでタンクの設置工事を実施しています。ガラ撤去ですが、無人機によるガラ撤去ですが、1, 2号の開閉所で本日、ガレキの集積等行っています。本日は、コンテナの個数は0です。集塵機によるダスト、小ガレキの集塵については、1, 2号の海側道路において、2号逆洗弁ピット廻りで集塵作業を実施しています。明日も引き続き同じ場所で十人作業を実施する予定です。

(1F 建築班)1号建屋カバー工事は、本日、物揚場で吊り治具、工台の解体、排気フィルターユニットの組合せ運転を行っています。明日は継続作業の他、M ステージの組み立てがあります。3号ガレキ撤去ですが、本日、R/B の西側で崩落柱のガレキと配管の解体、西側ヤードで路盤整備、T/B 東側ヤードで建屋解体を行っており、明日も継続で行います。4号のガレキ撤去は、本日は R/B 西面の大物搬入口取合いの鉄筋切断、路盤整備、仮設電源工事、クレーン固定金具の取付を行っており、明日も継続で行います。ガレキ運搬は、本日、明日とも夜間作業で3号ガレキの運搬を行います。スラッジ貯蔵施設は、本日、スラッジ棟で壁PC台座ブロックのグラウト注入、壁の PC の搬入、足場組み立てを行っていき、明日から壁柱の PC の建方を開始します。

(安定化 C ■■■■■)明日、電源強化工事の一環としまして、水処理施設に供給している電源の停止を行います。

(安定化 C 施設基盤部) (書画で説明)まず、10月分ということで纏めています。明日とその次、18日、19日で水処理関係の電源の強化工事を行います。水処理装置は電源が現在二重化できていないところ、受電ラインが二重化できていないところがありますので、二重化をして電源強化をするものです。また、10/25, 26になります。先日、所内共通 M/C 1A を設置しましたので、そちらを活かしていく工事があります。これは、5, 6号の電源かなり強化されていますので、原子炉の注水ポンプ、1, 2号の原子炉の監視用計器、こういうものを5, 6号の電源から供給するというふうに切り替えるという工事を25日、26日で実施します。現状は、このような構成でして、蒸発濃縮 M/C であつたり後備 M/C であつたり、これは高圧電源盤ですが、このあたりが滞留水の処理用の電源ということで位置付けられていますが、連携線、タイラインが特に後備 M/C にはないということで電氣的に弱いので、2つの M/C にこの受電ラインを二重化するということを計画しています。また、5, 6号の電源、こちらの電源は、送電線から2系列で受電ができていまして、さらには D/G が4台、あります。5, 6号の電源はかなり信頼度が高いものであり、こちらに1, 2号の電源、炉注ポンプであつたり、計器であつたり、このような重要な計器は電源を5, 6号からとるとということで今計画しています。予備品 M/C から蒸発濃縮 M/C、仮設3, 4 M/C から後備 M/C にタイラインを設けることと、5, 6号の電源からまず第一弾として M/C 1A の方に電源を受電して、その下に炉注ポンプ、監視カメラ、原子炉監視計器、これらを5, 6号

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

から供給するというをまず第一弾に実施します。その後、M/C 1B というのが来ますので、そちらが来たら12月の予定ですが、Rw の移送、N2 の供給設備、SFP の電源というものを全て5、6号から電気をもらうよう変更することが12月に予定されています。明日から行われます、電気の強化工事ですが、具体的にお話ししますと、明日は、まず、予備変 M/C と蒸発濃縮 M/C の連携線を引くと同時に、RO 設備、滞留水処理設備の中央制御室等の電源と連絡先を変更する工事を実施します。これに伴いまして、RO 設備は、蒸発濃縮処理設備、あと、滞留水の処理設備の中央制御室、この辺が電源が停止します。AREVA、KURION はこちら側ではなくこちら側の滞留水処理設備から電気を受けていますが、中央制御室がこちら側にありますので、中央制御室を止めると、AREVA も KURION も止まってしまうということで、明日、停止ということになります。明日は10時から19日の10時まで1日停止をしまして、工事になる予定です。工事が終わりました後に、今度は、19日の13時から16時にかけて後備 M/C 側、こちらの連携線を繋げる作業があります。こちらは、この下の電源を切ることなく、M/C の構造がそういう構造になっていますので、下の電源を切ることなく作業ができるということでありまして、滞留水については停止はなく作業ができると。但し、頭側の M/C は止めなければならないということでサイトバンカーの照明や T/B の地下水の排水の集中ポンプ、3号機の 1A コンプレッサー等々が停止します。明日、明後日の説明ですが、先になります、10/25、26で5、6号の電源から炉注ポンプ、計器類の電源を切り替えるという作業があります。頭の電源を24日、停電無しで切替えることはできるのですが、下の負荷を切替えるときに停電します。25日は P/C 2C を停止します。26日は炉注ポンプの電源を切り替えますが、炉注ポンプは D/G で電気を供給できますので、D/G 側の炉注ポンプに切り替えまして電源の停止作業を行います。

(安定化 C ■■■) 所内電源系が徐々に強化されていきます。一方、強化されるということは電源系がどんどん複雑になっていきますので、決してヒューマンエラーをしないよう、落ち着いて、コミュニケーション良く確実に作業を進めていただきたいと思えます。続いて、今の電源停止の期間を利用して、KURION 装置で故障していた機器がありましたが、これの取替え作業を計画しています。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書面で説明) 明日、電源停止が行われるということで、これに合わせて KURION の H スキッドのポンプの交換を行います。H スキッドの2番、3番のそれぞれ2台ずつポンプがありますが、No.2 のポンプモータの交換を行います。こちらは過負荷トリップをしまして、そのまま停止をずっとしていましたが、明日電源停止を行うということがありますので、これに合わせてモータの交換を行います。作業自体は実績として H3 の1番のポンプモータを一式交換、これは9/13に行っていますが、これと同じような作業環境下での作業となるということで、実際の作業としましては、明日 KURION を停止した後、システムのフラッシングをして、ベッセルを少し

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

どかして線量低減を行った上で作業を行います。作業は、予定は 10 時から 15 時までモータの取替えを予定してまして、19日に再度装置を再起動しまして流量調整を行う予定です。SARRY も明日電源停止が行われますので、それに伴って停止が入ります。

(安定化 C ■■■) 高線量作業ですので、段取りを十分して、少しでも被ばく低減に努めて下さい。続いて、本日、1号機におきまして炉注ラインの多様化のための工事を実施しました。これも高線量作業でしたがその作業について報告します。

(安定化 C 冷却 PJ 部) (書面で説明) 1号機の CS 系の炉注水ラインの取付工事を本日から開始していますので、工事の概要と本日、現場で身体汚染が発生しましたのでその作業内容について報告します。まず、2号、3号については CS 系から注入を既に開始してまして、1号機は炉の冷却という意味では、RPV の温度が約 80°C まで冷えていますので必要性は低いですが、給水系のみしか注水点がないというよりは、多重化して多様化してより信頼性を高めた方がよいということで、2号、3号同様に CS 系からの注水ラインの設置をしようという計画です。緑のライン、ステンレスのフレキシブルホースを原子炉建屋の2階にあります MUW のユニットのところに繋いで、赤いラインに従って CS の隔離弁を通して RPV に注入するラインを作るという作業です。作業にあたりまして、取付口は FIS という流量計のフランジを取り外して、そこから入れようとしています。模式図ですが、こちらの FIS を取り外して、そのフランジにジグを取り付けましてホースを繋ぎ込むという作業です。写真はこちらで、FIS、両側のフランジを取り外すこととなります。本で行われました作業ですが、FIS を取り外すにあたって両側のバルブの閉、および今回 CS の B 系を利用して注入をしようとしています。よって、A 系側に行くバルブの閉操作を行っています。3つのバルブの操作、ケーブルの切断ということで、FIS に付いているケーブルを外さないと取り外せないで、その切断の作業、明日、フランジ緩めて(聞き取れず)を取外しますので、そのフランジのボルトの緩め材の塗布、この3つの作業を行っています。作業は A,B,C の3名で行っています。これプラス2名が T/B に控えてまして、戻ってきた作業員のアノラックを切る等の補助作業を行っています。被ばく線量はこちらにあるとおり最大で 4.17mSv です。当該のエリアの線量ですが、両方とも2階のエリアですが、FIS の周辺が 15mSv、A 系隔離弁で 102mSv という高い線量で、A 系の隔離弁の操作をした作業員 B が 4.17mSv ということで一番の被ばくとなっています。本日、口鼻が汚染したのも作業員 B でして、1.5kBq というのが 2F に戻ってきて、ビジターズホールで測ったところそれが見つかったということです。1F を出るときバックグラウンドが 2000 を越えていますので分からなかったのですが、2F のバックグラウンドが 700 ということで、1500 で引っかかったということです。この理由ははっきりとは分かっていませんが、想定する理由は、現場から上がってきたときにマスクのフィルタを取替えましたが、マスクについてはバックグラウンドが高いということで、引っかからな

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

だったので、そこは取替えなくて良いということで、そのままそのマスクをビニール袋に入れて、免震棟に引き上げた。2F のビジターズホールに戻るときに、そのマスクを装着しましたが、そのビニール袋の中で内面が汚染して、それがマスク内面側に付いて、マスクを付けるときに口鼻が汚染したのではないかと想定しています。本日、広野の WBC で測定を行いまして、結果については後日分かるということです。工事自体は、FIS を取外して取付部の測定を行って、それを元にジグを製作することになります。ジグの納期は1ヶ月程度と考えていますので、11月中旬位を目標に CS から注入できるように工事を進めたいと思います。

(安定化 C ■■■■■)B さん、非常に周辺の線量 100mSv という非常に高いところで作業をされたということですが、この高線量が内部汚染に関連したということでしょうか？

(安定化 C 冷却 PJ 部)線量自体は外部被ばくですので、あまり(聞き取れず)ですが、ダストがかなり高いところでマスクの外面のところにかなりダストが付いてしまったのではないかと、それが(聞き取れず)を介して内面について、それを被ったときに内面が顔面を汚染したのではないかと考えています。

(安定化 C ■■■■■)いずれにせよ、1F ではバックグラウンドが高かったもので、汚染は検出されなかった。それで、2F に戻ってきたときに、1500cpm という微量な汚染が検出されたということですね。1号機のカバーリング工事ですが、既にカバーが付いたのですが、いくつかの配管等の取付作業をする必要があります。その作業内容について報告します。

(安定化 C 放出抑制 G) (書画で説明)1号機使用済み燃料プール冷却のバックアップ設備として R/B カバーの屋根に設置した注水ノズルに注水用のホース、ケーブル、更にダストサンプリングの配管を接続する作業について説明します。クレーンで吊り上げた注水ホースとケーブル等を図の面で示す屋根側の取り合い部に接続するために、高所作業車で作業員が屋根側の取り合い部に接近して、接続する作業です。作業は10/19、水曜日の9:30から14:30の間で、作業エリアの線量は約 8mSv であるということから、まず遮蔽を事前に実施した上で、一班あたり30分の作業時間で11班体制で実施する予定です。

(安定化 C ■■■■■)11班体制は随分多いですが、合計何人になりますか？

(安定化 C 放出抑制 G)作業員さんは延べ人数で55人、配管側の機械分の作業と、ケーブル分の電気分の作業がありますので、11班の体制としています。

(安定化 C ■■■■■)そのうち高所に上がるのは何班になりますか？

(安定化 C 放出抑制 G)実際に高所に上がるのが11班、1班あたり5名で11班体制を組んでいます。

(安定化 C ■■■■■)十分気をつけて作業をしてください。

(安定化 C 環境影響評価 G) (書画で説明)降下物の測定結果ですが、9月分がまとまりまして本日公表ということもありますので、紹介します。降下物測定、どのようにや

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

っているかといいますと、写真にありますとおり、水盤と呼ばれる容器、たらいと呼んでいますが、容器に水をはって降下してくるちりを約1ヶ月採取しまして測定しています。比較のため作業員が立っていますが、面積0.55、深さが8cmほどあります。水盤を発電所から5km 地点に5箇所、発電所から10km 地点に同じく5箇所、方位に設置しています。それと、発電所の中に環境管理棟がありますが、そこに1箇所、2Fに1箇所、合計12箇所に水盤を設置しています。1番と11番と12番については、(聞き取れず)ということもありまして、建物の上部に水盤を設置しています。結果ですが、本日公表にあたっては、このような表で公開しています。非常に見にくく、ご説明しにくいということで、後ほどグラフで紹介しますが、採取地点、12箇所ありまして、採取期間、試料濃度、これは Bq/m² という単位で、I-131、Cs-134、137 という単位で公表しています。表が分かりづらいのでグラフにまとめたものがこちらになります。縦軸が試料の濃度、Bq/m² という単位です。横軸に発電所からの距離としまして環境管理棟、5k 地点、10k 付近ということで作成しています。環境管理棟は約20000Bqほどありました。建物上下です。それと5km 付近についてはおよそ2000～4000Bq です。若干低いところもありますが、およそ2000～4000 です。10km 地点は、300～800Bq です。7番、12番の上の屋上の方です。9番の地点は、発電所から西側ですが288号線の山の中ということで、高い値がでています。これは、この付近が樹木で覆われていて、枯れ葉等が水盤に入りまして、放射能濃度が高くなったと同っています。当初は測定値を使って放出量の評価を考えていましたが、(聞き取れず)が若干高め、多いということで、放出量の評価は難しいと思っています。

(安定化 C ■■■■■)これから評価するのは難しいということでしたが、大変長期に渡る測定、お疲れ様でした。

(本店広報部)本日の中央マスコミへの説明状況ですが、本日は3回説明しています。午前中は11時、午後は14時30分、最後に今実施している統合会見、16時30分からです。午前中は、建屋カバーへの配管等敷設、取付ということについて説明しています。極短いやりとりで終わっています。午後の14:30にプレスをしてしまして、内容は1号機～4号機の中期的安全確保の考え方、それにつづく施設運用計画ということで、10/3に保安院さんと経産大臣からそれぞれ指示文書と報告徴収の指示を受けてまして、それへの回答ということで、その1ということで、17項目ある項目のうちの7項目および原子炉注水系に関する確率的な安全評価ということで、その2は後日に提出することになっています。これについては、道筋の会見ですが、道筋の会見の前に説明をおこないました。16:30からは事故の収束に向けた道筋ということを中心に説明をしていると状況です。

(安定化 C 所長)福島県の県政の方での道筋のプレスは、その他の段取りがあつて17:15くらいから開始されまして、被災者への対応に関するロードマップの説明を含めまして、あるいは質疑も含めて、今、小一時間で戻ってきています。事故収束の道

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

筋の件については、ステップ2は何時終わるのかとか、冷温停止の定義の再確認とか、誰が終了の判断をするのかとか、今後のスケジュール感の話が一つ、炉内の状況はどのように推定しているのかといった技術的な質問があったり、水処理の今後のやり方ほどのことを考えているのかといった質問がありましたけれども、永遠とつながるということではなく、比較的単発的な質問に終わっています。保安院の方は、渡辺統括以下でご説明をいただいています。その中で、中長期の安全確保の施設の運営計画を本日お出ししていますので、こちらでもプレス発表していますが、それに関連しては、保安院さんの方ではそれを受理したという話と、意見聴取会を10/22に開くというニュースリリースについても合わせて紹介をされています。被災者への当面の取り組みのロードマップ関係では、避難区域の解除で話であるとか、本格除染に向けた取り組み等についての紹介がありましたが、質疑そのものはほとんど本件についてはなかったという状況で、比較的淡々と終わっています。東京側ではまだ質問が出ていると思いますが、福島県側ではそのような状況です。

(安定化 C ■■■■)10/17の統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/18(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長) 本日は天候に恵まれました。電源停止にもとない水処理装置を停止しましたが、ポンプのモーターを交換しようとしたところ、キュリオンで水がたまっていたことが確認された。その他、先週に LPRM 関係での確認結果がまとまりましたので後ほど概要をお伝えします。

(1F ■■■) 本日朝方は雲が厚かったが、その後よい天気にも恵まれました。気温はかなり低かった状況で、本日も特に傷病者の発生はなく、無事作業が進んでいます。電源関係の工事にともない、水処理関係のキュリオン・サリー、滞留水移送を停止しています。

(1F 発電班) 1号機は給水系から 3.7m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 73.4℃、D/W 圧力は 20kPa_{gage}、SFP 温度は 26℃で安定しています。

2号機は CS 系から 7.1m³/h、給水系から 3.6m³/h あわせて 10.7m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 81.8℃、D/W 圧力は 18.8kPa_{gage}、SFP 温度は 28℃です。格納容器への N₂ 封入流量の低下が確認されたため、17:55に規定流量の 14 ノルマル m³/h に調整しました。

3号機は CS 系から 8.0m³/h 給水系から 2.2m³/h あわせて 10.2m³/h で炉注水を行っており、RPV 下部ヘッド温度は 73℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 温度は 27℃です。

4号機 SFP 温度は 37℃、共用プール温度は 30.6℃で安定しています。5、6号機もプラントパラメータに異常ありません。

(1F1～4号復旧班) 本日は、蒸発濃縮 M/C の受電ラインを2系列化するため、電源停止を行っています。それにともない、タービン建屋からプロセス建屋・HTI 建屋への滞留水移送も停止しています。また、キュリオン・サリーもシステムを停止しています。

水移送関係について、1号機では 2mm 下降です。2号機ではタービン建屋とトレンチで 20～22mm の上昇となっています。3号機ではタービン建屋で 30mm 上昇、トレンチで 10mm 下降です。4号機ではタービン建屋で 18mm 下降です。受け入れ側の集中ラドのプロセス建屋では 14mm 上昇して OP2606mm、HTI 建屋では 81mm 上昇して OP2922mm であり、シミュレーション通りです。

電源停止について、明日10時に復電を予定しており、停止している負荷はそれぞれの状況を見ながら復旧していきます。また、別の M/C の停止を予定しており、集中ラド側の後尾 M/C についても、明日の13時から16時に停止する予定です。引き続き注意して作業を行います。

(1F5, 6号復旧班) ひまわりの散水について、本日9:00から10:40に行いました。明日も行う予定です。6号機タービン建屋地下から仮設タンクへの移送は10:00か

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ら16:00に行いました。明日の予定はありません。明日、メガフロートへの移送を10時から16時に予定しています。

5, 6号機取水口の点検について説明します。5号機は10/20に、現在動いている補機海水ポンプ、RHRS ポンプを停止して、取水口の中を水中カメラで点検します。この間約6時間ですが、RPVの温度上昇が約1.7°C/h、SFPの温度上昇が約0.3°C/hと評価しており問題ないことを確認しています。6号機も同じく10/21に取水口の点検を行います。同様に水中カメラによる点検を10時から16時に行う予定です。動いている補機海水ポンプ、RHRS ポンプを約6時間停止し、RPVの温度上昇が約1.3°C/h、SFPの温度上昇が0.3°C/hと評価しており問題ないことを確認しています。

(1F土木班)継続のタンク工事について、Gエリアで盛土の工事、Hエリアでタンク組み立て工事を実施しています。ガラ撤去関係では、1, 2号機開閉所において無人重機によるガラ撤去を行っており、コンテナ2個分の撤去を完了しています。明日もひきつづき1, 2号機開閉所でガラ撤去を行う予定です。ダスト小ガレキの集塵について、1, 2号機 OP10m 盤の海側の道路において実施する予定です。1, 2号機逆洗弁ピット前で本日また、明日集塵を行う予定です。水処理制御室の北側において、樹木の伐採を継続で行っています。後ほどひまわり水の利用について報告します。

(1F 建築班)1号機原子炉建屋カバーリング工事について、物場場にて吊り治具の解体、高台の解体などを行います。また、設備の組み合わせ運転を行っています。明日も継続作業に加えて配管の接続等を行う予定です。3号機上部ガレキ撤去について、路盤整備、西側崩落場所の解体、小建屋の解体を行っています。明日も継続作業です。4号機についても、路盤整備大物搬入口の壁筋の切断等を行っています。明日も継続作業です。スラッジ貯蔵施設については、本日 柱の PC の立込を5ピース行いました。明日は壁 PC の建方を10ピース行う予定です。

(1F)5, 6号機の方では、滞留水のメガフロートへの移送を久しぶりに行いますので慎重に行いたいと思います。また、津波由来と思いますが、取水路に相当砂がたまっていると想定されますので、慎重に進めたいと思います。

(1F 土木半)ひまわり水の利用に関連して、情報提供します。5, 6号機の滞留水は構内散水に利用していますが、協力企業さんの要望にも出ております、車・タイヤ等についた泥落としに利用していきたいと考えている。具体的な方法として、写真(書画)のように、500リットルのタンク二つと高圧の放水装置を積み込んだトラックを協力企業さんに貸し出して、車両とタイヤの泥落としに利用してもらうことを考えている。作業場所については、放水した水が構内の水路や海域に直接流入することのない敷地内の指定の場所で実施してもらうことを考えている。運用については、毎週木曜日に実施している災害復旧安全推進連絡会(協力企業さんが参加している)において、協力企業さんに周知した後に開始したいと考えている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C 所長)こまわりくんはいつから実施になるのでしょうか？

(1F 土木班)木曜日に企業さんに、こういったものがあるという旨を周知し、準備の方は木曜日に間に合うように整え、それ以降企業さんのリクエストにあわせて使うということを考えています。

(安定化 C 所長)早ければ今週末からということですね。キュリオンで水が堰の中にあつたということで、状況の報告をお願いします。

(安定化 C)本日、キュリオン H スキッドの 2, 3 番目のそれぞれ No.2 のモーター交換の作業を実施しました。No.3 については交換が終わっていますが、No.2 の中を覗いたところ水がたまっているということで、作業を中断しています。水が 10~15cm たまっている状態で、水の分析をしたところ、セシウム 134 が 2.4×10^5 、セシウム 137 が 2.9×10^5 と原水の半分位の濃度です。これについては本日水抜きを行い、明日起動に入る際に水張りを行って漏えい箇所の特定を行い、今回の電源停止中のモーターの取り替えを見送り、No.3 だけモーター交換後の試運転を行ってインサービスすることを考えている。水処理で淡水が余っており、タンクを増設しているが今まで 60t/h で定格以上の水処理を行ってきたことからタンクに裕度を持たせるために、明日は 45t/h の処理水量で起動をかけていきたいと考えている。サリーで 30~35t/h くらい、キュリオンで 10~15t/h の水処理量で運転できるように、明日実際に流量を流してみ、キュリオンについては No.3 だけか No.3 と No.4 を使うかは状況を見ながら判断して起動をかけていきたい。漏えいに関しては、明日漏えい箇所の特定を行い、状況が分かり次第報告します。

(安定化 C 所長)まずは漏えい箇所の特定を起動のタイミングで行うのですか？

-> 起動前に確認したいと考えている。

(安定化 C 所長)確認ができた後は、No.2 は隔離してインサービスはしないという理解でよいか？ -> No.2 は使わないようにします。

(安定化 C 所長)漏えい箇所の特定で、修理の方法を考えておくのか？ -> はい

(安定化 C 所長)状況が分かったら明日にでも報告願います。

もう1点、1週間前くらいに LPRM 関係の状況の評価について報告願います。

(安定化 C) LPRM 検出器の状態確認作業を先週実施しました。2号機は 10/6、3号機は 10/11 に実施しまして評価をし、その結果まとまりましたので報告します。

LPRM は局部出力領域モニタといい、2, 3号機は31本、縦方向4個の計 124 個のセンサがついており、通常運転時の原子炉の出力状態を確認するためのセンサです。中操から TDR という診断方法でもって、ケーブル・検出器の状態を測りました。TDR という手法は、どこか途中で短絡・断線があるとその場所が分かるものです。結果について、2号機は、124本中1本が断線しており、断線箇所は PCV のペネ近傍と考えられます。残り123本は、ペネより格納容器の中になりますが、検出器に至る前(ペで磨る近傍と思われる)で短絡している状態です。3号機はペネ近傍で25

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

本が断線、99本が短絡という結果になりました。検出器のところまでケーブルが健全であれば炉内の状態が推測できないかと調査を行いました。事故時の高熱等の影響によりケーブルがペネ近傍で損傷し、その結果断線・短絡しているという状況で、その先の RPV 下部の状態や炉内の状態を推定することは困難という結論になりました。

(安定化 C 所長)9月の段階では制御棒位置指示系も使えないということでしたが、残念ながら LPRM も炉内の状態を読み取るのは困難なようです。

(本店広報部)本日のプレスの説明状況について、11時と6時に当社単独の会見を行っています。11時の会見では、昨日の定期安全確保の考え方に基づく説明計画を出していますが、それに関連していくつか質問が出ています。具体的には、原子炉への注水ができなくなった場合にどうかということで、燃料が再溶融するまでの時間とかその条件についての質問、あるいは炉底部にある損傷燃料の状態等についての質問がありました。午後6時の会見では、キュリオンスキッドの漏えいに関する説明を行う予定です。

(J ビレッジ)本日、小宮山厚生労働大臣のご視察がありました。午後2時過ぎから約1時間、小森常務に対応いただきました。小宮山大臣が副大臣だった時に医師の派遣とか、入構証に写真をつける等のことに関与されたということで、特にメディカルセンターや3階にある作業者証発行箇所を興味深くご覧になり、予定通りの日程で帰られました。

(安定化 C 所長)以上で全体会議を終了します。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/19(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長) 本日は少し涼しい天候であった。1号機 R/B カバーリング工事関連する SFP ホースの取り付け作業、2号機 PCV ガス管理システムの概要、1号機炉注入多様性として CS 系からの炉注入を考えているが、その一環として MO 弁の作動確認、その他週報として水処理の状況について説明します。

(1F所長) 本日は、天候は安定しており、作業が多かったが労働災害はありません。昼間の免震重要棟の出入り、特に入る方で時間待ちが発生するため、明日安全推進連絡会議がありますので、各社と協力してなるべく分散化するように考えている

(1F1～4号発電班) 1号機は給水系から 3.6m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 72.5℃、D/W 圧力は 18kPa_{gage}、SFP 温度は 24℃です。

2号機は CS 系 7.1m³/h、給水系 3.6m³/h 合計 10.7m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部温度は 80.9℃、D/W 圧力は 18.8kPa_{gage}、SFP 温度は 27℃です。

3号機は CS 系 8.0m³/h、給水系 2.1m³/h 合計 10.1m³/h で炉注水を行っており、RPV 下部ヘッド温度は 72.4℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 温度は 25℃です。1～3号機の RPV ヘッド温度は若干下がり傾向にあります。

4号機 SFP 温度は 32℃で、朝から 4℃下がっているが、スキーマサージタンクへの水張りを行っているため下がりが大きくなっている。共用プール温度は 27.4℃です。

(1F5, 6号発電班) (書画説明) 本日、6号機 RHR ポンプ起動と停止をしています。今回で4回目ですが、RHRS ポンプの吸い込みがつまり傾向にあると思われる。RHRS は2台のうち1台で運転していますが、熱交換器を介してRHR系を冷却しています。RHRS ポンプのくみ上げ能力が低くなっていると思われるため、2つのパラメータで監視しています。RHRS 出口流量と熱交換器の淡水と海水の差圧(海水の圧力が落ちてくると差圧が落ちてくる)を監視しています。差圧については、普段 200～300kPa であるところ、100kPa で警報が発生しますが、本日9時前後に2回ほど警報が発生し、圧力が下がってきました。流量も普段 230～250 位のところ 200リットル/s まで下がってきた。このような傾向からつまり気味であろうと思われ、過去3回実施していますが、RHRS ポンプ(負荷の RHR も)を 15～20 分くらい止めて再起動させると詰まっているものが落ちて、再起動させると流量が戻ってきて圧力も立ちます。本日は 32 分ほど RHR ポンプを停止し、炉水温度は 21.6℃から 22.1℃となって 0.5℃上昇しました。明日、明後日と5, 6号機の取水路にカメラを入れて点検を行う計画があり、その様子を見て根本的な修理を行うこととなります。

(1F1～4号復旧班) 昨日から本日にかけて 6.9kV 系電源盤の停止がありました。一つが本日実施した集中ラド M/C の電源2系列化で、14時から15時頃に実施しています。もう一つが蒸発濃縮 M/C の電源2系列化で、昨日から停止していましたが本日9:13に復電しています。これにともない停止していたサリー・キュリオンの運転

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

を実施しており、サリーは13:29に再開し、27m³/h で運転しています。キュリオンは17:55に20t/hで再開し、あわせて47t/hで運転を継続しています。これにともない、2号機タービン建屋からプロセス建屋、3号機タービン建屋から HTI 建屋への移送を明日10時から再開する予定です。

水位関係について、1号機タービン建屋は4mm 下降です。2号機は23~25mmの上昇です。3号機は6~15mmの上昇です。4号機タービン建屋は9mm 上昇です。受け入れの集中ラドは、プロセス建屋で49mm 上昇してOP2660mm、HTI 建屋はサリーが午後一で運転したため、63mm 下降してOP2865mm です。ほぼシミュレーション通りに推移しています。本日サイトバンカの滞留水をプロセス建屋へ200t 移送しました。

(1F5, 6号復旧班) ひまわりの散水を9:00から10:20に行いました。メガフロートへの移送を10:00から16:00に実施しました。明日のメガフロートへの移送は14時から15時、ひまわり散水も実施する予定です。取水口の点検について、明日9:30に5号機 RHRS、ASW ポンプを止めて取水口の水の中カメラによる点検を行います。

(1F 土木班) 汚染水処理設備関係について、低中濃度タンクの埋め戻しを継続で実施しています。H エリアの RO のタンクの組み立てを継続で実施しています。無人重機によるガラ撤去は、1, 2号機開閉所にてコンテナ6個撤去しています。明日も継続です。小ガレキダストの集塵機について、1, 2号機海側のエリア、1号機逆洗弁ピットにて集塵作業を行っています。明日も継続です。

(1F 建築班) 1号機 R/B カバーリング工事について、SFP 注水用のワイヤーサポートホースの取り付けを大型のステージ重機により高所作業で行う予定でしたが、ステージの張り出し足場のつける方向に誤りがあり、本日作業を中止しています。明日張り出し足場の取り付け直しを行い、10/21 に再度取り付けを行う予定です。その他、物揚場で架台解体搬出、資材片づけ、排気フィルタユニットの組み合わせ試験を行っています。明日は、ステージへの足場の取り付け直しを行うとともに、物揚場で架台解体搬出、片づけ、排気フィルタユニットの組み合わせ試験を継続します。

3号機上部ガレキ撤去工事について、本日は南側ヤードで路盤整備、西側で崩落柱の解体とガレキの移動、海側の地組ヤードで足場の解体を行っています。明日も継続で行います。

4号機上部枯れ木撤去工事について、本日大物搬入口の解体後の壁筋の切断と路盤整備、南側の仮設電気の工事、天井クレーンの固定治具の取り付けを行っています。明日も南側エリアで仮設電気の工事と天井クレーンの固定治具の取り付けを行います。

スラッジ貯蔵施設について、スラッジ棟では壁のPCの建方、足場の組み立て、設備棟では中脚部のベースモルタルを行います。明日も継続です。

(1F 保安班) 免震棟の入り口が現場から戻ってきた人と2F・Jビレッジから来た人とで

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

大変混雑しているため、2F・J ビレッジから来た人の出入り口を専用を設定したいと思えます。実施時期は来週 10/25 より、2F・J ビレッジから来た人は免震棟の第一工区から出入りするよう変更する予定です。第一工区から入ると、シューズカバーとゴム手袋を外すエリアを設定していますのでこちらから入っていただく。出て行く方については、奥から入って扉から出て行く。開閉については二重扉になっているため、専用の扉開閉員をつけますので従っていただきます。

(1F 所長)混雑緩和のため、安定化 C の方は来週の25日から気をつけてください。

(安定化 C 所長)1号機 R/B カバーリング工事で、バックアップのための SFP 注水ホースの作業を行っていましたが、ホールドしているので原因も含めて説明願います。

(安定化 C 放出抑制チーム)R/B カバーの屋根に SFP 注水用のホースとケーブルを布設する作業を本日実施したが、屋根側の取り合い部に接近することができずに作業中止しました。高所作業車の作業架台から張り出したステージで作業を実施するために、作業架台を 180° 回転させて張り出し足場を作業エリアに寄せる必要がありましたが、作業架台の回転能力が 90° しかなかったことから作業エリアに接近できなかった。屋根側の取り合いフランジに接近するにはさらに 90° 旋回させる必要があります。原因は、作業架台の仕様書には左右それぞれ 90° 全体で 180° 旋回ようになっていましたが、片方向でも 180° 旋回すると思ひこんだことで回転不足が生じました。今後の予定は、10/20 に作業架台から張り出している足場の取り付け位置を今の位置から反対側に変更した上で、10/21(金)に作業を再開する予定です。

(安定化 C 所長)計画段階での詰めが甘かったが、一旦立ち止まって段取りを組み直してどちら方向に回るか確認して願います。

(安定化 C 放出抑制チーム)先週金曜日に最後の屋根パネルが取り付けられ、それ以降24時間で排気運転を2台で運転していますが、明日から最後の総合試験として、4台フルカバーで24時間の試験を行う予定ですのでよろしく願います。

(安定化 C 所長)最終評価を願います。

2号機ガス管理システム接続について、サポート干涉の説明を願います。

(安定化 C 冷却PT)明日、2号機 PCV ガス管理システムの接続工事の再度トライを行います。PCV ガス管理システムの概略系統図で、格納容器の中のガスを引っ張って、ガス処理装置(HEPA フィルタ)により放射性物質をとって大気放出します。HEPA フィルタは湿分を嫌うので手前に除湿装置と電気ヒータを設けています。明日工事をやる部分は、こちらの施行範囲で(書画説明)、FCS 配管の母管に2本の分岐管が出ており、これに治具とホースを接続して 2 カ所から格納容器の中のガスを引っ張ります。先週接続工事を実施した際に、1カ所がサポートと干涉して作業を中断したため、明日再トライを行います。先週の状況では、治具を取り付けてさらに曲げ管を取り付ける作業を行ったが、曲げ管がサポートと干涉して接続できなかった。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

明日は、黄色の波線(書画説明)の治具を作り替えて、分岐管から出てすぐに 90° 方向に降って曲げ管を接続する予定です。ちなみに、こちらにホースがついているが、FCS 配管の中にたまっている水素を追い出すために窒素送るものです。明日の作業の計画線量は高いですが一人 18mSv として実施する予定です。明日接続が終わったら順次設置工事を行います。来週の予定は接続したラインの水素を追い出す作業を考えており、その手順を検討しています。手順ができ次第、保安院に説明し、その後全体で説明します。

(安定化 C 所長)高線量エリアの作業なので慎重にお願いします。

(1F 所長)治具の状況について、付け根の強度的に大丈夫ですか？

(安定化 C 冷却PJ強度的に大丈夫ですが、念のため上からロープで固縛します。

(安定化 C 所長)1号機 CS 系注水ラインの電動弁の作動確認について説明願います。

(安定化 C 施設基盤部)明日、1号機炉注水ラインの多様化のため、CS 系の電動弁作動試験を行います。この電動弁は6日に抵抗測定を行い、問題ないことを確認しています。明日の作業予定は、午前中にケーブル布設を行い、午後に仮設電源を接続し、作業試験をおこないます。MCC の場所は R/B3階にあり、ケーブルの長さが 100m となり、社員 10 名でケーブル布設を行います。計画線量は 5mSv 以下で計画しています。

(安定化 C 所長)こちら高線量エリアなので段取りよく、何かあったら立ち止まることでよろしくをお願いします。

水処理関係の週報と昨日のたまり水関係の説明をお願いします。

(安定化 C 水処理 PJ)週報について、建屋滞留水状況は、タービン建屋1~4号機記載の通りであり、トピックスとして 10/12、13 に2号機からの移送を一旦中断してプロセス建屋に切り替えており、2号機は 600t 増えている。3号機はダストの対策のため移送を中止して工事を行っており、その後2台で移送しているため 2800t となっている。移送先のプロセス建屋、HTI 建屋は前回報告から減っているおり 9860t (10/12~18 の累計)、それから全体の累計として 134100t 処理しています。廃ベッセルは前回から 10 本増加です。処理水の性状については、9/27 より変動はありません。貯蔵量について、濃縮塩水の受けタンクは、容量 75000t に対して 70000t と逼迫しており、処理量をキュリオン 20t/h、サリー25t/h にコントロールしています。淡水、濃縮廃液の貯槽は記載の通り若干余裕があります。

本日、キュリオン H ベッセルのリーク箇所の確認をしました。結論から申し上げますと、H-2 スキッドに水たまりがあり、漏えい箇所の確認をしたが、ポンプ周り、配管接続部フランジに漏えいを確認できなかった。SPT(B)の水を使って流量を上げてフラッシングを行ったが、漏えい箇所を直接確認することができなかった。今はキュリオン H3、H4 の二つの系列で処理を行って、H2 使っていません。今後も継続してどこからリー

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

クがあったか、ポンプ、バルブ、フランジ継ぎ手、ベッセルの接続箇所(カウンターロック)を中心に点検方法を検討していきたい。

(安定化 C 所長)どこかはずれて吹いている状況ではなく、見つけにくいかもしれませんが、部分的に受けを作るなど、調査方案を作ってタイミングを見て H2 ラインの確認を進めてください。

(本店広報)本日午前中の会見概要を連絡します。記者15名で20分程度の会見でした。主な質疑は、シビアアクシデント、事故時の運転操作手順書を使う際の判断の定義は何かという質問がほとんどでした。他に「ビレッジでインフルエンザワクチンの無料接種をすること、キュリオンのトラブル(たまり水)の件で、特筆することはありませんでした。

(安定化 C 所長)発電所は作業がかなり多い状態続いており、日が短くなったこともあり、作業員が集中する状態となっている。状況に応じて改善していき、作業安全・作業品質についても一つずつ確認しながらやっていく必要があります。厳しいエリアでの作業をピンポイントで突破していくことが今後もありますので慎重に進めていきたいと考える。関連の方々の活動に御礼申し上げ、ご支援をよろしく願います。本日の全体会議を終了します。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/20(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)本日、高線量エリアも含めて色々な箇所で作業が行われた。ひまわり関係についても散水を実施した。

(1F 所長)晴れ曇りであり穏やかであった。日立で作業ではないが、車の操作を誤って胸をぶつけたものがあったが、他作業は順調であった。高線量の作業がいくつかあったが、予定線量以内であった。

(1F1～4号発電班)1号機は給水系から 3.6m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 72.5℃、D/W 圧力は 19kPa_{gage}、SFP 温度は 23℃です。

2号機は CS 系 7.1m³/h、給水系 3.5m³/h 合計 10.6m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部温度は 80.3℃、D/W 圧力は 19.4kPa_{gage}、SFP 温度は 24℃です。

3号機は CS 系 8.0m³/h、給水系 2.1m³/h 合計 10.1m³/h で炉注水を行っており、RPV 下部ヘッド温度は 72.3℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 温度は 21℃です。

4号機 SFP 温度は 32℃で、共用プール温度は 27.1℃です。

(1F5, 6号発電班)本日、5号機取水路の補機ポンプ室底部点検を行うため、ASW ポンプと SHC ポンプ(RHR ポンプと思われる)、RHRS ポンプを停止した。SHC を6時間程止めた結果、炉水温度は 22.2℃から 31.1℃に約 9℃上昇した。SFP の冷却については海水ポンプ止めた関係で 0.7℃上昇した。その後、再起動して冷却は順調である。同様の点検を、明日6号機で実施する予定。

(1F1～4号復旧班)水移送関係だが、電源停止に伴い水移送を止めていたが、本日移送を再開した。2号機はタービン建屋からプロセス建屋へポンプ2台で移送を実施している。3号機はタービン建屋から HTI 建屋へのポンプ1台で移送を実施している。

水位関係について、1号機タービン建屋は 3mm 下降です。2号機は 19mm 下降です。3号機は T/B で 8mm の下降で、トレンチは変化なし。4号機タービン建屋は 7mm 上昇です。受け入れの集中ラドは、プロセス建屋で 34mm 上昇して OP2630mm、HTI 建屋は 73mm 下降して OP2460mm です。ほぼシミュレーション通りである。

滞留水関係は、サリーは 27t/h で順調に運転を継続している。キュリオンは昨日電源停止以降に運転を再開したが、21:06に SMZ のポンプが過負荷トリップしたため 20t/h から 17t/h に流量が落ち、現在も 17t/h で運転を継続している。本日、安定化センターで調査したが、同じ事象が継続しているため、今後原因と対策を検討していく予定であるとのこと。現在は第3系列と第4系列で 17m³/h で稼働中である。明日はキュリオン H ベッセル2棟交換予定である。

(1F5, 6号復旧班)5号機取水路の点検の結果、津波によるものと思われる砂等が堆積していたことから、今後検討する。本日、メガフロートへの移送を 14:00 から 15:00 に実施しました。明日のメガフロートへの移送は 10時から 16時行う予定。ひま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

わり散水は、9:17~12:00に行った。明日も実施する予定です。仮設タンクへの移送は本日は実施せず、明日もなし。

(1F 土木班)タンク関係は G エリアで盛土の工事、H エリアでタンクの組立作業を実施している。ガラ関係は、無人重機によるガラ撤去は、1, 2号機開閉所付近にてコンテナ4個回収している。明日はお休みである。集塵機について、1, 2号機の OP.12m 海側道路付近で実施している。引き続き、同じ箇所を実施する予定。その他工事として、水処理制御室の北側敷地で伐採工事、5, 6号機カセンの復旧工事を実施している。

(1F 建築班)カバーリング関係だが、1号機についてはパネル取付け完了したので水きりに使用していた物揚場の吊りジグの解体を継続で実施している。

3号機上部ガレキ撤去工事について、南側ヤードで砕石鉄板 H 鋼等の路盤整備、T/B 東側ヤードで建屋の解体、R/B 西側において崩落柱の解体とガレキの移動を実施している。

4号機は準備工として、南側エリアで仮設電気配線、分電盤取り付け、本体のガラ撤去関係については、M/G セットの油抜の関係で、一部休止しているので4号機で使用している M ステージを1号機側に移動を実施した。明日も引き続き実施する。

スラッジ貯蔵施設について、スラッジ棟では壁の PC の建方、足場の組み立て、設備棟では中脚部のベースモルタルを継続で実施している。

ガレキ収集運搬については、昼間は照明の給油作業のみとなっており、夜間作業として3号機を主に運搬を実施する。

(1F 所長)3月11日の震災直後から2週間程度、現場が大変な時にかけてくれた会社に対して、所長名で感謝状を17社に贈った。2社はいなかったため別途送付する。

(安定化センター)(書画で説明)ひまわりプロジェクトについて、10月7日以降スタートした。10月7日はプレス後ということで28t、翌日は97t、10月9日は42tとうことで、1日程は水の生成と分析で休んでいるが、その後は毎日平均80tで撒いてきている。本日は伐採木に対しても撒いており、累積で905tとなっている。散水エリアについては、発電所の敷地の南側の方から A,B,Cゾーンという形で森林に撒いてきている。北側に移って、D,E,F,Gゾーンという形で南側からの順番で撒いてきている。本日伐採木に対しても撒いた。森林へも散水している。

毎日撒く水の水質管理を10月7日から実施しているが、ヨウ素131、セシウム134, 137の基準に対して ND であるが、1点2点は検出限界を僅かに超えているが、基準は十分に下回っている。

(安定化センター)(書画で説明)2号機のガス管理システムのジグを2号機の建屋に入って配管の設置をしているが、既設の配管に対してホースを繋ぐジグを中間にかまして、ホースの接続を完了した。ホースをヘッダーで受けて、配管に繋いで、最終

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

的に松の廊下に導出することができた。線量は計画18mSvでたてていたが、最大で8.83mSv、最小で4.63mSvであった。実績としては厳しい環境で実施した。当社社員12人で実施した。

(安定化センター)(書画で説明)2号機 R/B3階 FCS 周りについて、これは PCV ガス管理システムで水素パージのため弁を操作する可能性があるエリアである。合わせて、5階の方へ行けたら行きたいと思っていて、測定したかったのは雰囲気温度や蒸気の発生状況や線量等を測定したいと考え、当社7名で調査をしてきた。

ロボットの操作をしていたが、残念ながら QUINCE(ロボット)の通信が途絶えてしまい、現在3階にそのまま置いている。被爆線量は0.28mSvであった。再開の状況は、3階の北西側に FCS があるが、その周りで操作する可能性がある、温度も見てきたが10~15℃位であったので操作は可能である。その後、建屋5階に上がる時、壁があるので、障害物があるため、南東側からあがった。5階の状況は、上がってすぐの線量は114mSv/h 位であった。線量は200~250mSv/h位であった。温度は23℃くらいであった。

(安定化センター所長)ロボットが2号機の3階にいるという状況は、何とかしないといけないが、測定するミッションは完了した。

(1F 所長)さっきの2号機のガスについて線量が高い。気になったのは FCS スキッド周りが10~11mSv/h 位で低いと思っはいけない。意識をお願いしたい。気持ちからすると、神風特攻隊を送っている気分になる。ゼロ戦はもうない。くれぐれも意識を持ってもらいたい。本店にはどうするのか抜本的なものを考えてもらいたい。

(安定化センター)(書画で説明)明日、2号機原子炉水位計の水張りを実施する。6月に一旦水を張っていたが、蒸発をしてしまった。温度が下がったので再度トライする。前回6月22日、仮設計器を設置し水張を行ったが、D/W 温度が150℃近くあったため蒸発してしまった。今回はD/W85℃程度であろうと、考えているため水張りする。压力容器のペローシールエリアの温度が86℃ということなので、多分大丈夫だろうと水張りを行う。3.6mSv を計画線量としている。前回、ペローシールエリア温度は150℃、現在は86℃であるため蒸発はしないと考えている。

(安定化センター)今日、1号機の CS 電動弁の開閉試験を実施した。無事開閉できた。

(本店広報班)特に目立った案件はなかったが、昨日水処理設備の週報を発表したが、今後の処理水をどうするのか質問が及んでいる。地下水の流入を抑制するため、原子炉建屋と T/B を切り離すことを時期は未定だけでも、と話をしたところ、時事通信と毎日が興味を持っている。記事化するかもしれない。前回の海側シャスイヘイキの設置を今月末に行う、8月に配布した資料をもう一度配布し説明した。QA の通り回答して問題なく終わっている。

(本店■■■■部長)線量の規制については、厚生労働省と話をしている。どういう規制

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

になったとしても線量を低くしてやっていくことは、絶対大事な条件であるので、現場でもこれからの留意をお願いしたい。結果について改めて報告する。

(1F 所長)現場でもやるが、ゼロ戦も残り燃料が少ないので、その状況を踏まえてどうするのか、規制問題もあるが、人の手当についても長期的な戦略を立てなければならない。

(本店■■■部長)了解した。

(相澤本部長)経営としても重要な課題として認識している。全社的な視点から検討しているところである。解決策を相談したい。もう少しまってほしい。

(本店官庁連絡班)復旧作業とは関係ないが、各発電所に対して、ドイツの衛星が落下すること。落下の期日は恐らく21日～24日と推定しているが、保安院から我々の携帯に落下予想時刻がメールで入る。発話するので、プラントの状況、警報の有無、パラメータの変動について連絡をお願いしたい。

(本店復旧班)1F-1号機R/Bに入ってICを確認した。爆発によるものと思われるが一部保温剤が剥がれていたが、機器や配管自体が損壊破断はなかった。2A,3A弁は開状態であった。2B、3B弁は閉状態であることを確認した。そのため、報告書中身と一致していた。明日映像を公開する予定。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/21(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)本日は曇りで天気としてはすぐれなかったが、作業は進捗しました。

特筆点は2点あるが、まずは1Fから作業状況をお願いする。

(1F 所長)天候は曇りでたまに軽い雨でした。明日また雨の予定です。作業は結構あったが人身事故等はなかった。

(1F1～4号発電班)1号機は給水系から3.7m³/hで注水を行っている。RPV底部ヘッドで72.3℃、D/W圧力は18kPag、プール水温度は23℃。2号機は、CS系から6.9m³/h、給水系から3.3m³/h、合わせて10.2m³/hで注水を行っている。RPV底部ヘッド上部で80℃、D/W圧力20.6kPag、プール水温26℃。3号は、CS系から8.1m³/h、給水系から2.1m³/h、合わせて10.2m³/hで注水中。RPV下部ヘッド温度71.8℃、D/W圧力0.2kPag、プールは2℃。1～3号温度関係は安定している。4号は、プール水温33℃、共用プール水温27.5℃。

(1F5, 6号発電班)先日の5号機に続いて本日は6号機の海水ポンプのポンプ室の点検を行っている。その関係でRHRS等を停止して、そのためSHCも停止している。全てのポンプが再起動しているが、SHCについては約6時間半停止して8℃の上昇、プール水温度は7時間海水ポンプを停止し1.5℃上昇、いずれも想定内だった。温度は下降気味だが引き続き監視する。再起動後、RHRSの流量が215程度と低めで推移しているので、引き続き監視していく。

(1F1～4号復旧班)滞留水の移送は順調に継続。2号T/Bからプロセス建屋へポンプ2台、3号T/BからHTIへポンプ1台で移送中。水処理も順調で、サリー、キュリオンは運転継続で、17時現在でサリーが25.1m³/h、キュリオンが16.8m³/hで運転している。アレバは待機停止中で継続、ROも運転している。本日、キュリオンHベッセル2塔交換しており、明日はキュリオンのAGHベッセル2塔の交換を予定している。水位の方だが、2号は32～36mm程度下降しており、T/Bで3011という状態。3号機については、トレンチが3mm、T/Bが8mm下降しており、トレンチが3218という状態。4号は4mm下降し、3021という状態。1号のR/Bについては4mm下降し、4356になっている。受け入れ側のラドだが、プロセスは90mm。上昇でOP2825、HTIで11mm下降で2428という状態。本日、炉注、SFPについては作業なし。2号の原子炉水位計の水張り作業が本日、高線量作業として行われ、センターさんから結果が出ると思うが、線量については計画3.6mSvに対して、最大で2.6mSvとなっている。電源関係で、本日、所内共通M/C 1A電源車を接続して充電している。明日1号T/Bから2号T/Bへ移送を開始する。5日間の予定。従って1号T/B松の廊下の線量上がるので注意していきたい。

(1F5, 6号復旧班)本日、6号機取水路の補機ポンプ室の水中カメラ点検を実施した。その結果、ポンプ室の底面に約200mm程度の砂と思われる物が堆積していた。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

特に問題となるような異物はなかった。またポンプに本体にも特に異常はなかった。今後、海水ポンプの流量低下の原因追及については、ポンプを吊り上げての点検等の再検討を実施したいと考えている。明日の作業だが、滞留水関係では、浄化水の散水として西門と企業棟周辺を予定している。滞留水移送関係では、6号 T/B から仮設タンクへの移送を10時から16時を予定している。

(1F 土木班)汚染水処理タンク設置ですが、G・Hエリアでタンクの組み立て等を継続実施中。明日も継続実施予定。無人化によるガラ撤去は、本日1・2号機開閉所付近を実施し、コンテナ2個分のガラを撤去している。明日は3号機のCSTまわりを実施する予定。集塵機によるダスト・ガレキの集塵は、本日1・2号機の海側を実施しており、明日免震棟まわりの所を実施する予定。

(1F 建築班)1号カバーリング関係は、物揚場周辺で吊り治具・固体の解体を行っている。またメーカー側で排気フィルタユニットの試運転、SFP配管の接続作業を継続的に行っている。3号ガレキ撤去関係は、南側ヤードで継続で路盤整備、T/B 東側ヤードで建屋解体、R/B 西側で崩落場所の解体、ガレキの移動、本日 R/B 北側で重機の据え付けを行った。4号ガレキ撤去関係は、仮設電源の引きまわしと、1号の作業に伴うMステージの操作を行っている。また明日このMステージについては4号側に戻す予定。スラッジ貯槽については、スラッジ棟でPC 建方、足場組み立て、設備棟で柱脚部のベースモルタルを継続で行っている。ガレキ収集については夜間にて3号周辺のガレキの運搬、積み込みを行っている。週末は土日も継続して全ての作業を実施する予定。

(安定化センター)2点ほど補足。1号の T/B の滞留水を2号に移すのは5日間と話したが、その概要の説明をお願いしたい。

(安定化C滞留水移送G) (書面にて説明)シミュレーションを用いて明日から行う1号T/Bから2号T/Bへの滞留水の移送について説明する。水位としては、10/18～19に水処理全停止があり、その後20日に移送を再開している。2号は2台、3号は1台で移送を継続実施中。明日10/22に、1号T/Bから2号T/Bに移送を開始する。2号・3号は約3000で落ち着いているが、1号が OP4900ということで、高めに安定しており、移送を行うもの。移送期間としては、10/22～10/28の約7日間予定している。先ほど5日間とありましたが、その間10/24～25の間、電源停止の作業があり、ちょうど作業エリアが滞留水移送のエリア近傍で行う関係から、24日午後から25日にかけて1号から2号への移送を停止する。その関係で実質は約5日間を想定している。今、2号機は2台だが、想定としては1号から送ることにより、2号は一旦上がり、その後、電源停止の作業のため移送を停止するため、一旦下がり、再度移送を開始したらまた上がることになる。プロセス建屋の水位がどんどん上がる。だいたい4300くらいまで上昇する予定。この1号からの移送が終了したら、2号のポンプを1台に減らし、HTI に切り替え、プロセス建屋の水位を下げる操作を行いたい。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

1号T/Bから2号 T/B への操作は初めて水位の変化を見ながら今後のスケジュールを決めていきたいと思う。

(安定化センター)全体のバランスを見て運用していきたいので宜しく。

(安定化 C 計装設備 G) (書面にて説明) 2号機原子炉水位計の水張り作業について報告する。作業としては、6月にも一度水位計の水張りを実施したが、格納容器の中の計装配管から蒸発したということで、再度本日、格納容器の雰囲気温度が下がってきたということで水を張ったもの。実績としては11:20~11:52の約30分、当社社員4名で実施した。線量は計画3.6に対し、最大で2.67という線量だった。L側(基準面側)については指示値は安定し水が張れ、こちらの圧力から原子炉圧力が、水の水頭差を引くと計算できるが、こちらについては計測できるようになると考えている。まだ水の温度等が安定するまで1日程度様子を見るつもりだが、参考値としては21kPagということで、今まで監視していた値とほぼ同様だった。水張り直後の差圧としては、オーバースケールという値が出ており、原子炉水位は計装配管レベル以下と推定。水位としてはTAFマイナス5299mm以下と、6月の時点が変わっていないという結果。H側については水を張った後、配管の圧力が少しずつ低下する傾向が見られた。こちらについては、配管の周囲温度が飽和温度以上である可能性が高いと考えている。計装配管近傍についている温度計(逃がし安全弁漏えい検出温度)があり、少しずつ下がっては来ているがまだ100℃以上で飽和温度以上ということになる。こちらの配管については、まだ周囲温度が飽和温度以下になっていないということで蒸発したと推定している。まとめだが、L側(基準面側)については蒸発はないと考えており、原子炉圧力については、安定的な監視ができると考えている。H側については、まだ飽和温度以上にあるため、温度監視を継続していきたい。

(安定化センター)トライして分かったこともあると思う。温度分布をよく見ていく必要があると思う。

(本店広報班)午前中は11時から11時55分、1時間弱の会見だった。内容は今ご説明いただいた、水位計の水張り作業、2号機の格納容器ガス監理システムの工事の説明、2号機の昨日入りましたクインスによる雰囲気線量等の測定結果を説明している。あわせて、ご遺族からご了解をいただいたということで、10/6にお亡くなりになられた方の死因の公表をしている。死因としては、後腹膜膿瘍による敗血症性ショックと説明している。午前中は、亡くなられた方、クインスの結果の質問がきていたが特段厳しい質問は無かった。午後は18時から、今、会見が行われており、引き続きクインスの説明しており、動画をお出しする予定になっている。あとは、10/18に調査が行われた1号機の非常用復水器 IC の状況と配管、弁の健全性の確認結果を説明している。今回の調査の結果、IC 本体または主要な配管や弁に関して爆発によると思われる保温材等の脱落はあったが、配管の破断やフランジ部からのリーク、弁の脱落等の損傷は認められなかった。その結果、原子炉の冷却の喪失に

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

至るような損傷はなかったということを丁寧に説明している状況。もう一点は、福島第一の発電所内に設置している地震計の分析結果を説明する予定。これまで3月15日の6時過ぎ、2号機で異音・衝撃音、4号機で爆発の発生と説明されているが、実際の分析結果から何が言えるかということを説明する予定。結果としては振動のものは2号機ではなく4号機の爆発だったと推定されると説明する予定。

(安定化センター)土日も継続して作業されるということで、安全を最大限に確保するように、また作業を継続してまいりたい。関係の方のご協力、作業される方は大変ご苦勞ですが、よろしくお願ひ致します。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/22(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 本日は、朝方、結構強い雨でありました。途中で少し小やみになりましたが、天候としてはあまり良くない一日でした。作業的には、土曜日ということもあり、かなり少なめの作業でありました。

(1F 所長) 午前中は雨で、午後から曇りでした。ケガ人等はありませんでした。気になるのは、昨日の夜ですが、協力企業さんの車が黒毛和牛にぶつかって人身事故はなかったのですが、車が大破するという状況で、牛対策に気をつけなければいけないと思います。今日、雨が降りましたので、建屋の漏洩点検に行ってもらったが、ラド建屋からの雨水の漏洩が結構あって、それが滞留水の増加に効いているなというところで、写真がまだ整理できていけませんので、明日写真で説明したいと思います。水関係ですと、1号機の建屋カバーができて、水位が上がらないだろうと喜んでいたら、以外と水位が上がってしまっていて、これはトレンドを見なければいけないのですが、今までの原子炉建屋の水位上昇よりも逆に多い位の感じで水位が上がっているという不思議な現象があります。漏洩のルートパスをもう一度確認しなければと考えています。もう一つ気になるのが、4号機の建屋の北側の壁ですが、変形量がかなり増えてきたような感じで、毎日見ていると分かりませんが、たまに見るとかなり落ちてきそうな危険度がありますので、検討する必要がある、建築に検討を依頼しています。

(1F 発電班) 1号機は給水系から3.6m³/h で注水中です。RPV 底部ヘッドで72.1℃、D/W 圧力は19kPagage、プール水温度は24℃で安定状態です。2号機は、CS系から7.0m³/h、給水系から3.0m³/h、合わせて10.0m³/h で注水中で。RPV 底部ヘッド上部で80℃です。D/W 圧力は22.5kPagage、プール水温は27℃で安定状態です。なお、原子炉圧力の検出に関する情報ですが、昨日、安定化 C から紹介がありましたが、原子炉水位計に昨日水を張ったということで、検出ライン、当該ラインを利用して、原子炉圧力を計測しています。結果として、当該ラインに6m分の水の水圧がプラスになりました。圧力を出すにはその水頭分を引かないといけないことになります。本日17時から安定化 C さんから連絡いただいた計算式に変更しています。結果として、計算式を用いた前後で原子炉圧力の値は変わっていません。3号機は、CS系から8.1m³/h、給水系から2.1m³/h、合わせて10.2m³/h で注水を行っています。RPV 下部ヘッド温度は71.8℃です。D/W 圧力は0.2kPagage、プール水温は26℃です。4号のプール水温は33℃、共用プールの水温は27.5℃です。5,6号の状態ですが、原子炉、プールの冷却は順調に行われています。6号機の残留熱除去系の海水ポンプの流量、補助海水ポンプの圧力等、朝の時点から変化なく安定しています。

(1F1～4号復旧班) 水移送は順調に継続しています。2号からプロセス建屋へは2

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

台、3号からHTI建屋へは1台という状態です。10:35 から1号 T/B から2号 T/B への移送を開始しています。昨晚の全体会議では、この移送は28日までという予定でということでお伝えしましたが、思ったよりも順調に抜けていまして、明日の夕方、もしくは明後日の朝方に停止する方向で水位を監視しながら決めていきたいと思っています。水処理も継続で順調です。17 時現在で SARRY が24. 5m³/h、KURION が80gpm で18. 2m³/h で処理しています。AREVA は停止中です。ROも運転しています。本日、KURION の AGH ベッセル2塔の交換を実施しました。KURION と SARRY の流量調整も実施しています。明日、KURION の H ベッセル2塔、ならびに SARRY のベッセル2塔の交換を予定しています。水位関係ですが、雨の影響が出ています。2号機は今朝から6mm～7mm の下降に鈍っていきまして、T/B で OP2953 という状態です。3号機は、上昇に転じていまして、立坑、T/Bともに3mmの上昇で、トレンチが OP3216 という状態です。4号は変化無しで、OP3014 という状態です。1号のR/B ですが、今朝から 54mm 上昇して OP4410 になっています。累積の雨量が、この時間間の間の累積雨量ですが、浪江の値で 25mm というので、累積雨量に対して R/B の上がり方が過去よりも高いということで、サイトで気が付いたところで、今後引き続き観察していきたいと思えます。その他の作業ですが、本日、PCV ガス管理システムは、1号と2号のケーブルの作業がありましたが、1号については、T/B 側の作業が先程の1号の移送に合わせて多少線量が上がったということで一部の作業を中止しています。明日は、1号機の直営操作のみありますが、被ばく的に問題ないと考えています。計装関係で3号の RPV の TE、7点ほど TDR ならびに直流抵抗測定をしていまして、これで全てが完了ということになります。

(1F5, 6号復旧班) 滞留水関係の明日の作業ですが、浄化水の散水のみ行います。北門の周辺で行います。

(1F 土木班) 汚染水処理タンクの設置ですが、G・Hエリア、継続実施しています。本日、雨のため盛り土等、(聞き取れず) 関係は中止しています。雨の状況を見ながらタンクの組み立て、資材の荷下ろし等を実施しました。明日は休工です。無人化によるガラ撤去、集塵機によるダスト・ガレキの集塵は、本日雨ということで機器のメンテナンスのみ実施しました。明日は休工です。

(1F 建築班) R/B カバーについては、クレーンの解体準備、物揚場の架台解体、資材片づけ等、行いました。明日も継続になります。設備につきましては、SFP の配管、廃棄設備の試運転を行っています。設備については明日休工です。3号上部ガレキ撤去は、排気ダクト、崩落柱等の解体、路盤整備を行いました。明日も継続です。4号については、路盤整備を行いました。明日は休工です。スラッジについては、スラッジ棟の壁のコンクリート打ちを行いました。明日は、壁柱 PC の建方を行います。

(1F 保安班) 本日、5, 6号機側の北放水口付近の海水サンプリングの結果ですが、高めの放射能レベルで検出されています。念のために、午後にもサンプリングしました

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班が、同程度のレベルで検出されています。推定原因としては、取水口と物場場の放射能レベルに有為な変動がなかったことと、通常よりも波が高かったがその状態でサンプリングしたことを考慮して、海の中に沈積していたシルト等の舞い上がりによって今回高めの放射能レベルが検出されたと考えています。今後も監視を継続していきます。

(安定化 C 所長)先程の水の雨水の話については、状況をまた教えてもらった上で、安定化 C も含めて相談していきたいと思います。

(本店広報班)会見の状況についてお知らせします。今日は東電単独で午前中 11 時と今 18 時からやっています。11 時については、1 号運転操作手順書の適用状況に関する報告ということで、昨晚の報告したものについて説明しています。その他、3 号機器ハッチの映像、2 号の原子炉水位水張りの実績ということで案内しています。会見時間は 50 分程、質疑は操作手順書の内容についてということで、質疑の対象になっていました。夕方は、通常の海水分析に加えて、先般、1F の現場の方で車で廻った際に撮った映像、水処理設備に関する写真集ということで、本日も目に見える形で資料を提供しています。

(安定化 C 所長)本日、いわきで、先日報告した中期的安全確保に関する意見聴取会が開かれていますが、まだ終了したという情報はこちらに入っていないので、まだ続いていると思います。午前、午後ともにやっています。明日は、専門家の方々が 1F の視察に午前、午後入るといって段取りをしています、状況が分かりましたら明日でも速報させていただきます。

(1F 所長)テレビでスペインの皇太子賞を自衛隊の方等、受けている写真が随分流されています。これについて、事故当初、対応した 250mSv を越える被ばくをしたり、それに近い被ばくをした、現場で頑張った作業員がここにもいます。安定化 C にもいます。本店にも行っています。そういう人に対して、この件について見解もしくはご意見をいただければと思っています。

(西澤社長)スペインの皇太子賞のお話がありました。地元の状況もありますので出席ということはいたしませんでした、そういう皇太子賞、これは東京電力だけではなく、福島事故の対応に関わっていただいた自衛隊とか消防を含めて、もちろん 1F、安定化 C を含めて、みんなでいただいたという賞ですので、その賞についてはきちっと受け止めさせていただいたという形で考えています。極めて名誉なことというふうに私は思っていますし、1F、安定化 C で頑張っていた方にあらためて謝意を申し上げたいと思います。

(安定化 C 所長)先日、2 日前くらいに、本店から話がありましたが、ドイツの衛星が今落下するかもしれないという話がありましたが、聞くところによると、明日くらいが落下しそうだという話がありますので、発話がありましたら各発電所さんの状況についてのコールバックということ、明日くらいになりそうだということですが、そういう理解

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

でよろしいでしょうか。

(本店官庁連絡班)最新の情報によりますと、明日の 9 時から10時の間で大気圏に再突入という情報がありますので、明日の午前中にそちらの方で対応していきたいと考えています。

(安定化 C 所長)各所の認識をお願いします。統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/23(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)本日の天候は曇り、時々晴れ。気温は高め。作業は少なめであった。

昨日の中期的安全確保に関する意見聴取会の専門家の皆様が午前・午後と1Fを視察されました。対応された方お疲れ様でした。

(1F 所長)本日は暑かった。熱中症の疑いがある方もおりました。昨日お話ししたRW/B雨漏りの状況について、資料がまとまったので後ほど紹介します。

(1F 発電班)プラント状況を報告します。

1号機の炉注水量は3.5m³/h、RPV底部ヘッド温度は72.6℃、D/W圧力は19kPag、SFP温度は25℃です。2号機の炉注水量は、CS系から7.0m³/h、給水系から3.1m³/hで計10.1m³/hとなっております。RPV底部ヘッド温度は79.8℃、D/W圧力は22.7kPag、SFP温度は28℃です。3号機の炉注水量はCS系から8.1m³/h、給水系から2.1m³/h、計10.2m³/hとなっております。RPV下部ヘッド温度は71.8℃、D/W圧力は0.2kPag、SFP温度は27℃です。4号機のSFP温度は35℃、共用プール温度は30.3℃です。

プール温度は冷却方式が空冷のため、外気温の影響で若干上昇したものと考えられます。

56号機については、原子炉冷却、SFP冷却とも順調に実施している。

(1～4号機・復旧班)水移送は順調に継続しております。1号機のT/Bから2号機のT/Bへの移送ですが、昨日7時 T/B抜管エリアOP4894に対し本日16時ではOP4277と617mm下降しております。この結果より、明日、移送を停止し、フラッシングを実施する予定です。

2号機からプロセス建屋への移送ですが、現在ポンプ2台運転しておりますが1台運転に変更いたします。

水処理装置も順調に稼働し、17時現在でサリーは28m³/h、キュリオンは18m³/hで運転しております。

RO装置も順調に稼働しております。

アレバ装置は待機状態です。

本日キュリオンのHベッセル2塔を交換、サリーもベッセル2塔を交換しております。

サリーについては、8:31～10:29停止しておりましたが、再起動しております。明日はベッセル交換の予定はありません。

建屋水位については、下がり傾向は弱いものの、2号機では4～5mmの下降、3号機では3～6mmの下降、4号機では6mmの下降を確認しております。また、1号機R/Bでは8mm下降しております。

プロセス建屋では108mm上昇し3255、HTI建屋では142mm上昇し2559となっております。

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

本日の作業といたしましては、1号機PCVガス管理システムでR/B内で空調ダクト内の水抜き作業、高線量作業を実施してまいりましたが、無事終了しております。

明日の作業ですが、共通メタクラ1A並びに56号の連系線の受電が10:30より予定しております。

新規作業として、サブドレンの浄化装置の設置及び試験として、2号機と4号機のサブドレンに装置を設置しまして、運転を行います。

(1F 所長)書画にかえる間に補足しておきます。1号機原子炉建屋の水位ですが、昨日の雨で91mm上昇、本日は低下傾向となっておりますが、サブドレンからの回り込みの可能性があるが、これから評価していかないといけないと考えている。

《RW/B雨漏りの説明:概要》(書画で説明:建屋内外部の写真で説明)

原子炉建屋水素爆発による影響で1~3号機RW/B天井部に損壊が確認できた。

1~3号機のRW/B天井部及び壁面に開口部が確認され、雨天時にはその開口部より雨水が浸入し、滞留水となることが考えられる。4号機については、天井に開口部は見あたらないが、R/B壁がRW/B天井に崩落寸前の状況。

(56号機復旧班)明日、浄化水の散水を土捨て場の北側周辺で実施する予定です。滞留水については、仮設タンクからメガフロートに移送を予定しております。

(1F 土木班)主要工事は休工。本日構内の道路整備を実施しております。明日から通常作業となります。汚染水タンクをG、Hエリアに設置を継続実施。無人機によるガラ撤去を3号機で実施予定。

(1F 建築班)1号機カバーリング工事でクレーン解体準備し、明日解体します。物揚場架台解体を今日、明日継続で実施します。SFP注入設備動作確認、注入試験を実施します。

(1F 保安班)昨日56号放水口北側からサンプリングした海水の放射能濃度が通常より高めの報告をしましたが、本日のサンプリング結果より通常レベルに下がっておりますので報告いたします。

(安定化C 所長)RW/B天井開口の対策・検討については、1Fと共同で実施していくことにしたい。

(1F 広報班)本日の会見は11時と18時に実施。午前の会見は休日ということもあり規模を縮小し実施した。内容としては朝日新聞の一面記事について質問があった。記事の内容については、2006年の1F1~6号機電源強化対策に関することが記載され、専門家はこの対策を実施していれば今回の事故は防げたのではないかとといった意見が記載されていた。当社としては、アイデアとしてはあがっていたが会社として意思決定した事実はないというスタンス。

(安定化C 所長)朝日新聞の件ですが、津波の程度等もあり、対策を実施したことで事故が防げたかどうか正確なところは分からないので、憶測で意見するものではないと考える。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化C 所長)明日は本日より気温が10℃ぐらい下がるということで体調管理に気をつけていただきたい。それでは本日の全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/24(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長)本日は雨模様というか、曇り～霧雨の状況で天候には恵まれません。月曜日ということでかなりの作業が行われた。補足の内容としては、水処理関係で、RO No.2 のポンプグランド部から少し飛散しているのでその対応を行っています。

(1F 所長)本日は基本的には雨でぐずついた状況でした。結構作業がありましたが、発電所内での人身事故はありませんでした。ただし、午前中に通勤途中の作業員の方が、車で6号線を走っているときにまた牛にぶつかり、作業員さんはむち打ち見たいな状況で、一旦自宅に帰り、明日病院に行かれるそうです。牛問題が多く発生しています。その他、油もれや炉注水の給水系・CS系のバランスが見えなくなったことがあります。

(1F 発電)1号機は給水系から3.6m³/hで炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド温度は71.8℃、D/W 圧力は19kPa_{gage}、SFP 温度は25℃です。2号機はCS系7.2m³/h、給水系3.1m³/hあわせて10.3m³/hで炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部温度は79.5℃、D/W 圧力は22.2kPa_{gage}、SFP 温度は29℃です。3号機 CS系8.0m³/h、給水系2.0m³/hあわせて10.0m³/hで炉注水を行っており、RPV 下部ヘッド温度は72.1℃、D/W 圧力は0.2kPa_{gage}、SFP 温度は27℃です。4号機のSFP 温度は36℃、共用プール水温度は30.0℃です。

5, 6号機は原子炉・SFPともに23～26℃で安定した冷却を継続しています。

本日、水処理設備の電源強化ということで、5号機 M/C(A)から所内共通 M/C1Aに電源の供給を開始しています。

(1F1～4号復旧)水移送を継続しています。1号から2号へのタービン建屋間の水移送について、9:07に停止し、午後フラッシングを実施しました。ただし、1号機タービン建屋抜管エリアの水位が再び上昇してきたため、明日午後に再開する予定です。

2号機からプロセス建屋への移送について、ポンプ2台による移送から1台に変更しています。3号機からHTI 建屋への移送はポンプ1台で継続しています。

水処理は継続中であり、17時現在でサリーは28.1m³/h、キュリオンは17.7m³/hです。

RO No.2-1 に水を送っているポンプのグランドでリークがあり、11:33にRO 装置を停止していますが、午後にRO No.2-2、No.3-1 で運転を再開しています。アレバは待機停止中です。本日・明日ともにベッセル交換はありません。

共通 M/C1A と M/C5A の受電を完了し、明日 P/C2C の切替を予定しています。

先ほどの2, 3号機のCS系・給水系からの炉注水流量を監視するWebカメラが不調について、現在、注水冷却グループで対応しています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

トランスの油を受けている仮設タンク付近での油の発見について、PCB サンプルングを実施するとともに、油の状況のチェックを定期的に行っていきます。ピット内から水が入っているため、この水の移送を検討しています。

(1F5, 6号復旧) 滞留水関係では、明日、浄化水の散水を土捨て場の東側周辺で予定しています。滞留水の移送関係では、仮設タンクからメガフロートおよび6号機 HPCS D/G 室トレンチからタービン建屋への移送を行う予定です。

(1F 土木) タンク関係では、G エリアにて盛り土関係、H エリアにてタンクの組み立て工事を継続しています。ガラ関係では、無人重機によるガラ撤去を3号機 CST 周りにおいてガラの集積を行っています。本日のコンテナは0個です。明日も引き続き3号機 CST 付近でガラの集積を行う予定です。ダスト小ガレキの集塵関係では、本日、作業ありませんでしたが、明日、免震棟前の道路において集塵作業を行う予定です。水処理制御室北側での伐採工事を引き続き実施しています。

(1F 建築) 1号機建屋カバーリング工事について、750t クローラークレーンの解体、架台の解体、資機材の片づけを物揚場で行っています。メーカーさんの工事で、SFP 注入設備の動作確認を行いました。明日は建築関係の作業を継続で行います。3号機 R/B 上部のガレキ撤去工事について、廃棄ダクトの解体、西側の崩落柱の上部解体、南側ヤードの路盤整理を行いました。明日も同様の作業を継続で実施します。4号機 R/B 上部のガレキ撤去工事について、監視カメラの設置、750t クレーンの組み立てヤードの整備を行いました。明日も継続で実施します。滞留水関係のスラッジ貯槽について、スラッジ棟では壁柱の PC の建方を継続で実施しています。設備棟の方では、本日より鉄骨ユニットの建方を始めています。明日も継続します。

(安定化C所長) 明日の作業では、1号機 R/B の機器ハッチ、2号機 R/B のブローアウトパネルにてダストの採取等を予定しています。天候にもよりますが、1号機はカバーの中なので問題ないと思います。

確認ですが、Jビレッジ・2F から来る人と作業で入る人の(免震棟の)入り口が変わるのは明日からですか? → (1F 所長) 本日の24時からです。

(安定化 C 所長) 作業関係で 1F に行く方、視察等でも入り口が変わるのでよろしく願います。

水処理関係のポンプのグラント部からのリークについて説明願います。

(安定化 C 水処理PJ) キュリオン・サリーで処理した水には塩分が含まれており、RO ユニット(逆浸透膜装置)を使って塩分を除去しています。この装置は、入り口のフィルターでゴミを除去した後に各スキッドに水を流すようになっています。本日は RO ユニット 2 を運転しておりましたが、スキッド1に流す原水ポンプのグラント部にリークがあったため、RO ユニット全体を停止して状況を確認しました。このポンプは小型のため、グラントの分解点検を行ってパッキン交換を行うよりポンプごと交換の方が良いということで、ポンプの手配をかけており、準備が整い次第交換を行います。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

今現在、RO2のスキッド2とRO3のスキッド1を運転しており、水処理の容量的には問題ありません。

(本店広報)本日のプレスへの説明状況について、11時に当社単独の会見、16時半に統合会見を行っています。11時の会見は短時間で終わっており、水中カメラによる5、6号機取水口点検結果について説明しました。質問事項は、取水口を撮影した経緯についていくつか質問がありました。海水の温度低下が進んだこと、原子炉が安定冷却できるようになった(聞き取れず)ことが背景との説明です。統合会見16時半から行っており、最初の部分は保安院の方で事故時運転操作手順書について(聞き取れず)、当社の見解についてそれぞれ質問されている。なくなった方の話とか、繰り返し質問されている状況です。本日は統合会見のため、今しばらく続く状況です。

(安定化C所長)以上で全体会議を終了します。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/25(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■) 本日も引き続き様々な作業が行われました。所内電源強化工事、格納容器ガス管理システムの準備工事、1, 2号機 R/B ダスト採取、ヤードのタンク工事等です。明日は高線量作業が予定されており、その準備工事等も進めています。大きなトラブルもけがなく、予定通り進捗しました。皆様ありがとうございました。(1F 所長) かなり作業ありましたが、人身事故はありませんでした。

(1F 発電班) 1号機は14:22に炉注水流量を3.4m³/hから3.8m³/hに変更しました。先ほど17:48に流量低警報が発生し、現在は3.0m³/hまで流量が低下しています。これから3.8m³/hに再度調整します。RPV 底部ヘッド温度は71.5℃、D/W 圧力は19kPa_{gage}、SFP 温度は25℃で安定しています。

2号機はCS系7.6m³/h、給水系2.8m³/h合計10.4m³/hで炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド上部温度は78.5℃、D/W 圧力は22.3kPa_{gage}、SFP 温度は29℃です。

3号機はCS系8.1m³/h、給水系から2.0m³/h合計10.1m³/hで炉注水を行っており、RPV 下部ヘッド温度は71.6℃、D/W 圧力は0.2kPa_{gage}、SFP 温度は27℃です。

4号機のSFP 温度は35℃、共用プール温度は29.7℃、5, 6号機は原子炉・SFP 温度ともに23～26℃で冷却を継続しています。

(1F1～4号復旧班) 1号機の炉注水量が3.0m³/hまで下がったため、3.8m³/hまでの上げ操作を実施する予定です。2号機の炉注水について、給水系からの流量が2.7m³/hまで下がったため、3.0m³/hまで調整します。1号機炉注水量が3.0m³/hまで下がった件は、N₂バブリング No.2を起動したこともあるので、安定化Cと確認しながら作業を行います。

水移送について、2号機タービン建屋からプロセス建屋にポンプ1台で運転を継続しています。3号機タービン建屋からHTI 建屋へ移送を継続しています。

水位について、1号機タービン建屋は21mm上昇です。2号機は6～13mmの下降です。3号機は4～5mm下降です。4号機は1mm上昇です。受け入れの集中ラドについて、プロセス建屋で26mm上昇してOP3531mm、HTI 建屋で22mm下降してOP2401mmです。

1号機から2号機へタービン滞留水の移送を17:31から実施しています。

水処理設備について、キュリオン・サリーは順調に運転しています。明日、H ベッセル2塔交換予定です。

電源関係の作業について、P/C2C の電源切替が終了しています。明日もNo.7トランス盤の電源切替を実施する予定で、これにともなって炉注水ポンプの電源がとりまです。明日の作業については3号機流量調整弁の取替を予定していますが、9時からD/G側に切り替えて対応する予定です。

各建屋開口部の閉塞作業を実施してきましたが、本日でほぼ終了しました。明日、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

若干の手直しと圧力確認を実施する予定です。

明日の予定は、1号機 PCV ガス管理システムにおいて、先日切断した CCS 配管の一部を切断する予定です。2号機 PCV ガス管理システムについては、N₂ 封入して H₂ パージを行う予定です。3号機高台炉注水ポンプの流量調整弁を対説作業を D/G 側に切り替えて実施する予定です。野鳥の森の油タンクの水と油の浮遊について、消防と相奴振興局に説明を実施しています。消防のコメントは、油もれ箇所の特定ともれが止まっているのか継続しているのか早急に確認して連絡してほしいとのこと。相奴振興局のコメントは、油の分析を行って速やかに連絡をいただきたいとのこと。

(1F5, 6号復旧班) 滞留水関係について、仮設タンクからメガフロートへの移送を本日 10:00~11:30 に実施しました。タービン建屋から仮設タンクへの移送は実施していません。ひまわりによる散水は、土捨場東側 F エリアにて 9:00~10:15 に実施しました。明日は、仮設タンクからメガフロートへの移送は予定していません。タービン建屋地下から仮設タンクへの移送を 10時から16時に実施予定です。ひまわりも明日 G エリアにて実施予定です。

(1F 土木班) タンク関係について、盛土工事は本日天候の関係により中止で、明日盛土工事を実施する予定です。H エリアで本日に引き続き明日もタンクの組み立てを実施予定です。がら撤去関係について、無人重機により3号機 CST 周辺にてコンテナ1個分のガラ撤去を実施しています。明日も引き続き3号機 CST 付近で実施予定です。ダスト小ガレキの集塵について、本日、事務本館脇の道路にて集塵作業を実施しました。明日も同じ場所で集塵作業実施予定です。水処理制御室北側の敷地において伐採作業を実施しています。明日も行います。

(1F 建築班) 1号機 R/B カバーリング工事について、750t クレーンの解体、物揚場で架台の解体と片づけを行っています。明日も継続します。3号機上部ガレキ撤去工事について、タービン側の排気ダクトの解体、西側の崩落柱の解体、南側の路盤整備を実施しています。海側で砲台の運搬用のスイッチバックエリアで小物の建物の解体を行っています。明日も継続して行います。4号機上部ガレキ撤去工事について、解体を監視するカメラを排気筒に設置しています。1号機で解体した 750t クレーンを4号機で使用するため、西側で 750t クローラ組み立てヤードの整備を行っています。明日も継続して行います。スラッジ貯蔵施設建築工事について、スラッジ棟の壁と柱の PC 建方と足場の組み立て、設備棟では鉄骨の建方を行っています。明日も継続で行います。

(1F 所長) 明日は、R/B 内の高線量下の作業が多いので要注意です。

(安定化 C 所長) 明日予定している高線量作業の概略説明をします。

(安定化 C ■■■) 2号機の PCV ガス管理システムをつなぐにあたって、一部水素が確認されたということで、インサービス前にパージするための手順を明日実施する予

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

定です。作業内容については、PCV ガス管理システムのライン(緑)はすでに設置しており、バルブの開閉状態は今の状態となっており、ガス管理システム側は 37、38、39 のバルブが開いています。ガス管理システムのタービン建屋側から N2 ポンペを使って O2 を追い出して、N2 リッチの状態を作る。37 弁、39 弁にて O2 濃度計で十分に O2 が追い出された状態を作ります。先日は 502B のところで H2 濃度 6.5%が確認されています。パージをした後に最終的に建屋の外に H2 を追い出すために、FCS 系の1階フロアに 505B ドレン弁があり、この先に1号機の時と同じ手順で、静電気防止ホースをつないで、その先に着火防止器(フレームアレスタ)をつないだホースを外の方につなぎます。MO-002B(3階フロアにあり、クインスの調査では券囲気線量は 15mSv/h 前後)のバルブを開けて、熱交室にある 505B の2カ所のバルブを開けて N2 で追い出して最終的に屋外に放出します。この作業を明日午前中11時くらいに着手して2、3時間の作業を行い、ブルーの中の H2 を系外に出す計画をしています。H2 をパージできれば、505B、2 弁を閉めてもとの状態に戻し、最終的に今週末に計画しているガス管理システムのインサービスに向けた作業に進めていこうと考えています。

(安定化 C ■■■) 2号機パージについては、すでに配管をつないだが試運転に入る前に今の手順で N2 により残っているかもしれない H2 を追い出すということですね。試運転とインサービスのスケジュールを報告してください。

(安定化 C ■■■) 水曜日にパージを行い、木曜日に単品の試運転関係、金曜日に全体システムを使った試運転、そのまま PCV からガスを抽気し、処理をして外に出すスケジュールで考えています。

(安定化 C ■■■) 続いて、もう一つの高線量作業を説明願います。

(安定化 C ■■■) 1号機も R/B 内の作業となります。CCS 系のラインに格納容器ガス管理システムをつなぐために配管を切って仮養生をしている状態となっています。将来的にガス管理システムとの取り合いとなり、MO-11、12 を開けてガスを引っ張るライン構成となっていますが、この途中に SHC 系に行く分岐ラインがあり、12 弁から外側に約 2m 行ったところに1カ所あります。この先も当然ハイスポットになっており、高濃度の水素が滞留していると考えており、そのままにしているとガス管理システムをインサービスしたときに、H2 を巻き込む可能性があります。このため縁を切るために配管を切断してしきり盤を入れる作業を明日計画しています。パージだけではなく、切断・閉止溶接作業があり、複雑な作業ステップを考えている。ライン構成は、仮設の閉止キャップのところから N2 を押し込んで、12 弁と 84 弁を開けて N2 で H2 (ほとんどないと思うが) を系外に押し出します。1カ所の T 図のところで H2 濃度を測って 2%未満であることを一旦確認して作業を進めます。その後切りたい所の T 図の母管に2カ所穴を開け、穴の中に2本のノズルを入れて、1本は N2 を入れるため、もう1本は出てくるガスの H2 濃度を測るためです。開けてノズルを入れた後はゴム栓

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

で系外に出ないように施行をします。この状態で、この真ん中あたりを切断します。N2 を入れ H2 濃度を監視しながら切断が終われば、切断面をテープで養生し、上に2カ所穴を開けます。その後テープをはずして隙間の所に鉄板を一枚入れて溶接します。溶接の際は N2 を入れながら H2 濃度を監視して2%未満を維持します。先ほどの2カ所穴を開けた所に N2 を入れて H2 を出すラインを構成します。この後上側の溶接作業を行います。上側溶接も熱が入りますので同様に雰囲気の不活性にする必要があります、N2 を入れながら常に H2 濃度が 2%未満であることを監視しながら溶接作業を行います。最終的に2カ所穴が開きますので、ニップルを2カ所溶接します。この際も同じように N2 を入れながら H2 濃度を監視します。この後は熱を入れる作業はないため、ニップルのついたところにシールテープを巻いてプラグを機械的に据え付けます。下側のプラグについても、ここで完全に縁切りになりますので、閉止のプラグを入れて溶接で巻くという作業により、SHC ラインと抽気のラインの縁を切る作業を明日1日行いたいと考えています。

(安定化 C ■■■) 1, 2号機両方で線量が高くかつ H2 をパージする細心の注意を要する作業がありますが、落ち着いてコミュニケーションよく作業を進めていただきたい。

(1F 所長) モックアップをやったのですか？

(安定化 C ■■■) モックアップというところまではやっていません。手順の確認だけで作業を進めたいと考えています。横穴を開けてパージ用のノズルとか H2 用のノズルが入るかという作業は別にやっています。

(1F 所長) 気になるのは、溶接の手順と平板に隅肉溶接がうまくできるかということ。下を溶接すると平板がゆがんで、上がきれいに溶接できるかが懸念される。そのモックアップはやっていないのでしょうか？

(安定化 C ■■■) 溶接を巻くまではやっていません。切ってしまうと上の配管が下がってくると思うので、平板を入れたときにチェンブレで上にあげてやって下の溶接をして、上は自重で落ちてくるのを見て面あわせをしたい。

(1F 所長) 下の溶接をするときに平板は入熱で変形し、変形量は上が落ちてきたときに隙間が埋まるかどうかのモックアップが必要かという気がするが大丈夫ですか？

(安定化 C ■■■) 溶金で穴を埋めるしかないと思っています。1枚の平板でうまくつなげられなければ、もう一回あげてもう一枚平板を入れて、上と縁を切る手順を考えています。

(1F 所長) 1枚で上下溶接は難しいと思われれます。

(安定化 C ■■■) 1枚目を入れて下を巻いて変形が激しいならばもう一枚入れる。

(1F 所長) そこも含めて出来るように準備しておいた方がよい。

(安定化 C ■■■) ずれた時用の平板を1枚手配していますので、どちらでも対応できるように準備は整っています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C ■■■) 今晚もう一度手順書を再確認してください。 → 了解しました。

続いて、明日炉注水ポンプのラインの制御性を高める工事を予定しています。

(安定化 C ■■■) 原子炉へ注入している高台ポンプから3つのラインで注入しています。以前3号機の流量調整弁にて調整をしているときに振動大きくなり、制御性が良くないということで、その下流側にニードルタイプのグローブ弁を設置して、こちらで流量調整を行う改善を図っています。当時 80A の口径で弁を調達してつけて問題なく制御できていますが、今後1, 2号機についても流量制御を良くしようと考えており、1, 2, 3号機流調弁を取り付けることを考えています。前回つけた3号機のニードル弁は流量計と弁の距離がすこしあって、流量計を確認しながら調整することが難しかったため、ニードル弁の前後付近に流量計を設置して操作性を良くする配慮をしています。この操作を行うに当たって、常用の高台ポンプを非常用の高台ポンプに切り替えて、3号、2号、1号の順番で1日ずつ実施したいと考えています。スケジュールについては、明日電源停止があり、そのタイミングに合わせて3号機の流量調整弁の取替を行います。10時から電源停止が始まりますが、その前に常用の高台ポンプから非常用に切り替えて、10時から午前中いっぱいかけて取り替えます。取替が終わったら常用系に戻すという形で3号機を終えます。残り27日、28日それぞれ2号機と1号機について同じようにシリーズで D/G 側の非常用ポンプに切り替えて調整弁の設置作業を行うことを考えています。手順等は整備しており、体制を原子炉 PJ と安定化 C と組みまして、慎重にやっていきたいと思っています。

(安定化 C ■■■) 海側遮水壁の着工の準備がほぼ整いましたので報告します。

(安定化 C ■■■) 1~4号機の既設の護岸の前に新しく設置する海側遮水壁の工事について、契約が整いましたので今週金曜日 10/28 より着手します。本工事は2年近くの工事となり、まず測量、杭の長さを決めるボーリング調査の準備工事を今週金曜日からはじめさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(安定化 C ■■■) 長い期間の工事となりますが、慎重に安全第一でお願いします。

(1F 所長) 先ほどの閉止板のルールを考えており、1枚で上下溶接した場合、溶接部は強度持たないところで例えば余震が来たときに荷重がかかっていると切れる可能性があると思う。このため閉止板をするなら上下2枚で縁を切っておいた方が良い。上下の隅肉溶接だけで強度を持っているため、水平の地震動が来たときに応力集中点になってしまい、隅肉溶接の継ぎ手効率はきわめて悪いので、どちらかが切れる可能性がある。閉止板を2枚にしておけば荷重が溶接部にかかることがなくなるため、2枚の方が良いと思います。

(安定化 C ■■■) 了解しました。その手順は相談します。いずれにしても溶接は2カ所入れる用意をしていましたので、時間的にはあまり変わらないと思います。また明日作業前にやり方を報告します。

(本店広報) 本日のプレス対応を報告します。午前中は11時から当社単独で■■■

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

■■■■■による会見を実施しています。プラントの状況を説明し、1号機 CS 系の注水の検討状況、手順書の件の質問を2, 3いただいて淡々と終了しています。夕方は当社単独で■■■■■による会見を実施しています。ガス管理システムの1, 2号機の作業予定について説明をしています。

(1F 復旧班)1号機炉注水流量低下の件について、18:10に 3.0m³/h から 3.8m³/h に調整しました。

(2F ■■■■)現地統合対策本部の柳沢本部長に来所いただき、現場の被災状況、冷却系の運転状況を確認いただく予定です。また、安定化 C で訓辞をいただく予定です。

(1F 所長)■■■■■より話があったかと思いますが、バルーンという開口部の閉鎖作業を安定化 C でやっていただいている。これはダスト対策の一環としてやっていただいているが、これまであまり紹介していないので、ぜひまとめて内容と状況を報告するよう進めたいと思います。→ 了解しました。

(安定化 C ■■■■)以上で全体会議を終了します。ご安全に。

~全体会議終了~

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/26(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長)本日は天候も良く、色々な作業が進捗した。1, 2号機格納容器ガス管理システムの工事は進行中です。ひまわりもあり、電源関係では炉注も5, 6号からの電源供給となりワンステップ進んだ。環境測定関係では無人船の訓練を 2F 港湾内で行っています。ガレキ関係、タンク関係の作業を継続で行っています。建屋内のダスト拡散防止のためクリーン化作戦を紹介します。水処理関係では週報で1週間の実績を紹介します。

(1F 〇〇)本日一日晴れで、傷病者の発生は作業が多い割にはありませんでした。プラント関係では、共通 M/C 設置にともなう炉注ポンプの電源切替があり、若干の炉注流量の調整を行っています。水処理、滞留水移送、散水は計画通り実施しています。主な作業は、電源切替、PCV ガス管理システムの設置で、1号機はまだ配管切断後の溶接作業を実施しています。3号機の炉注ポンプの流量調節弁の追設作業もありました。

(1F 発電班)炉注ポンプ切替がありましたが、すべて作業は復旧しています。

1号機は給水系から 4.1m³/h で炉注を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 70.1℃、D/W 圧力は 18kPa_{gage}、SFP 温度は 24℃です。

2号機は CS 系 7.0m³/h、給水系 3.0m³/h 合計 10.0m³/h で炉注を行っており、RPV 底部ヘッド上部温度は 78.0℃、D/W 圧力は 21.1kPa_{gage}、SFP 温度は 28℃です。

3号機は CS 系 8.0m³/h、給水系 3.0m³/h 合計 11.0m³/h で炉注を行っており、RPV 下部ヘッド温度は 71.8℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 温度は 26℃です。

4号機 SFP 温度は 34℃、共用プール温度は 28.1℃です。5, 6号機の原子炉、SFP、温度ともに 23～26℃で安定して冷却しています。

(1F1～4号復旧班)本日は1, 2号機変圧器盤 No.7 の電源切替を行い、それにともない炉注水関係の電源が止まりました。それにあわせて1, 2, 3号機の炉注関係を非常用の D/G に切り替えています。それにあわせて3号機に流量調節弁を交換を実施しており、現在通常に戻っています。1, 2号機も D/G からから常用に切り替えており、従来の流量に戻って順調に運転しています。

水移送関係では、1号機から2号機へタービン建屋滞留水を移送していましたが、14:01に停止しています。2号機からプロセス建屋、3号機から HTI 建屋への移送を継続しています。

水位関係では、1号機タービン建屋は 86mm 下降しています。2号機では、8～9mm 上昇しています。3号機では、4mm 下降しています。4号機では、1mm 上昇しています。受け側の集中ラドについて、プロセス建屋では、25mm 上昇して OP3597mm、HTI 建屋では、10mm 下降して OP2361mm で、ほぼシミュレーション通りです。

滞留水処理関係では、キュリオンの H ベッセル2塔交換し、切替後は 17.2m³/h で流

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

量安定しています。サリーも $28\text{m}^3/\text{h}$ で安定しています。

明日の予定は、2号機の流量調節弁を実施しますので、本日と同じように非常用 D/G に切替を行います。

(1F5, 6号復旧班) ひまわりによる散水について、G エリアにて8:48から10:50に実施しました。仮設タンクからメガフロートへの移送は、本日はありません。タービン建屋地下から仮設タンクへの移送は、本日10:00~16:00に実施しました。

明日は、ひまわりは予定通り実施します。仮設タンクからメガフロートへの移送を実施する予定です。タービン建屋地下から仮設タンクへの移送は予定はありません。

(1F 土木班) タンク関係で G エリアにて盛土の工事、H エリアにてタンク組み立て工事を実施しています。ガラ撤去関係では無人重機により3号機 CST 付近にてコンテナ4個分撤去しています。明日も引き続き3号機 CST 付近にてガラ撤去を実施します。集塵機の作業は事務本館前の道路で集塵作業を実施しました。明日も継続します。水処理制御室北側の伐採について、本日で完了しており、明日以降、爆弾探査の準備を行う予定です。

(1F 建築班) 1号機 R/B カバーリング工事について、750t クレーンの解体、物揚場の架台の解体と片づけを行っており、明日も継続します。3号機上部ガレキ撤去について、R/B 西面の崩落柱の解体、南側ヤードの路盤整備、T/B 屋上の排気ダクトの解体を行っており、明日も継続です。4号機上部ガレキ撤去について、監視カメラの配線、750t クローラークレーン組み立てヤードの整備を行っており、明日はヤード整備を継続します。ガレキ運搬は夜間作業で3号機ガレキの運搬を行っており、明日も継続します。スラッジ貯蔵施設について、スラッジ棟で壁 PC の建方および PC 内のコンクリ打設、設備棟で鉄骨ユニットの組み立てを行っており、明日も継続します。

(安定化 C 所長) 本日、現地対策本部の柳沢本部長が 2F、安定化 C の視察に来られ、14時から2時間半ほど 2F の現場も含めて来所されています。安定化 C・2F にて訓辞、激励をいただきました。対応された方もご苦労様でした。

作業関係で、ガス管理システムの状況の速報を説明願います。

(安定化 C 外部循環冷却 G) ガス管理システム関係で、2号機の作業が終了しましたので状況を説明します。基本は中に確認された H_2 を N_2 で建屋外に追い出す作業となります。作業は当社7人と東芝さん協力企業さん3人で入っています。線量は最大で 6.83mSv で、計画内に収まりましたが線量的に厳しい作業でした。時系列は、11:42に建屋に入り、仮設ラインのページ等を行って、505B と外に出すラインの開操作をしたときに MAX で 3.3% の H_2 濃度が確認されました。もう一度 N_2 で掃気して最終的に系外に出すページ自体の作業は、13:05に開始して13:42終了しました。フレームアレスタの所で H_2 濃度を測ったところ 0% で、当初の目的通り確認された H_2 は建屋の外に出たと考えています。13:44に作業員は建屋から退城していま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。

1号機は作業を継続していますが、スケジュールは前倒しで進んでいます。概略を説明すると、12:05頃に切断前の2カ所穴開けが終わり、15:46に上側に小さな穴を開け、下側の平板の溶接が16:52に終わっています。その後吉田所長からコメントのありました通り平板を2枚入れるために上側に板を入れて、上側の溶接が17:32に完了しています。ニップル側の溶接が継続して行われ17:54に2カ所の溶接が終わっています。あとニップル側に閉止を打つと、2カ所の穴あき部にプラグを入れて溶接する作業が残っていますが、少し前倒し気味で進んでいます。

(安定化 C 所長)まだ作業は終わっていませんので慎重にお願いします。吉田所長からのコメントもあり、2枚の板で作業できて良かったと思います。続いて、電源関係の強化を実施しており、炉注を一時停止していますので概要を説明願います。

(安定化 C 施設基盤部)24日から3日間かけて所内電源の強化工事を行っています。本日は炉注ポンプの負荷の切替を行いました。昨日はP/C2Cの負荷の切替が終わっています。これにより、炉注ポンプや1,2号機原子炉の監視計器、監視カメラ等については、5,6号の電源から受電をすることになります。5,6号との間に2回線が接続されています。5,6号の電源は2回線で受電しており、D/Gはそれぞれ1台ずつ計4台あり、電源として信頼性が高い。今後は12月に残りの大熊線2LからとっているN₂供給設備やSFP注入装置、SFP代替冷却装置の電源も5,6号から受電出来るように切替操作を行う予定です。その際にはまた案内をします。ご協力ありがとうございました。

(安定化 C 所長)まだ負荷の切替がありますが、一つステップアップしたことになります。続いて、建屋内のダスト拡散防止作業の概要を説明願います。

(安定化 C 放射線環境改善 G)9月より地下開口部の閉塞作業を進めていましたが、昨日概ね終了しましたので説明します。目的については、各建屋地下に高線量汚染水が滞留していますが、水処理の進捗により滞留水の水位が下がり、壁面が乾いて付着していた放射性物質がダストとなって放出してくる可能性がある。これが建屋内のダスト環境を悪化させる懸念があります。これを抑制するために各建屋の地下開口部の閉塞を実施しました。ダストの放出を抑制する観点のため、大きな空気の流れを遮断すれば良いと考えており、基本的には密封・密閉等は目的としていない。対象はここに記載の建屋です(書画)。開口部閉塞概要は、T/Bを参考にすると、階段、機器ハッチ、ヒータールームは大きな開口があるので出入り口を閉塞することによりエリアとして仕切る手法をとっています。現場の施行写真はこちらの通り(書画)。階段については、足場材で閉塞してその上に養生シートをかけて周りに難燃性のウレタンフォームを散布しています。また、干渉物のある扉等は不燃シートにより二重カーテンをつけて閉塞としています。津波の影響で建屋の開口部も大きく破損しており、これは1号機屋外D/G室のハッチですが、軽自動車半分乗り上げる形でし

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

た。これはガラプロさんで撤去した後、高性能カバーを施行した。4号機は定検中ということもあって、ヒータールームの入り口がブロックアウトしていましたが、津波でガラが流れ込んでいました。撤去した後、高性能波板等で閉塞を実施しています。たびたびバルーンということ報告していたが、T/Bの機器ハッチ、幅が3m、長さ10mの大きな開口がありますが、この線量が非常に高いということで1階面の作業がしにくいので、何とか比較的線量の低い2階面からの作業が出来ないかということで試行錯誤してバルーンというもので施工しました。角形のバルーンを8個並べ、端っこの部分は丸形のバルーンを並べています。丸形は干渉物をさけるためです。今後は、概ね作業完了しましたが、バルーンは今回開発した手法なので信頼性が未知数であり、圧力を監視しつつ信頼性を向上させるような策を講じていきたい。他の施行箇所は順次スモークテストを実施しており、強い空気の流れが発生していないかを確認しています。その結果、手直しが必要な部分は適宜実施していきたい。今後継続的に各建屋内の代表点について、ダストサンプリング、H₂濃度測定を実施して環境の悪化が抑制されていることを確認していきます。

(安定化C所長)かなり長期間工夫してもらったり、5号機でモックアップを行ったりして苦労されていますが、引き続き現場の状況を良く見ながら手直し等進めていただきたい。ダスト濃度がどうなるか興味のあるところです。続いて水処理関係の週報を報告していますので説明願います。

(安定化C水処理G)10/25の週報です。滞留水の移送関連について、2,3号機の状況ですが、前回から2号機貯水量、建屋内の水位等に変化があります。3号機は400m³ 増えていますが、10/20より移送を一時中断し、その後復帰させましたが、プロセス建屋・HTI建屋への移送についてポンプの台数が若干違っており、3号機は1台ということで400m³ プラスとなっています。また、10/19～25までの処理量は5,920m³で累積140,020m³となっています。水質関係では、10/17採取データになっており特筆すべきはプロセス建屋・HTI建屋の濃度ですが5～8×10⁵Bq/cm³であり、放射能濃度が薄くなっているという状況です。キュリオン・アレバの出口の濃度はNDであり、良好な水処理の状況です。淡水化処理RO装置の後の塩分濃度は7ppmで一桁台、蒸発濃縮装置の処理は1ppmを切る状況となっています。変化があるのは、貯水タンクが10/24にインサービスされ、貯水の貯蔵容量が85,000t位になりまして、今はROを出た濃縮塩水を受けていますが、12月まで順次増やしていきます。

(本店広報)今日の報道対応状況を説明します。午前は11時から15分程度短い時間で終わっています。主な内容は、流水ラインへの流量調整弁の追設および取り替えの内容を説明している。あわせて昨日の夕方会見で予定を説明しているガス管理システム関係の進捗を説明している。こちらについては、水素濃度や作業進捗状況に関心が高かったということもあり、11時に加え、12時、14時、18時も説明を行って

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

います。午後18時から行っており、主な内容は水処理の週報、海水遮水壁工事着工および陸側遮水壁の検討結果ということで、28日から着手するという内容を説明する予定です。

(安定化 C 所長)現場は比較的作業が多い中、無事に作業が進んでいます。環境的に厳しい中作業されている方に感謝申し上げます。明日も引き続き安全を第一に作業進めていきたいとおもいますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/27(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長)本日は全国的に秋晴れであり過ごしやすい状況であった。
(1F)晴天であったが、気温が下がってきている。本日、1号機 T/B で作業していた人が体調不良を訴えた。肺炎とのことだが、冬に向けた体調管理をしっかりとやっていきたい。2号機炉注ポンプの流量調整弁の追設が終わった。明日は1号機を実施する。
(1F 発電班)
1号機は給水系から 4.0m³/h で炉注を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 69.2℃、D/W 圧力は 18kPa_{gage}、SFP 温度は 22℃です。
2号機は CS 系 7.0m³/h、給水系 3.0m³/h 合計 10.0m³/h で炉注を行っており、RPV 底部ヘッド上部温度は 77.5℃、D/W 圧力は 20.5kPa_{gage}、SFP 温度は 25℃です。
3号機は CS 系 8.0m³/h、給水系 2.7m³/h 合計 10.7m³/h で炉注を行っており、RPV 下部ヘッド温度は 70.0℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 温度は 24℃です。
4号機 SFP 温度は 31℃、共用プール温度は 26.3℃です。5、6号機については順調に冷却している。
1～4号機プラントのデータであるが、10月の始めから遠隔監視計を投入しており、従来の中操データのカメラ監視、及び温度データをデジタルデータとして監視している。明日11時からTV会議で報告しているデータ、HP データについてはデジタルデータへ切り替えする。
(1F1～4号復旧班)2号機の炉注流量調節弁の追設を無事実施した。追設にあたっては非常用 D/G を起動させて切替えた上で実施した。終了後は従来の流量に合わせている。1号機は3.8m³/h、2号機 FDW は3m³/h、CS は7m³/h である。明日は1号機を実施する予定。同じく D/G を起動する。
水移送関係では、2号機からプロセス建屋、3号機から HTI 建屋への移送を継続しています。流量の行き先を変更し、2号機を HTI 建屋、3号機は停止する。詳細は別途説明。
水位関係では、1号機タービン建屋は 22mm 上昇しています。2号機では、7mm 下降しています。3号機では、4～5mm 下降しています。4号機では、4mm 下降しています。受け側の集中ラドについて、プロセス建屋では、28mm 上昇して OP3672mm、HTI 建屋では、27mm 下降して OP2333mm です。
キュリオン、サリーは順調に運転している。明日ベッセル交換なし。明日は PCV ガス管理システムについては試験関係が本日終了したので、明日インサービスの予定。
(1F5、6号復旧班)6号機 T/B から仮設タンクへの移送については、本日なし。明日も予定していない。仮設タンクからメガフロートへの移送は本日10時～16時に実施した。明日も同じ時間で実施する予定。ひまわりプロジェクトは E エリアで散水した。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

8:57~10:53に実施した。明日は野球場ADエリアを行う。

(1F 土木班)タンク関係でGエリアにて盛土の工事、Hエリアにてタンク組み立て工事を実施しています。Gエリアで作っているセシウム吸着塔一時保管施設は側溝等の仕上げが終わり、明日工事が完了する予定。ガラ撤去関係では無人重機により3号機CST付近にてコンテナ3個分撤去しています。明日も引き続き3号機CST付近にてガラ撤去を実施します。集塵機の作業は事務本館脇道路で集塵作業を実施しました。明日も継続します。海側防水壁の工事は明日着手予定となっており、ボーリング調査のための資材搬入を実施する。

(1F 建築班)1号機 R/B カバーリング工事について、750t クレーンの解体、構台の解体、物場場の資材の片づけを行っており、明日も継続します。3号機上部ガレキ撤去について、南側ヤードの路盤整備、排気ダクトの解体、崩落柱の解体を行っており、明日も継続です。4号機上部ガレキ撤去について、750t クレーン組み立てでヤードの整備を行っており、明日も継続します。合わせて、屋根材の撤去を先行してやる。スラッジ貯蔵施設について、スラッジ棟で壁PCの建方およびPC内のコンクリ打設、設備棟で鉄骨ユニットの建方を行っており、明日も継続します。

(本店原子炉安全評価 G) (書画で説明)1号機の注水量増加を検討している。3.5~4m³/h で安定的に注入してきたが、カバーリングが出来たので、注水量の増加により蒸気発生をより確実に抑制する、カバーリング内の作業環境改善が期待できる。また、PCV内の雰囲気蒸気が蒸気か窒素で支配されているのか分かる。明日、4.5m³/h まで増やして、1日ずつホールドしながら増やしていき、現在の崩壊熱を顕熱で取れる7.5m³/h まで増加を実施する。注水量の増加については、滞留水チームと相談し検討してきた。重点的に監視するパラメータはカバーリング内のダスト濃度、D/W 圧力濃度、PCV 水位である。7.5m³/h にすることにより、バランス上滞留水チームに問題にならないことを確認をしているが、再臨界が話題になると考えられる。再臨界はないと考えており、1m³/h ずつ注水を実施するため事前のホウ酸水注入は行わない。注水を実施していった際に、有意に温度・圧力が上がっていく場合は臨界の疑いがあるのでホウ酸水を注入する。6時間を監視強化時間とする。

(本店環境影響評価) (書画で説明)1号機のカバー排気系ダスト濃度測定結果について報告する。今回は排気系の評価のため、フィルターユニット入口出口、並びにレファレンスとして建屋4階の機器ハッチのダスト採取した。10月25日採取し、機器ハッチについてはセシウム134は 1.6×10^{-4} 、セシウム137は 2.0×10^{-4} であった。フィルター入口についてはセシウム134は 9.2×10^{-5} 、セシウム137は 1.2×10^{-4} であった。フィルター出口は検出限界以下であった。カバー上部には5箇所採取口があるが、フィルター濃度とは別に計測したが、濃度的には同程度であった。11月1日に再度測定したいと考えている。2号機はブローアウトパネル部でダスト測定を実施した。中央部と下部二カ所でダストサンプリングした。10月25日採取し、中

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

中央部セシウム134は 1.8×10^{-5} 、セシウム137は 2.2×10^{-5} であった。下部がセシウム134は 2.0×10^{-5} 、セシウム137は 1.9×10^{-5} であった。前回の測定値とほぼ同等であった。

(安定化 C) (書画で説明) 2号機の PCV ガス管理システムについて、準備が整ったので明日試運転を考えている。放熱版、電気ヒーター、ファンの手前にフィルターをかませ、ファンで吸って、最終的には屋外に出す。窒素を格納容器に入れているので、隙間から出ていると考えられる量をシステムで吸い込んでフィルターで処理して屋外に出す設備を構築している。これまで、ファンの単体試験等実施した。明日は10:30から TBMKY をメーカーと実施し、11時から窒素パージを考えている。システム全体を格納容器内に H_2 が入っている可能性があるため、可燃限界以下にするため窒素リッチの状態にする。その作業が終了次第、系統試験をうまくいけば12:30位から実施する。3段階のステップを踏んで性能確認を実施する。16m³ が最終的な流量であるため、5、10、16m³ と流して問題ないことを確認する。

(安定化 C 滞留水移送 G) (書画で説明) 現在、10月25～26日にかけて、1号機 T/B から2号機 T/B へ移送を実施した。その関係で2号機 T/B30mm上昇した。その後、2号機3号機ともポンプ1台で移送しており、現在は2号機で1mm程度、3号機で1mm弱下降している。明日、プロセス建屋が上昇しているため、一旦水位を下げたいと考えている。そのため、3号機を停止する操作をする。明日、1号機からの炉注が増えて、2号機の滞留水が増えるため、3号機を止めて、2号機を継続とする。明日午前中を目処に3号機を停止、2号機のプロセスを HTI に変える操作をする。停止期間は1週間としている。3200になる前に止める予定で、11/4の予定。約半月かけて200mm程度上昇する予定である。

(本店個人線量管理 G) 線量計について、これまでも緊急時作業でも APD による線量集計を行っていた。企業によってはガラスパッチを使ったりした企業がいたが、参考値として扱ってきた。来月から整理する運用をする。免振棟に置いておくと線量が上がっていくので、持ち帰る運用とする。

(本店保安班) 安定化 C と1F では周知は進められている。

(本店広報班) 11時は単独、16:30から統合会見であったが、中止した。18時から単独会見を実施した。11時はPCVガス管理システムの作業状況について、18時からダストサンプリングについて説明をする。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/28(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長)昨日もお話していますが、本日は、作業としては、いろいろな作業が進捗していますし、節目として1号機のカバー等については竣工というものもありました。また、2号機のガス管理システムについてのテストランについては後ほど補足したいと思います。海側の遮水壁についての工事の着手も本で行われている状況です。

(1Fユニット所長)本日は、沢山の作業が行われ、それぞれ完了しているものが多いという状況です。作業者の関係で傷病者は特になかったのですが、1名、マスクを締め過ぎて少し具合が悪くなった人がいました。今、WBC で最終確認をしている状況です。1号機ではカバーリングの最終検査を終了して竣工していますし、炉注は流量調整弁が付いて流量を調整している状況です。2号機では PCV のガス管理システムの試運転が順調に行っている状況です。5、6号機はクレーンの点検が終了しています。R/B の方ですが、点検が終了しましたので状況について補足をします。遮水壁も着手しており、盛りだくさんの一日でした。

(1F1～4号発電班)1号機は現在、給水系から 4.5m³/h で注水を行っています。注水量は、本日16:10に 3.8m³/h から 4.5m³/h に変更を行いました。これについては今後、データを監視しながら1日1m³/h ずつ増加させて、7.5m³/h まで増加させていく予定です。RPV の底部ヘッド温度は現在 68℃です。D/W 圧力は 18kPa_{gage}、SFP 水温度は 22℃で、明日以降、随時1m³/h ずつ変更させていきますので、各部の温度監視をしっかりと実施していきます。2号機は CS 系から 6.9m³/h、給水系から 2.9m³/h、合わせて 9.80m³/h で注水を行っています。RPV 底部ヘッド上部温度は 77.6℃です。D/W 圧力は 18.9kPa_{gage}、SFP 水温度は 24℃です。3号機は CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.8m³/h、合わせて 10.8m³/h で注水を行っています。RPV 下部ヘッド温度は 71.1℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 水温度は 22.7℃で安定です。4号機の SFP 水温度は 30℃、共用プール水温度は 25.0℃で推移しています。なお、1号～4号のプラントデータについて、定期的に採取していますが、10月始めから免震棟で遠隔監視システムを導入しました。これによって従来の中操における計器のデータ採取と平行してこちらの温度データを見てきました。こちら、デジタルデータで読み取りをして具体的な数値がデジタル値で出るシステムです。本件については関係箇所との調整ができましたので、本日11時から免震棟における監視システムから得られた情報を統一してプラントデータとして報告していくことで変更しています。

(1F5,6 号発電班)特段、大きなトピックスはありませんが、傾向監視しています RHRS ポンプの流量、ASW ポンプの吐出ヘッド、いずれも6号機ですが、大きな変化はなく、若干の下がり傾向はありますが緊急に止める状況ではありません。本日

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の15時現在で、RHRS の流量が 200l/sec、ASW の吐出ヘッド圧力が 0.265MPa となっています。

(1F1~4号復旧班) 炉注水関係については、1号機については流量を 3.8m³/h から 4.5m³/h に上げています。これに先立ちまして、流量調節弁の作業を無事終わっています。現在、1~3号機全て終了しました。水移送関係ですが、本日、2号機からプロセス建屋に送っていましたが、移送先をプロセス建屋から HTI 建屋に変更しています。3号機はHTI建屋に移送していましたが、これについては停止しています。水位ですが、1号機は T/B 抜管エリアで 20mm 上昇しています。2号機は 5mm の下降です。3号機は T/B で 20 上昇です。トレンチで 2mm 下降しています。4号機は 3mm の下降です。受け側の集中ラドですが、プロセス建屋は 43mm 下降して OP3679mm、HTI 建屋は 34mm 下降して OP2257mm です。移送先を変えましたので水位関係、注視していきたいと思います。水処理設備ですが、KURION、SARRY とも順調に稼働しています。明日は KURION の H ベッセル 2 塔を交換する予定です。本日の作業トピックスとしまして、2号機の PCV ガス管理システムについては、定格 16Nm³/h まで排気をして(聞き取れず)作業を終了して、現在、調整運転を実施中です。

(1F5, 6号復旧班) ひまわりによる散水は、本日は A, B エリア、野球場、展望台付近を散水しました。約 53m³ 散水しています。明日は、C エリア、西門付近を散水予定です。仮設タンクからメガフロートへの移送は、本日は10時~16時に計画通り行われました。明日は予定されていません。6号機の T/B 地下から仮設タンクへの移送については、本日はありません。明日も予定されていません。5号機の天井クレーンの点検の結果を簡単に紹介します。写真で紹介しますが、写真の中でいろいろ錆び等が見られますが、現在、5, 6号は建屋の空調系が止まっています、その影響による錆が発生しています。5, 6号の天井クレーンおよび燃料取替機について、今、健全性を確認しているところで、その中で高温多湿によるものと思われる錆び等の状態について簡単に、今、見えているのが、主巻きの電動機の状況です。巻き線が多湿による変色を起こしているのと、フレームの間に錆びが発生している状況と、ブレーキ関係ですが、ブレーキパットの面が完全に腐食してしまっている状況です。動作もできない状況になっています。電気品関係ですが、制御盤内の制御トランス、既に半分水を被った状態で、カビ等が発生してしまっていて、端子台も腐食しています。作業盤関係の基盤関係の中ですが、基盤の中身は当然濡れていますが、その裏の端子台が既に腐食してしまっていて、取替えを必要とする状況です。配線関係もカビがでてしまっていて、これもリユースするにはかなりの時間と費用を要するような状況です。これらは停止時からずっと空調が停止し、高温多湿の中に継続していたためにこういうふうな状況になったものと思われます。以上、写真で紹介しましたように、かなり錆び、カビが発生しており、5, 6号については空調の起動が危惧になっていま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。関係者のご協力、今後よろしく願います。

(1F 土木班)本日、海側遮水壁の作業に着手しましたので、その作業状況について書面で紹介します。本日から遮水壁の工事に着手しました。工区としましては、第一工区、第二工区としまして、緑の線で示されているように区間分けをしています。第一工区は物揚場付近でボーリング資機材の搬入、第二工区は南側部分で測量開始を実施しています。状況は、北側でボーリング資機材搬入、南側で測量作業ということで着手しましたのでご報告します。今、紹介しましたように、海側遮水壁について、構内側の工区と港の外の外洋に面したところと一応工区を2つに分けて今後工事を実施していく予定です。本日は、まずは工事に先立つ調査との関係ということで、ボーリングの機材の搬入、測量等を行いました。今後そのようなことを続けて、本格的な工事の実施に向けていきたいと思えます。その他の土木の工事ですが、タンク関係で、G エリアで盛土の工事、H エリアにてタンク組み立て作業を実施しています。ガラ撤去関係として、無人重機によるガラ撤去は、3号機 CST 付近でコンテナ3個を本日回収しています。明日も引き続き3号機 CST 廻りでガラの撤去を行う予定です。ダスト、小ガレキの集塵では、本日は免震棟前の道路で集塵作業を実施しています。明日は正門周辺道路に場所を移しまして引き続き集塵作業を行う予定です。

(1F 建築班)1号機建屋カバーにおいては、750t クレーンの解体、架台の解体、片づけを行っています。本日、保安検査官の確認を受けまして、インサービスに入っています。明日は750t クレーンの解体を実施します。3号機の上部ガレキ撤去工事は、ヤード路盤の整備、排気ダクトの解体、崩落柱、大物搬入口の解体を行っています。明日も継続工事になりますが、排気ダクトの解体以外は継続になります。また、T/B の屋上に(聞き取れず)構台の設置を行います。4号機の上部ガレキ撤去工事は、クレーンの組み立てヤードの整備、屋根材の一部撤去を行っています。明日はクレーン組み立てヤードの整備を継続で行います。スラッジ貯蔵については、スラッジ棟で壁、柱 PC の建方と壁内のコンクリ打設、設備棟で鉄骨ユニットの建方を行いました。明日も継続作業になります。

(1F 復旧班)18時前に野鳥の森の仮設の油タンクの防油堤に水と油が溜っている件につきまして、吸着マットを念のため敷くという発話をしましたが、18:10に吸着マットの設置を完了しました。

(1F ユニット所長)昨今、いろいろな事例が紹介されていますが、今日は牛とバスがニアミスがあったという状況で、かなり牛が道路の近くにいるという状況ですので、福島第一に来られる方、帰られる方、十分に注意をお願いしたいと思います。また、発電所の周辺ではダチョウが観測されている、いるということが認められていますので、十分に注意して発電所に来ていただくようお願いいたします。

(安定化 C 所長)道路の通行にあたっては、シーズンが大分寒くなってきたということ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

で、動物の動き方も変わってきているかもしれませんが、特に夜は走行注意ということで関連の方もお願いしたいと思います。安定化Cからは2点ほど補足になりますが、まずは、1号機のカバーリングについて、本日、保安院さんの立会いを受けているということで、簡単に状況の紹介をお願いします。

(安定化C放出抑制G)(書面で説明)本日3:50に原子力安全・保安院さんの報告徴収の最終確認を受けましてサービスインしていますので簡単に紹介します。本日18時よりプレス発表をさせていただいているはずでして、こちらに示しているのはそのとき配布する資料です。5/13に準備工事に着工しまして、本日10/28に完了したという流れになっていて、こちらが工事完成写真になっています。このプレス文以外に工事中の状況について画像と動画を合わせたものをDVDに収めていて、そちらも配布させていただく予定になっています。こちらのデータは明日以降、HPにアップされる予定と聞いています。是非、一度お時間のあるときにご覧いただければと思います。関係者の皆様のご協力ご支援、誠にありがとうございました。

(安定化C 所長)いろいろな、台風があつたり、クレーンの不調があつたりと、いろいろありましたけれども、本当に関係者、ご苦労様でした。引き続いてちゃんと保守あるいはフィルタ、空調のファンの運転状況については引き続きよく確認していただきたいと思います。あと、1号機関係では、流量を1m³/hほど上げていますが、16:10くらいに上げていますが、データそのものについての変化がとれる状況ではないので、また追って状況が確認されてきた段階でまた評価もできれば含めて説明していきたいと思います。本日は流量を上げた一報ということになります。2号機では格納容器のガス管理システムについてテストランをしていて、その状況で運転を継続していますが、その状況で、速報ベースで説明をお願いします。

(安定化C外部循環冷却G)(書面で説明)2号機の方で、昨日紹介したように、ガス管理システムを本日試運転しています。簡単に時系列をお話ししますと、最初に管の中の窒素パーズを12時過ぎから開始しまして12:30にパーズを終了しています。ブローを12:35に起動しまして、昨日5m³、10m³、16m³の3ステップで置換すると紹介しましたが、5m³は流量少な過ぎて、締め切り運転に近くなったということで、結果、試験として10m³、16m³の2段階で実施しています。最終的には16m³での試験を16:20頃に完了しています。そのときの測定データは、放射性ダストとして9×10⁻⁴Bq/cc、これは目安としては10⁻²Bq/cc以下程度と踏んでいましたが、その値に対して充分低い値であることを確認し問題ないと判断しています。水素濃度も4%に対して充分低い1%程度で横ばいになっていますので、こちらについても問題ないことを確認しています。それを受けて、本日、保安院さんにご説明させていただきました。18時をもって本運用開始というふうに移行していきたいと考えています。作業実績は、本日、当社社員11人、協力企業10人入っていただいて、高線量作業でして、最大2.3mSvの被ばくがあつたというのが今日の実績になります。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C 所長)引き続きモニター関係をよく注視していただくということで適宜必要に応じて説明を補足していただきたいと思いますが、2号機ですが、今後、1号機とか3号機についてもガス管理システムの設置を計画していきますが、2号機が一つの先例になるとと思いますので、引き続き工事をよろしく願います。

(本店広報班)本日のプレスへの説明状況ですが、11時と6時に当社単独となっています。午前中の会見については、説明については、1号機の原子炉注水量の増加についてということと、供用プール天井クレーンのケーシングが割れていたということで、これについても一緒に説明をしています。質問事項としては、中越沖地震以降、柏崎ではクレーンの補強とかやっていますが、福島ではやっていたのかとか、そういうような質問が出ています。実態としては今、耐震安全評価をやっているところであり、補強工事については実施には至っていないという説明をしています。午後については、カバーリングの工事完了ということを中心に説明する予定です。動画については本日中に HP に掲載する予定になっています。

(西澤社長)今週の月曜日にスペイン皇太子賞をいただいた話で私の方から説明しましたが、その同じ日に、23日ですが、WANO という世界の原子力発電所の事業者の協会として、これも世界大会ですが2年に1回、隔年に1回開かれています。今年には中国の深圳で開かれまして、当社からは相澤副社長と武藤顧問に出席いただきましたが、そこで、今回の福島原子力発電所の事故への対応という形で、WANO に理事会がありますが、代表してストリッターという議長さんから当社の事故への対応について心から敬意と賛美と感謝の念を供するというので、憲章文というのが読み上げられまして、その場で武藤顧問が壇上に上がって握手をして壇上で拍手をいただいたということです。そこで憲章文を送ってきましたので、本当に発電所の皆さんと協力企業の皆さん全員が表彰されたということです。発電所に送りますので後ほど見ていただきたいと思います。合わせて、スペインの皇太子賞、アストゥリアスという皇太子賞が正式ですが、これはフィールドオブクシマという形で、消防、自衛隊の方と一緒に、福島の事故の対応にあたった当社社員と協力企業の方を含めて、福島の一員として表彰されていますので、内容はプレスリリース文しかありませんが、その文を和訳したものを含めてお送りしますので見ていただきたいと思います。賞金も出ていますが、これは赤十字に義援金として送ることをご了解いただければと思います。いずれにせよ、2つの賞をいただいたことは大変うれしく思い、誇りという風に思っています。是非、送りますので皆さんで閲覧していただきたいと思います。

(1F ユニット所長)大変ありがたい内容だと思います。一同で是非見させていただきたいと思います。ありがとうございます。

(安定化 C 所長)西澤社長の内容については第一の皆さん、あるいは協力企業、事故の収束にあたっている皆さん、また、内容を噛みしめていきたいと思ひますし、安

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

全を前提に迅速な収束にまた邁進していきたいと安定化C側でも思っていますので、また機会がありましたら関連の人に紹介していきたいと思えます。明日、明後日、土日、土曜日は比較的ありますが、日曜日は作業量は大分減る方向にいますが、クリティカルな仕事については引き続き安全を前提に一步ずつ確認しながらやっていきたいと思っています。関係の皆さんのまた、休日の作業についてもよろしくお願ひしたいと思えます。本日の全体会議を終了したいと思えます。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/29(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 休みの日の仕事ご苦労様ですが、まず今日は、朝一番の情報としてカバーリング関係のクレーンの解体工事で重傷者が出たということで大変残念なことでもありますし、二度と起こさないようにしっかりと調査をしなければなりません。後ほど、まずは速報ベースで状況について紹介します。二人、ワイヤーが落ちることだけがをされて、一人の方は何カ所も骨折するという重傷で、今、福島県立医大で治療中と、二人目の方は打撲という程度でしたが、一旦いずれにしても作業を止めて原因を究明して、しっかりとした対策をとることが必須だと思います。作業関係では、1号機の炉注量を夕方増やしたということがありますし、また2号機のガス管理システムについては、昨日来運転していますが、その後の状況について安定化 C から情報を提供します。

(1F ユニット所長) 本日、朝8:30頃ですが、1号機のカバーリング工事のクレーンの片づけを行っている最中にトラブルがあって2人の方がけがをされました。特に1名の方はまだ治療しているという状況で大変重体な状況ですが、あとで細かく補足しますが、上下作業であったということだと思いますので、作業の基本をきちっと守っていくことを再度現場で徹底して安全確保に努めたいと思います。本件に関して、本日、警察の事情徴収が行われました。また、労基署にもご説明させていただいておりますが、明日午後、労基署の立入が行われると聞いています。

(1F1～4号発電班) 1号機は、給水系から 5.4m³/h で注水を行っています。注水量はパラメータに異常がないことから本日予定通り15:30に 4.5m³/h から 5.5m³/h に変更しました。目標は1日1m³/h ずつ増加させて、7.5m³/h まで増加させる予定です。現在、RPV の底部ヘッド温度は 66.3℃です。D/W 圧力は 19kPa_{gage}、SFP 水温度は 21℃です。RPV の底部ヘッドの温度についてはヘッドだけではなく全体的に下がり傾向が継続しています。2号機は CS 系から 7.0m³/h、給水系から 2.8m³/h、合わせて 9.8m³/h で注水を行っています。RPV 底部ヘッド上部温度は 77.0℃です。D/W 圧力は 11.9kPa_{gage} です。SFP 水温度は 23℃です。なお、D/W 圧力については、昨日の格納容器ガス管理システムのインサービス以降、低下傾向を継続しています。3号機は、CS 系から 8.1m³/h、給水系から 2.6m³/h、合わせて 10.7m³/h で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 71.1℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 水温度は 23℃です。4号機の SFP 水温度は 30℃、共用プール水温度は 25℃で推移しています。5、6号については、冷却関係、順調に行われていまして、本日はトピックス的なお話しはありません。

(1F1～4号復旧班) 水移送ですが、2号機から HTI へはポンプ1台で移送を継続中です。3号からの移送は停止中となっています。水処理ですが、SARRY、KURION 運転しています。17時現在で SARRY が 24.4m³/h、KURION が 78gpm、17.7m³/h

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

という処理量です。AREVA は待機停止中、RO は運転中という状態です。本日、KURIONH ベッセル2塔を交換を行いました。明日はベッセルの交換はありません。水位ですが、2号は下がり傾向、3号は上昇傾向という状態です。2号機は今朝方より10mm 下がりました、T/B で OP2863mm です。3号機は6mm の上昇ということで、トレンチで水位 OP3183mm です。4号機は5mm の上昇で OP2969mm です。1号機は R/B が10mm 下がっていて OP4189mm、T/B 抜管エリアで17mm 上昇して OP4147mm です。受け側の集中ラドですが、プロセス建屋は72mm 下降して OP3494mm、HTI 建屋は今朝から変化無く OP2237mm です。炉注、SFP については発電からあったとおりです。2号の PCV ガス管理システム、インサービスになっていますが、水素濃度に上昇傾向が見られるため、N₂ の封入量を16Nm³/h 程度に変更する予定で、今、作業員が現場に向かっている最中です。1号の PCV ガス管理システムについては R/B、T/B で作業を継続していて、明日も作業は継続になります。トランスの油の仮貯蔵タンクのピットですが、昨日、吸着マット敷設しましたが、風で乱れていましたので、本日吸着マットを再敷設した上で土嚢を設置しました。また、受けタンクを2台程用意しまして水移送をやる予定でしたが、受けタンクのドレンライン当たり、若干のリークが見られるということで移送の作業自体は中断しています。明日リーク箇所のチェックをしまして、作業再開の是非を判断したいと思います。

(1F5, 6号復旧班) 滞留水関係ですが、明日の作業は、浄化水の散水はありません。6号機の T/B 地下から仮設タンクへの滞留水の移送を10:00から16:00で予定しています。その他、仮設タンクからメガフロート HPCS、D/G 室トレンチから T/B への移送はありません。

(1F 土木班) タンク設置工事は、本日 G エリア、H エリア実施しました。明日はありません。ガラ撤去ですが、無人機は、3号機 CST 廻りを実施しています。明日はありません。集塵機は本日正門を実施しました。明日は休工です。遮水壁の工事は、ボーリングマシンの点検および測量結果の整理という内容を行っています。

(1F 建築班) 本日、1号カバーリング工事で災害を発生させてしまいまして大変申し訳ございませんでした。本日の工事の予定と明日の予定の説明の後に災害状況の報告、書面にて説明します。1号機カバーリング工事は、本日、750t クレーンの解体、明日は休工です。3号機の上部ガレキ撤去工事は、本日は南側ヤードの路盤整備、東側でタービン屋上の構台の設置、西側で崩落柱の解体、ガレキの移動、海側で第一地組ヤードの積み出しを行っています。明日も継続して行います。4号機の上部ガレキ撤去工事は、本日は750t クレーンの組み立てヤードの整備を行っています、明日は休工です。スラッジ貯蔵施設建築工事ですが、スラッジ棟は壁、柱の PC の建方、足場の組み立て、設備棟では鉄骨の建方を行っています。明日は休工です。本日の災害の状況を説明します。本日の災害の発生状況ですが、本日、750t クレーンの解体作業中に、吊っていましたが台座に番線で固縛していたワイヤーの束

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

が、36mmのワイヤーで重さが360kgありました。そのワイヤーの束が、番線が外れて下部の作業員2名に当って負傷しました。負傷状況ですが、被災者 A、両足の脛の骨を骨折しました。あと、肋骨、下顎、右の腕を骨折しています。もう一名、被災者 B は背中、首、頭、腹部の打撲という状況です。被災者 A は福島県立医大で治療を行っている最中です。被災者 B は J ヴィレッジのメディカルセンターで診ていただいた後、警察の事情徴収を受けまして、いわき共立病院にその後診ていただいて、特に重大な部分はないと打撲程度ということで16:25に帰宅されました。本日の災害の時系列ですが、6:30に作業の開始の連絡を受けまして、7:00に作業を開始しました。8:30頃負傷者が発生したということで当社にけが人の発生の連絡を8:40に復旧班に受けました。9:05にけが人、5,6 のサービスの医療室に搬送しまして、状況からドクターヘリを要請する必要があるということで、9:13ドクターヘリを要請しました。9:50に被災者 A は広野グラウンドに向けて出発しまして、10:30に被災者 B が病院へ出発とありますが、これはメディカルセンターということになります。10:35頃、被災者 A はドクターヘリにて福島県立医大へ向けて出発しまして、10:57に医大に到着しています。現在、被災者 A は病院で治療中です。今回の解体作業は、10/14に JV より施工計画書の説明を受けたものです。こちらが事故後の状況です。本日、解体予定だったこちら、箱マストというものがあります。こちらとスプレッター、ワイヤーを結束する台座ですが、こちらを、箱マストを 750t クローラの後ろの大きなもう一台のクレーンで吊って、スプレッターを 200t の別のクレーンで吊って、共吊りで作業を、これは外す作業を行っていました。その際に、こちら、台座とマストに繋がれたワイヤー、36mm の 360kg の束をスプレッターの上に丸く束ねて載っけておいたというような状況で、これを上部で吊っていた状況です。次は場所ですが、1号機の T/B の北側のところで今回解体を行っています。750t クレーンの解体をするものがこちらにありまして、もう一台の 750t クレーンがこちらにあります。今日共吊りしました 200t クレーンがこちらに配置されています。こちらに青色に書かれたものが箱マストです。この箱マストを 750t クローラで吊りまして、200t クレーンでスプレッターを吊っています。被災者 A,B の位置がこの位置になります。監視員が付いていた状況です。作業の詳細ですが、750t クローラの箱マストは中央に立っている長いものです。これを 750t クレーンで吊って外す予定でした。あと、スプレッターという台座ですが、最後のクレーンのドラム上に付いていたクレーンの滑車なのですが、これを 200t クレーンで吊っていました。共に吊りまして、次の作業としましては、この箱マストを一度地上に倒す作業をします。このスプレッターの繋がっているワイヤーを倒して箱マストの上にワイヤーを載っける作業をするのですが、その際に箱マストの上に載っけるために、落ちないように箱マストを階段状になっていまして、こういうような状況です。ワイヤーが落ちないようにこの鉄管をまず箱マストに取り付ける作業を下で行っていました。それが被災者 A と B です。鉄の管の上に足場板を載っけてましてその上にこの

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

スプレッターに繋がっているワイヤーを載せるための足場板敷の作業をしていたところ、上部のスプレッターの上に束ねてありましたワイヤーの束 36mm、360kg のものが被災者 A,B に対して落下して当たったというような状況です。現在、清水 JV と今後の原因の追及と再発防止の検討を行っています。今、考えることとしまして、直接的原因としまして、台座に番線で固定していたワイヤーが番線が外れてワイヤーが落下し 2 人の作業員に当たったということ、ワイヤーが外れたということです。あと、もう一つ原因としまして、原則禁止ですが、次の作業段取りのため、吊り荷の下に作業員がいました。上下作業というようなところが問題だと思われます。推定原因として、清水 JV は作業手順の詳細まで詰め切れていなかったと、ワイヤーの固縛状況の確認、適確にワイヤーが番線で固縛されていたかどうかという状況と、オペレータに対する合図の確認をきちんと決まっていたかというようなところと、作業時の立入禁止措置の不徹底が問題であったかと思えます。あと、②としまして、吊り荷の下に作業員が入っていたことに対して、避難指示をしていなかった、監視員がいたにも関わらずそういう指示がでていなかったというところ。作業員に対しましては、基本的原則を守りませんで、吊り荷の下で作業をおこなっていたというようなところが大きな原因ではないかと思えます。この原因の一つの大きな問題は特殊作業、750t というクレーンは特殊なものなので、そういう作業は決まった方がされるようなことが多いと聞きます。固定のチームでの作業で馴れ合いがあったことも原因として想定されます。なお、基準監督署と所轄の警察署の指導内容を踏まえて再発防止策を早急に検討したいと思えます。

(1F 復旧班) 2号の N2 の封入量の調整ですが、18:10 に 16.5Nm³/h に調整を完了しています。

(安定化 C 所長) 作業の安全の確保というのは収束に向けての大前提ですので、安定化 C のメンバーとも協力して原因の追求と対策、水平展開をしっかりやっていたかなければならないと思っています。明日以降も諸官庁の現場確認の対応もしっかりやってきたいと思えます。安定化 C からの紹介は、2号機の格納容器のガス管理システム、運用していますがその状況と N2 を増やすことの背景の説明をお願いします。

(安定化 C 冷却 PJ 部) (書画で説明) 2号機の格納容器ガス管理システムですが、昨日 18時から本格運転をしまして、その後の経過について簡単に報告します。今書画に写っていますのが概略系統図でして、格納容器のガスをファンで引っ張ってあげて、ファンの手前にあるフィルタで格納容器の中の放射性物質をとってあげようということです。このシステムは格納容器のガスを分析するために、フィルタの手前に 1箇所サンプリングのポイントを設けています。また、性能を連続的に監視するという意味で、ファンの出口にモニターが付いていて、このモニターで放射性のダストと水素濃度を連続監視できるようになっています。こちらグラフはそのフィルタの出

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

口のダスト濃度のトレンドグラフですが、昨日18時に本格運転を開始して以降は値は徐々に下がりながら落ち着いてきているということで、至近の18時のデータですと、 $4.0 \times 10^{-4} \text{Bq/cc}$ という数字になっています。このダスト濃度をフィルタの除去効率ですが、先程フィルタの手前に1箇所サンプリングポイントがあるということで、昨日15:24に格納容器の中のガスを採取した結果がこちらです。大体、セシウム 134 と 137 を足した値で 2.8×10^{-4} という値です。一報、フィルタを出たところのダスト濃度は、昨日の16:20と今日の13:30のデータを使って評価した結果はこちらで、除去効率は99.96~99/98%ということで、効率は設計通りの性能はできています。水素は、昨日18時に運転してからデータをプロットしていますが、最初は1%位でしたが徐々に水素が上がってきています。水素濃度の可燃性限界は4%で、現在の2号機の崩壊熱から考えられる水素濃度は2.4%で、今2.3%くらいで評価上の水素濃度に近づいていますので、可燃限界に対してはかなり余裕はありますが、少し上がり傾向ということで、先程18時前から N₂ の封入を増やす操作を行っています。18:10に14Nm³/h から16.5Nm³/h に操作が完了しています。この状態でしばらく水素濃度の上昇の様子を見まして、これがまだ水素濃度の上昇傾向が続くようであれば、明日、N₂ の増加をするような操作手順を考えていきたいと思えます。

(安定化 C 所長)放射性物質の除去に関してはまずまずの所定の性能が出ていますが、水素については要注意ということで、継続して監視していくのと、それに合わせた手順を考えていくということで、いずれにせよ初めて動かしているシステムなので、慎重に監視しながら運転していきます。

(本店広報班)本日のプレスへの説明状況ですが、本日は11時と6時にそれぞれ会見しています。11時については、協力企業の方が重傷を負った件で、まずはそれを説明してほしいということでこの説明がほとんどです。その他に本日公表した案件として、2号機、3号機事故時運転操作手順書の適用状況に関わる報告ということで保安院さんから10/14に指示文書をいただいている、その指示にお答えして報告したということです。内容は、結果だけ話すと、今回の事故対応において、手順をチェックしたエビデンスないことから、事象に最も類似している事故を想定した実際の操作内容を照合したところ現時点では現場の状況などから操作上は問題ないという報告をしています。この件についても2、3質問はありましたが、多くは重傷者のことで終始しています。午後の会見についても、引き続きこの情報の続報についていろいろやっているかと思えます。その他、今日は先週から始まっていますシリーズの企画ですが、水処理の仕組みということで、前回は全体像を写真を中心に説明しましたが、今日は水処理の仕組みということで、実際に放射能を除去するメカニズムについて中心に説明するというです。本件はHPでまたアップして今日の説明状況を公開する予定です。

(安定化 C 所長)重ね重ね、作業で事故が起きたことは残念であり、なんとしても再

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

発させてはいけないということで関係の皆さんでしっかりと協力して確実な作業に邁進したいと思います。本日の全体会議を終了したいと思います。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/30(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)本日は日曜日で作業はかなり少なく、入構者、車は少なかった。天候はあまり良くなく、夕方下り坂です。昨日のクレーン関係での重傷者については、本日も引き続き調査をしています。大型重機、クレーンの操作に関して注意喚起をしつつ、今回の原因がはっきりしたら、再発防止を徹底して行います。また、PCV ガス管理システムについて、若干 H2 濃度の上昇が見られるため N2 封入量を増やす作業をしている。明日、3号機 R/B 上部の放出量評価の一環で風速の測定を検討しています。

(1F 所長)本日の天候は曇りで、これから夜半から明日朝にかけて弱い雨との四歩です。作業少なく、人身災害等はありませんでした。昨日のクレーンの怪我の方は、本日午後に意識戻りました。この事故に対して労基さんの立ち入りがあり、12:40～16時過ぎまで現場、ヒアリングという形で進められました。細かく原因等を見られたが、上にワイヤを丸めてつり下げており、その安定度がポイントとなっている。いずれにせよ再度しっかり見ていくこと、対策をとっていくことの指導を受けています。この先も調査を続けていきたいとのことです。次の工程は、東電・JV でしっかり管理することを前提で進めて良いとの了解を得ている状況です。

(1F 号発電班)1号機は給水系から 6.5m³/h で炉注を継続しています。パラメータに異常がないことから本日15:05に炉注水量を 1m³/h 増やしています。今後パラメータを監視しながら、明日には目標の 7.5m³/h まで増加させる予定です。RPV 底部ヘッド温度は 63℃で、28日に注水量を増やし始めてから 5℃低下しています。D/W 圧力は 21kPa_{gage}、SFP 温度は 22℃でいずれも安定しています。

2号機は CS 系 6.8m³/h、給水系 2.6m³/h あわせて 9.4m³/h で炉注を継続しており、RPV 底部ヘッド上部温度は 76℃、D/W 圧力は 9.4kPa_{gage}、SFP 温度は 25℃です。PCV ガス管理システムインサース後の状況を確認していますが、昨日の夕方に H2 濃度が 2.3%まで上昇したため、昨日18:10に N2 封入量を 14Nm³/h から 16.5Nm³/h まで上昇させました。その結果、H2 濃度の上昇傾向は緩やかになりましたが、現在 2.7%まで上昇しているので、準備が整い次第、N2 封入量を 21Nm³/h まで増加する予定です。D/W 圧力は緩やか低下しています。

3号機は CS 系 8.0m³/h、給水系 2.5m³/h あわせて 10.5m³/h で炉注を継続しており、RPV 下部ヘッド温度は 71.3℃、D/W 圧力は 0.2kPa_{gage}、SFP 温度は 23℃です。

4号機 SFP 温度は 31℃、共用プール温度は 25℃でそれぞれ安定しています。5、6号機は特にありません。

(1F1～4号復旧班)水移送について、2号機 T/B から HTI 建屋へポンプ1台で移送を継続中です。水位が下がったことから、明日、水位調整のため、4日間を目安に移送を停止する予定です。3号機は停止継続中です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

水処理について、サリー、キュリオンともに運転中で、17時現在、サリー $21.9\text{m}^3/\text{h}$ 、キュリオン $17.3\text{m}^3/\text{h}$ 、両方とも若干流量低下中です。アレバは待機停止中です。ROは運転しています。本日ベッセル後半はなく、明日、H ベッセル2塔、サリー2塔交換を予定しています。

水位関係では、2号機は朝に比べて順調に 13mm 下降し、高い方の T/B で $OP2832\text{mm}$ です。3号機配送停止の関係で朝に比べて $8\sim 9\text{mm}$ 上昇しており、トレンチで $OP3205\text{mm}$ です。それにあわせて4号機 T/B は 9mm 上昇し、 $OP2989\text{mm}$ です。1号機は R/B が 12mm 上昇して $OP4213\text{mm}$ 、T/B 抜管エリアが 16mm 上昇して $OP4190\text{mm}$ です。

サリー流量の低下については、週明けに水処理PJと対応を検討します。(1号機の)炉注は本日 $6.5\text{m}^3/\text{h}$ まで増やしていますが、明日 $7.5\text{m}^3/\text{h}$ まで増やす操作を対応します。PCV ガス管理システムについては、流量の関係については後ほど安定化 C から説明の予定です。2号機 SFP へのヒドラジン注入を予定しています。1号機のPCV ガス管理システムは継続で作業があります。その他、週明けに多数作業が予定されていますのでしっかり管理します。

(1F5, 6号復旧班)明日、浄化水の散水を予定しています。土捨場の北側周辺で行います。滞留水の移送について、明日、仮設タンクからメガフロートへの移送を予定しています。その他ありません。

(1F 土木班)本日は土捨場の道路整備を行いました。明日は G エリア・H エリアのタンク設置工事を再開します。ガラ撤去関係では、無人重機により3号機 CST 付近で実施します。集塵機は、昨日正門を実施し、11月以降しばらく休工します。遮水壁設置工事は、第一・第二工区ともに千代田さんのための準備工を実施します。

(1F 建築班)1号機カバーリング工事の現場に福島労働局と富岡基準監督所の方々4名が現場立ち入り調査のため来られました。まず事故現場に行き、作業員の立ち位置、クレーンの吊り位置等の状況確認を行いました。また、免震棟に戻り、関係者のヒアリングを実施しました。今後、原因を推定するということでお帰りになりました。建築と清水 JV とで昨晩に原因の追及を行い、具体的な再発防止対策を検討中です。対策が整って着工できる体制になってから工事を再開するため、明日は休工します。3号機上部ガレキ撤去工事は、本日、南側ヤードで路盤整備、T/B 側東ヤードで高台の設置、西側の崩落柱の解体・ガレキ移動、海側の地組ヤードでは積み出しを行っています。明日も継続です。4号機上部ガレキ撤去は、本日休工でした。明日、 750t クレーンの組み立てヤード整備とオペフロのガレキ撤去を行います。スラッジ貯蔵施設建築工事は、本日休工です。明日はスラッジ棟で壁・柱の PC 建方、足場組み立て、設備棟では鉄骨ユニットの建方を行います。

(1F 復旧班)2号機の N_2 封入について、18:10に作業完了し、予定通り $21\text{Nm}^3/\text{h}$ に調整しました。1, 3号機の流量は変化ありません。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 保安班) 1号機炉注水量増加に伴う MP の監視について、特に値に変化なし。

(安定化 C 所長) N₂ 封入量の増加について了承しました。その関連で安定化 C から状況の説明をお願いします。

(安定化 C 冷却 PJ) (書面説明) 2号機 PCV 内の H₂ 濃度のグラフであり、参考に PCV ガス管理システムの系統流量をプロットしています。昨日 18時に N₂ 封入量を 14 から 16.5Nm³/h に増やし、その後 H₂ 濃度の上昇傾向は緩やかになったが、18時現在の H₂ 濃度は 2.7%と依然上昇が止まっていないことから、21Nm³/h まで N₂ を増加している。(書面説明) D/W 圧力を示します。PCV ガス管理システムは PCV 内のガスを引いているので、運転すると PCV 内の圧力が徐々に下がり、昨日より減少傾向にあります。H₂ 濃度の上昇を考察していますが、可能性の一つとして考えられるのが、D/W 圧力が下がっているため RPV 内もしくは PCV 内の水の部分が部分的な減圧沸騰状態になり、水の放射線分解による H₂ が増えていることが考えられます。これについては引き続き考察を継続します。今後は、21Nm³/h 入れています。まだ D/W 圧力が下げ止まっていないので、D/W 圧力が平衡状態になってから H₂ 濃度がどうなるか継続して監視します。

(1F 所長) きちっと原因を確認する必要があると思う。また、水素濃度測定の必要は内でしょうか？ 裸の燃料が散らばっている状態でどのくらい水素が発生しているのかという議論になり、それとともに酸素も発生している。全体の気体のバランスはどうなっているか等、データをしっかり把握するために酸素を測定する必要がある。単純に D/W 圧力の低下だけで水素が増えているのではないと思われる。解析も含めて追究する必要があるのではないのでしょうか。水素濃度が妥当かどうか分からないため解析は出てこないのでしょうか。

(安定化 C 冷却 PJ) まだ今日の時点では解析は詰め切れていません。メカニズムを含めて検討します。酸素については、ガス管理システムのサンプリングのところで分析がかけられれば実施してみたいと思います。

(安定化 C 所長) 今回は動かすことでパラメータが変わり、中を推定する一つの情報になります。何を測定するか、頻度、解析評価について引き続き検討をよろしく願います。3号機 R/B 上部風速測定を明日行う予定なので本店から説明願います。

(本店環境影響評価) (書面説明) 3号機の原子炉を上から撮ったものです。これまでクレーンアクセス性の問題から北側の調査となっていましたが、クレーンが1台追設されたため、南側の調査が可能となりました。赤線で示した所の下から上への上昇気流の風速を測定します。その結果と先日公表したサーモグラフの結果をあわせて、次のダストポイントの場所(例えば風速の高いところを見つけて測定することになる)を決定します。次の測定は11月5日ないしは6日を予定していますので、その時までにはダストポイントを決定します。

(安定化 C 所長) これも大型クレーンを使用するのですよね？

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(本店環境影響評価)はい、1台津移設されたクレーンを使用します。

(安定化 C 所長)クレーンの作業に当たっては、作業安全について連携してチェックしてください。→(本店環境影響評価)了解しました。

(本店広報班)本日のプレス対応状況について報告します。日曜日ということもあり、事務局からのプラント状況の説明を中心に行っています。昨日の協力企業作業員の負傷について、細かいデータの訂正を実施しています。これに関連した質疑はありませんが、2号機 PCV ガス管理システムの水素濃度の見通し、水素濃度が可燃限界の3.4%に近づいたときにどうするのかという質問がありました。レク時間が15分程度ということで淡々と終了しました。夕方は18時から██████による単独会見を実施しています。

(安定化 C 所長)本日は一時立ち入りで富岡の方も入っておられました。牛の行動範囲が広がっているため、6号線での移動に当たっては牛・動物に注意してください。以上で全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<10/31(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C █████) 本日は朝未明から断続的に雨が降っていたが、午後には止んだ。建屋水位については特段の影響なし。週が開けて、各エリア各部門で全面的に作業をしたが、特段の支障トラブルなく終えた。

(1F 所長) 午前中雨だったが、午後晴れとなった。トピックスとしては、1号機の炉注流量を6.5m³/hから7.5m³/hに増やした。

(1F 発電班) 1号機は給水系から7.5m³/hで炉注を継続しています。パラメータに異常がないことから、本日14:59に炉注水量を6.5m³/hから7.5m³/hに変更をし、当面の増加操作を終了した。今後、パラメータの監視を継続していく。RPV 底部ヘッド温度は60.3℃で低下傾向、D/W 圧力は21kPa_{gage}、SFP 温度は22℃です。

2号機はCS系6.9m³/h、給水系2.4m³/hあわせて9.3m³/hで炉注を継続しており、RPV 底部ヘッド上部温度は78.4℃、D/W 圧力は9.5kPa_{gage}、SFP 温度は25℃です。給水系からの注水量については、低下傾向を示しているが、先に決めていた最低流量2.4m³/h未満を大きく下回らない限りということで、本日安定化Cと協議したが、調整については様子を見て明日以降実施する。28日にインサービスした格納容器ガス管理システムについては、水素濃度の上昇傾向があったことから、昨日18:10にN₂封入量を16.5m³/hから21m³/hに増加させて様子を見ている。現在、水素濃度の上昇傾向は止まっており2.6%の水素濃度で安定している。D/W 圧力は穏やかな上昇傾向があったが安定傾向である。

3号機はCS系8.1m³/h、給水系2.5m³/hあわせて10.6m³/hで炉注を継続しており、RPV 下部ヘッド温度は71.0℃、D/W 圧力は0.2kPa_{gage}、SFP 温度は23℃です。

4号機 SFP 温度は31℃、共用プール温度は26℃でそれぞれ安定しています。5、6号機は順調な冷却が行われており、特にありません。

(1F1～4号復旧班) 水移送について、2号機 T/B から HTI 建屋への移送は本日10:02に予定通り停止している。11月4日までの4日間の停止を考えている。3号機は停止継続中で、11月2日まで停止する予定。

水処理について、本日キュリオンのH-ベッセル2塔を交換し運転を継続している。サリーはベッセル2塔交換のため、8:37～17:03まで停止した。サリー、キュリオンともに運転中で、17時現在、サリー28m³/h、キュリオン 80GPM、18.2m³/h、運転している。アレバは待機停止中です。RO は運転しています。明日はベッセル交換はなし。

水位関係では、2号機は13～16mm 上昇し、高い方の T/B で OP2826mm です。3号機は8mm 上昇しており、トレンチで OP3225mm です。4号機 T/B は9mm 上昇し、OP3010mm です。1号機は R/B が12mm 上昇して OP4244mm、T/B が14mm 上昇して OP4228mm です。受け入れ側の R/W については、プロセス建屋が64mm 下降

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

し、OP3124mm。HTI 建屋が 89mm 上昇し、OP2370mm となっている。

炉注については先ほどあったとおり。2号機 SFP へヒドラジン注入 2m^3 実施した。1号機 PCV ガス管理システム T/B 及び R/B 内で配管サポート敷設を継続。その他も継続。

(1F5, 6号復旧班)明日の作業は、浄化水の散水を土捨場の東側周辺で実施する予定。仮設タンクからメガフロートへの移送のみ、明日から10~16時実施する予定。

(1F 土木班)タンク関係については、G エリアで本日は雨天で休工であったが、盛土工事を継続で実施している。H エリアでタンクの組立てを継続で実施している。ガラ撤去関係では、無人重機により後片づけ関係で、しばらく休工予定。集塵機は、本日、明日休工。水処理施設の北側樹木の伐採関係だが、本日不発弾?の調査を終了し、明日より伐採作業をする予定。遮水壁設置工事は、ボーリング機器据え付けを実施し、明日よりボーリング調査をする予定。

(1F 建築班)1号機カバーリング工事については、本日、明日明後日休工の予定。クレーン災害の原因対策を究明中である。3号機上部ガレキ撤去工事は、本日、R/B 西面でガレキの移動、南側ヤードで路盤整備、T/B 屋上で構台の設置、明日は継続作業の他、T/B 屋上での排気ダクトの解体、T/B 海側ヤードで L 型 PC? の搬入据付を実施する予定。4号機上部ガレキ撤去は、750t クレーンの組み立てヤード整備とオペフロのガレキ撤去を行っている。明日も継続。ガレキ運搬は夜間作業で3号機ガレキを本日明日とも行う。スラッジ貯蔵施設建築工事は、スラッジ棟で壁・柱の PC 建方、設備棟では鉄骨ユニットの建方を行っている。明日も継続。

(1F 保安班)本日実施されている1号機の炉注流量変更による MP の指示値について、優位な変動なし。

(1F 吉田)カバー工事で事故を起こしたが、入院されている方が昨日意識が戻り、容体が良い方向に向かっている。明後日手術が出来そう。

(安定化 C) (書面で説明)2号機 PCV ガス管理システムのオペレーションを開始しているが、その経緯について状況報告する(安定化 C XXXXXXXXXX 前置)。

水素濃度について、昨日 18:10 に $21\text{Nm}^3/\text{h}$ に上げて、水素濃度が 2.7% 程度で一定だった。その後、本日 16:30、水素濃度が 2.6% に下がった。至近の新しいデータでも 2.6% である。若干下がってきている。もう少し $21\text{Nm}^3/\text{h}$ で様子を見ていきたい。最初の水素濃度が上がっている点の原因は評価している最中で、評価完了次第またこの場で説明したい。D/W 圧力は、昨日窒素封入量を増やしてから下がり傾向が止まり、現在 10KPa 割を割るところで推移している。ダストはかなり安定してきている。 $4\sim 5 \times 10^{-4}\text{Bq}/\text{cm}^3$ である。一定の推移をしている。

(安定化 C XXXXXXXXXX) 落下事故に対して、作業安全が構築できるよう本日検討してきた。纏まったらまた報告する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(本店広報班) 11時から20分程度会見をしたが、主な内容は3号機原子炉建屋の風速測定を行った件について説明した。記者からの質問は、今朝ほどの毎日新聞の一面に記載されていた、郊外の企業の休憩所が高線量にも関わらず管理区域外になっていることについて、我々はそもそも管理区域は法令で空間線量と表面密度などで制限されるものであり、現在は郊外で満足していないため、管理区域と同様な扱いを協力企業へお願いしていると説明した。

午後の統合会見でも同じ説明をしている。

また、2号機の水素の増加の発生源について質問を受けている。

午後は16:30から会見を継続中。会見のなかで、園田政務官が散水の行われている、5、6号機滞留水の浄化した水を飲む件について、飲むことへの必要性を説明している。

また、11月1日から11月10日まで試験的に当社 HP に午前中の単体会見の Live 配信をすることを知らせている。反響等ふまえ午後などの会見を Live 配信するか検討していく。

(安定化 C █████) 滞留水について、汚染濃度は低い雑菌がある可能性があり、園田政務官が記者の前で飲むことをやってもらって申し訳ない。

～全体会議終了～